

平成 24 年度

我が国情報経済社会における基盤整備

(インターネット上の違法・有害情報対策及びフィルタリングの

動向と普及促進に関する調査研究

(機器ごとのインターネット利用状況調査))

報告書

平成 25 年 2 月

経済産業省

委託先:ピットクルー株式会社

◆◆目次◆◆

1. 調査の概要	1
1-1 調査の背景と目的	1
1-2 アンケート調査の概要	2
2. 青少年対象アンケート調査結果	5
2-1 回答者属性	5
2-2 青少年の機器の所有状況、インターネットの利用状況	8
2-3 オープンサイトの利用状況	27
2-4 インターネットの利用時間	29
2-4 青少年単独での利用状況	30
2-5 コミュニティサイトの利用状況	35
2-6 違法・有害情報への遭遇状況	40
2-7 インターネットを利用する際のルール	42
2-8 フィルタリングソフト	46
3. 保護者対象アンケート調査結果	52
3-1 回答者属性	52
3-2 青少年の機器の所有状況、インターネットの利用状況の認識	57
3-3 青少年のインターネット利用に関する確認状況	66
3-4 青少年のコミュニティサイトの利用状況	75
3-5 青少年の違法・有害情報への遭遇状況	80
3-6 インターネットを利用する際のルール	84
3-7 フィルタリングソフト	92
3-8 ペアレンタルコントロール	106
3-9 保護者の認識確認	108
4. まとめ	113
4-1 機器ごとの所有状況、インターネット利用状況	113
4-2 青少年の単独利用の頻度	116

付録1 調査票

付録2 集計表

1. 調査の概要

1-1 調査の背景と目的

昨今、企業活動や市民生活などの様々な分野でインターネットが急速に普及し、国民の誰もが世界中の様々な情報に迅速かつ容易にアクセスでき、また個人が手軽に情報発信をすることができる環境が整備されつつある。

その反面、不適切なインターネット利用が、権利侵害、犯罪の助長、健全な青少年育成の阻害等の新たな社会問題の原因の一つとなっていることから、平成 21 年にいわゆる青少年インターネット環境整備法が施行され、接続役務提供事業者や機器製造事業者はフィルタリングの提供を行うなど、各種の環境整備が進んでいる。

本事業においては、近年のスマートフォンやインターネットに接続可能なゲーム機などの青少年への普及拡大など考慮すべき状況の変化を踏まえ、調査内容のさらなる拡充を図ることにより、利用機器の多様化に伴う利用状況等の変化をとらえ、機器ごとのインターネット利用状況を明らかにすることで、望ましいフィルタリング提供のあり方の検討や、フィルタリング普及啓発活動の改善に寄与することを目指した。

また、スマートフォンやタブレットの青少年への普及拡大や、公衆無線 LAN 環境の一般化(青少年利用の拡大)がみられる。その内容についても状況を定量的に把握することが必要不可欠と考え、狭義のフィルタリングに留まらず、アプリ管理などいわゆるペアレンタルコントロール機能についても、調査の対象とした。

具体的な質問内容については「平成 22 年度 レイティング/フィルタリング連絡協議会研究会最終報告」「青少年インターネット環境の整備等に関する検討会 報告書」「平成 23 年度 経済産業省委託事業 機器ごとのインターネット利用状況調査報告書」等の内容を参考にして作成した。

1-2 アンケート調査の概要

本調査では、青少年を対象としたアンケート調査と、青少年と同居する保護者を対象としたアンケート調査とを実施した。

1-2-1 青少年対象アンケート調査

【調査期間】

2013年2月1日～ 2013年2月3日

【調査対象】

満10歳から満17歳までの青少年

【調査地域】

全国

【割付条件】

性別、学校種別(小学生、中学生、高校生)、地域(北海道、東北地方、関東地方、中部地方、近畿地方、中国地方、四国地方、九州・沖縄地方)で、2,000サンプル回収を想定して割付を行った。

【調査方法】

Web アンケート調査

マクロミル社登録モニターに対し、事前調査を行い、満10歳から満17歳までの青少年と同居し、アンケート実施を想定する期間において、青少年とともにアンケートに協力可能な保護者を抽出。抽出した保護者に対し Web アンケートへの回答を依頼し、保護者を通じて青少年に Web アンケート画面を提示する。青少年が回答を終えた時点で回答を一次保存する。青少年アンケートに引き続き、保護者が保護者を対象としたアンケートに回答するが、保護者は青少年が行った回答結果を戻ってみることはできない。設定したサンプル数に達するまで Web アンケートの回収を実施。

【回収結果】

有効回答数 2,080 件

1-2-2 保護者対象アンケート調査

【調査期間】

2013年2月1日～ 2013年2月3日

【調査対象】

満10歳から満17歳までの青少年と同居する保護者

【調査地域】

全国

【調査方法】

Web アンケート調査

調査方法は、青少年対象アンケート調査と同じ。青少年が一次保存したアンケート調査に引き続き、保護者を対象としたアンケート調査画面を提示して、回答を行う。

【回収結果】

有効回答数 2,080 件

1-2-3 Web アンケート実施手順

①事前調査

青少年と保護者に対し、アンケート回答の同意を得る。



②Web アンケートへの回答を依頼



③青少年が Web アンケートに回答(回答を一次保存)



④一時保存した Web アンケートに保護者が回答



図表 1-1 サンプル回収数の内訳

	全体	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州・沖縄
小学校 男子	362	22	19	113	75	56	25	8	44
小学校 女子	346	21	19	108	71	54	21	10	42
中学校 男子	362	21	21	112	74	56	20	13	45
中学校 女子	347	21	20	107	71	54	23	8	43
高校生 男子	335	21	21	101	67	51	19	12	43
高校生 女子	328	23	18	99	66	50	15	15	42
合計	2080	129	118	640	424	321	123	66	259

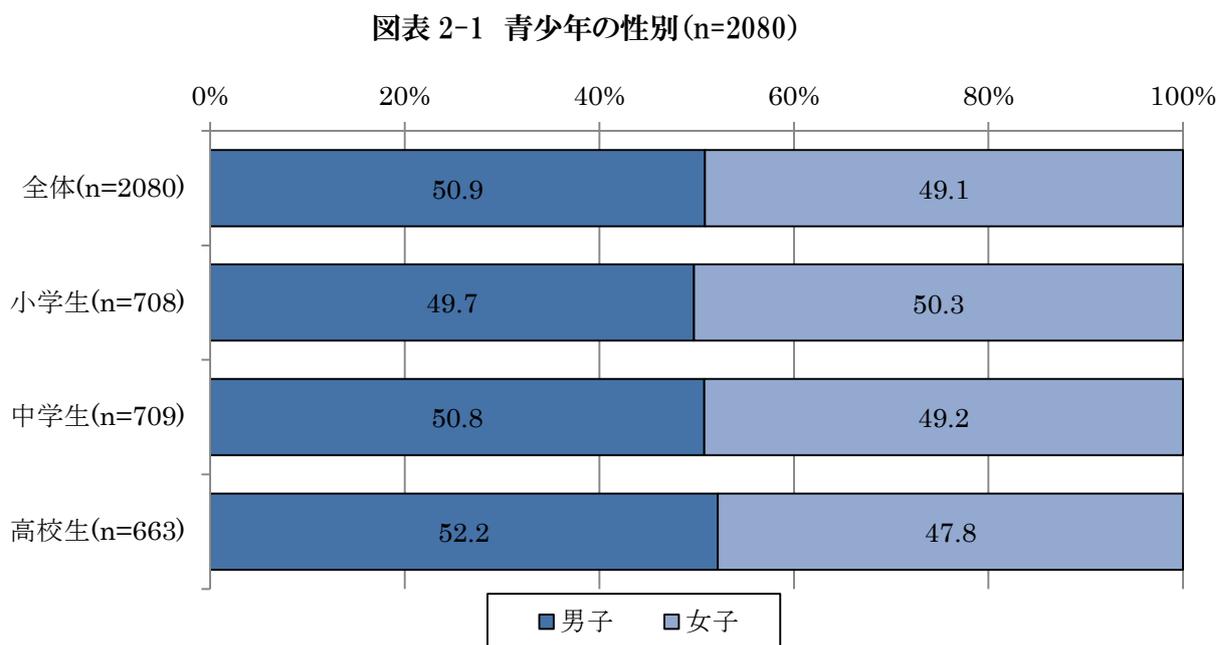
2. 青少年対象アンケート調査結果

2-1 回答者属性

2-1-1 青少年の属性

(1) 性別

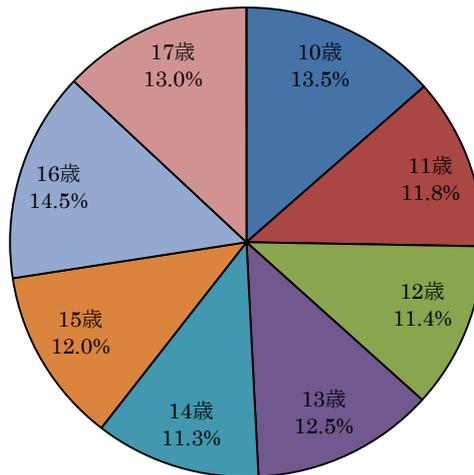
青少年の性別は 50.9%が男子、49.1%が女子である。



(2) 年齢

青少年の年齢は、10歳が13.5%、11歳が11.8%、12歳が11.4%、13歳が12.5%、14歳が11.3%、15歳が12.0%、16歳が14.5%、17歳が13.0%であった。

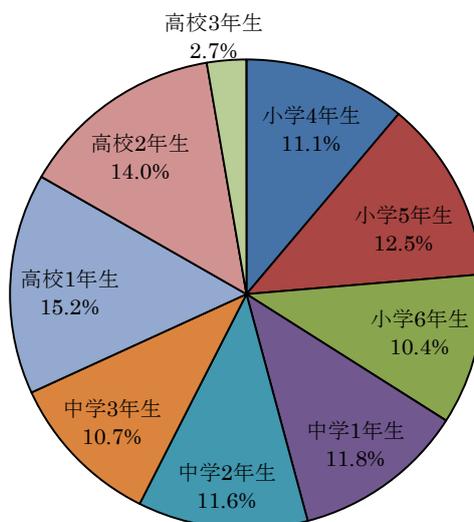
図表 2-2 青少年の年齢 (n=2080)



(3) 学年

青少年の学年は、小学4年生が11.1%、小学5年生が12.5%、小学6年生が10.4%、中学1年生が11.8%、中学2年生が11.6%、中学3年生が10.7%、高校1年生が15.2%、高校2年生が14.0%、高校3年生が2.7%であった。

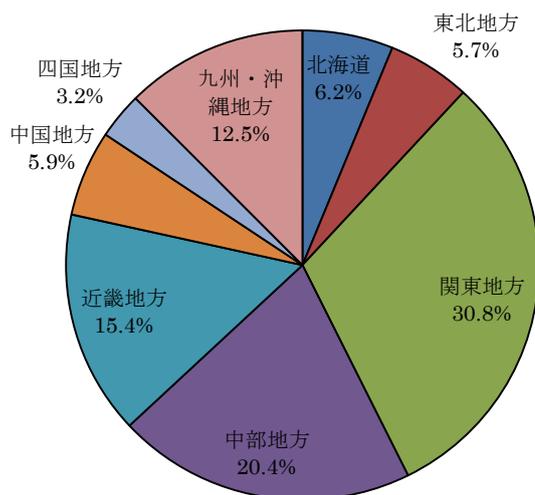
図表 2-3 青少年の学年 (n=2080)



(4) 居住地域

青少年の居住地域は、北海道が6.2%、東北地方が5.7%、関東地方が30.8%、中部地方が20.4%、近畿地方が15.4%、中国地方が5.9%、四国地方が3.2%、九州・沖縄地方が12.5%である。なお、保護者の居住地域も青少年と同じとなる。

図表 2-4 青少年の居住地域 (n=2080)



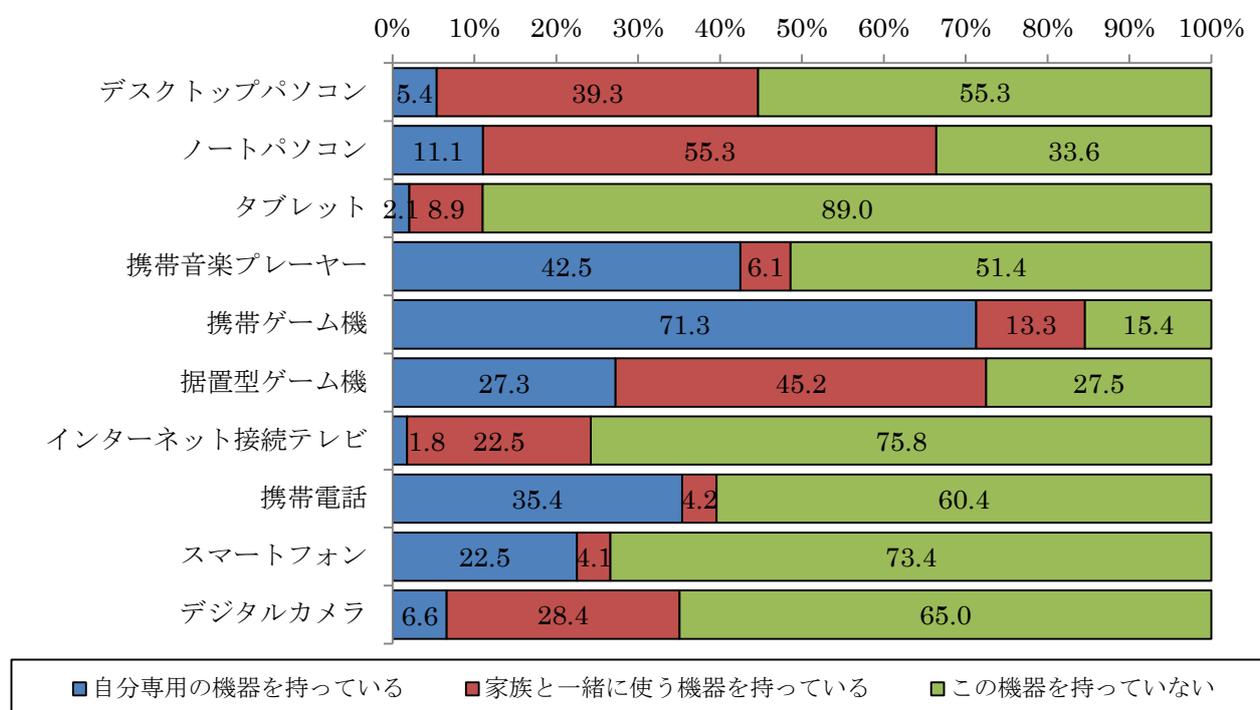
2-2 青少年の機器の所有状況、インターネットの利用状況

2-2-1 機器の所有状況

青少年の機器の所有率は、自分専用の機器の所有率では、携帯ゲーム機が71.3%、携帯音楽プレーヤーが42.5%、携帯電話が35.4%、据置型ゲーム機が27.3%、スマートフォンが22.5%、ノートパソコンが11.1%となっている。

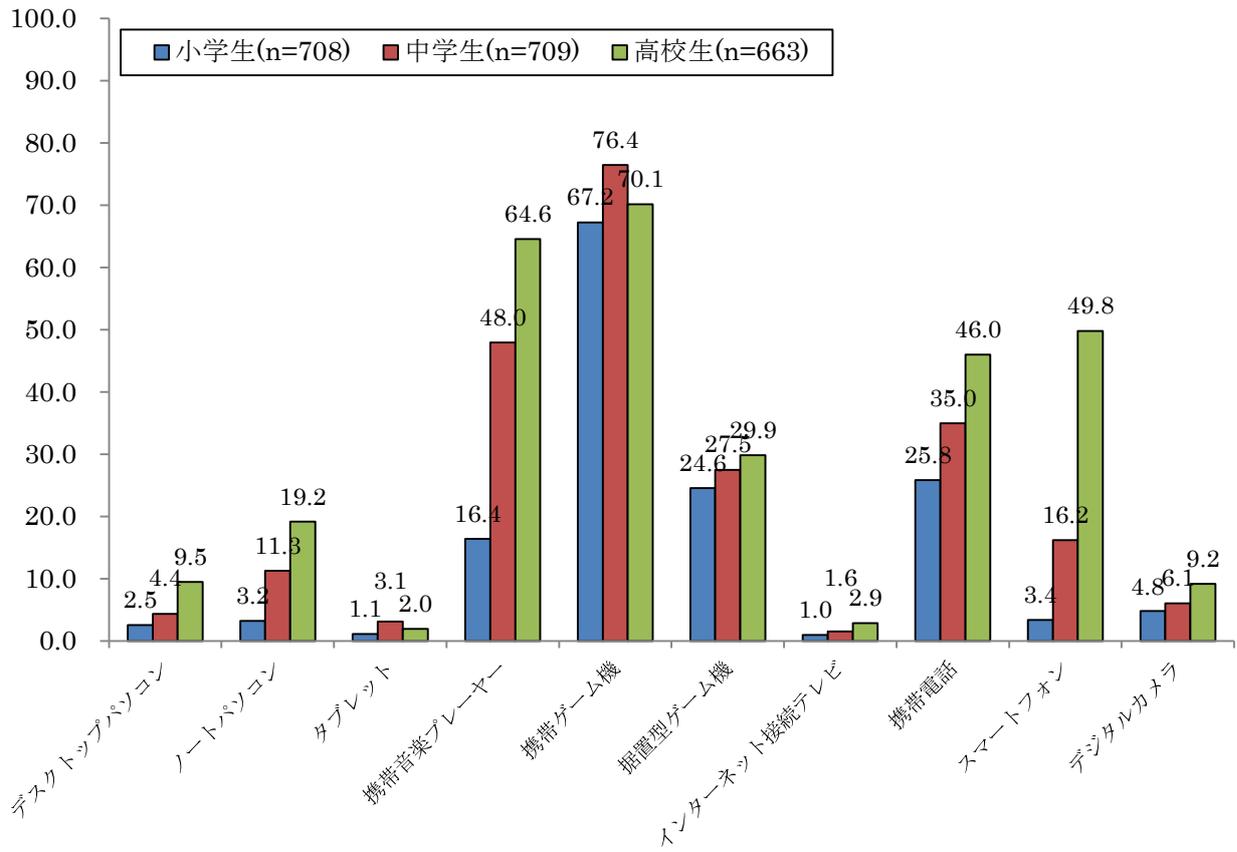
家族と一緒に使う場合を含めた所有率は、携帯ゲーム機が84.6%、据置型ゲーム機が72.5%、ノートパソコンが66.4%、携帯音楽プレーヤーが48.6%、デスクトップパソコンが44.7%、携帯電話が39.6%、となっている。

図表 2-5 青少年の機器の所有状況 (n=2080)

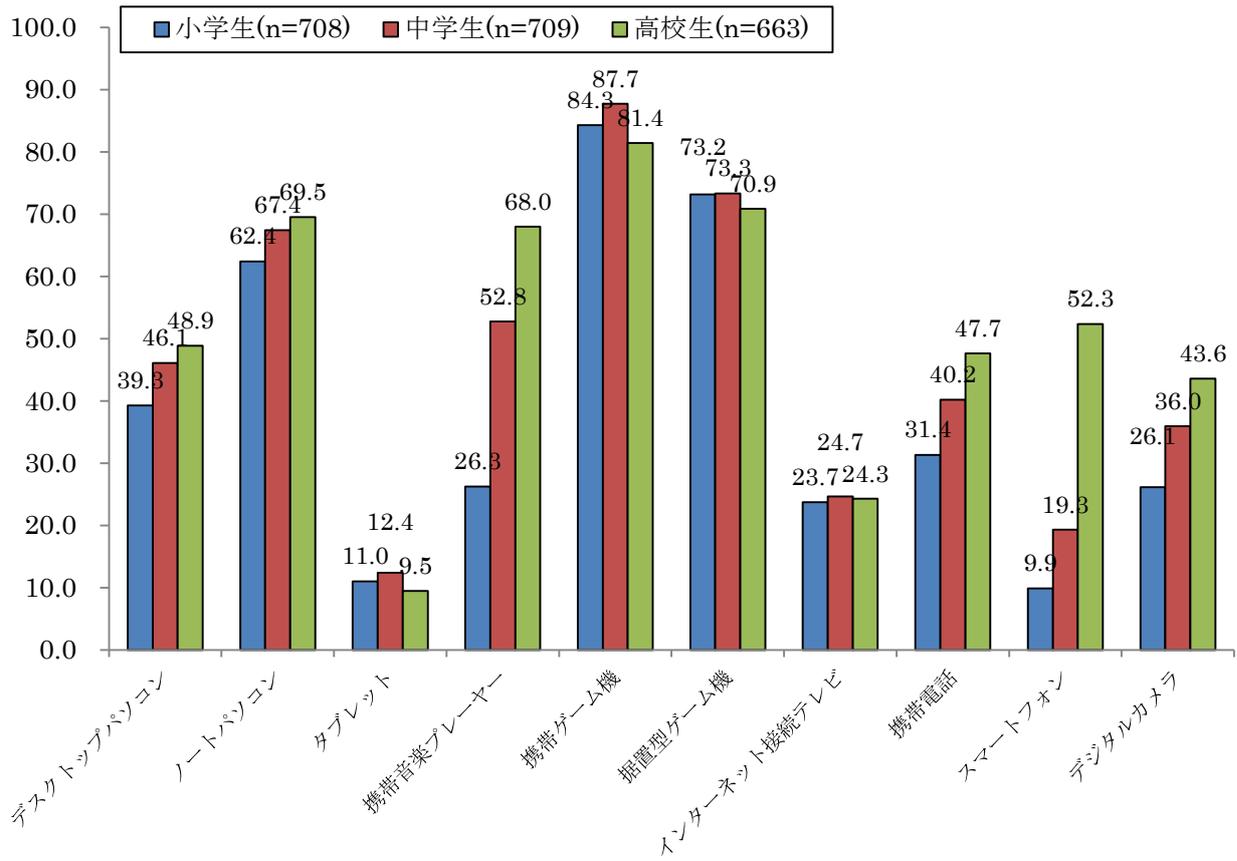


自分専用の機器は小学生、中学生、高校生となるに従い、所有率が高まるものが多い。高校生の所有率と小学生の所有率とを比較すると、スマートフォンは14.6倍、ノートパソコンが6.0倍、携帯音楽プレーヤーが3.9倍、デスクトップパソコンが3.8倍となっている。

図表 2-6 青少年の自分専用の機器の所有状況



図表 2-7 青少年の家族と一緒に使う場合を含めた機器の所有状況

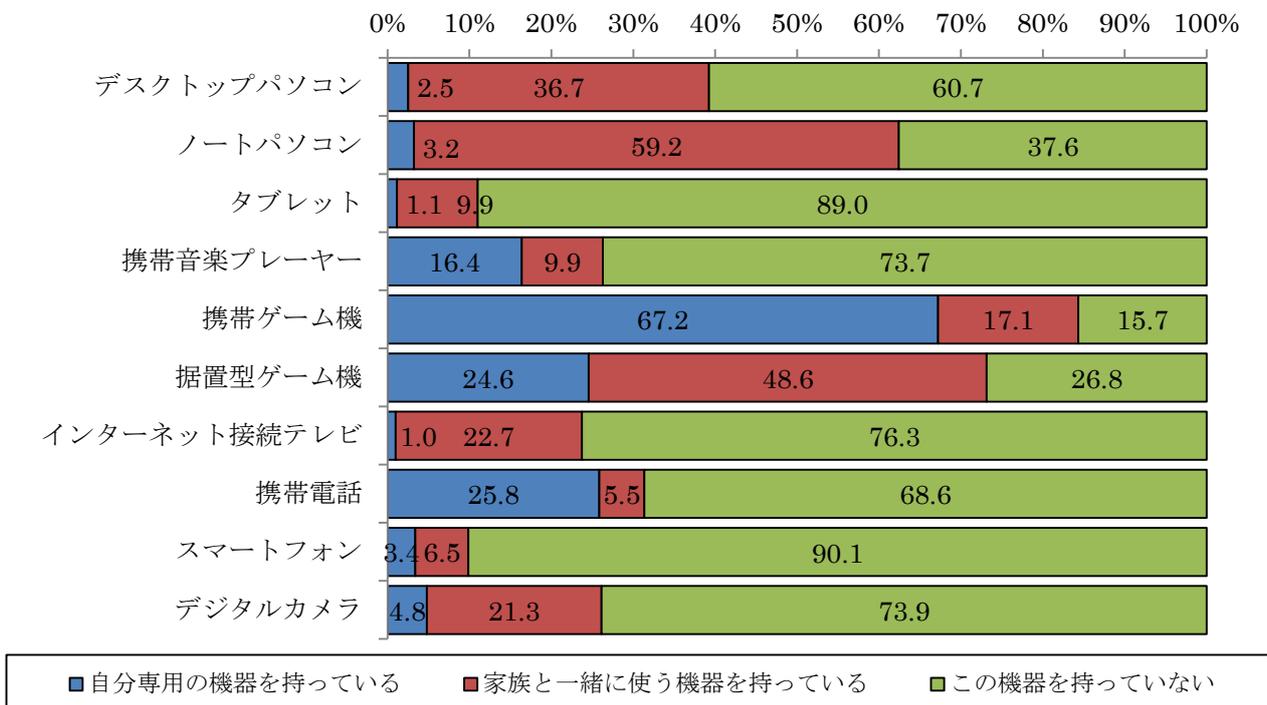


(1) 小学生の機器の所有状況

自分専用の機器の所有率は、デスクトップパソコンが 2.5%、ノートパソコンが 3.2%、タブレットが 1.1%、携帯音楽プレーヤーが 16.4%、携帯ゲーム機が 67.2%、据置型ゲーム機が 24.6%、インターネット接続テレビが 1.0%、携帯電話が 25.8%、スマートフォンが 3.4%、デジタルカメラが 4.8%となっている。

家族と一緒に使う場合を含めた所有率は、デスクトップパソコンが 39.3%、ノートパソコンが 62.4%、タブレットが 11.0%、携帯音楽プレーヤーが 26.3%、携帯ゲーム機が 84.3%、据置型ゲーム機が 73.2%、インターネット接続テレビが 23.7%、携帯電話が 31.4%、スマートフォンが 9.9%、デジタルカメラが 26.1%である。

図表 2-8 小学生の機器の所有状況(n=708)

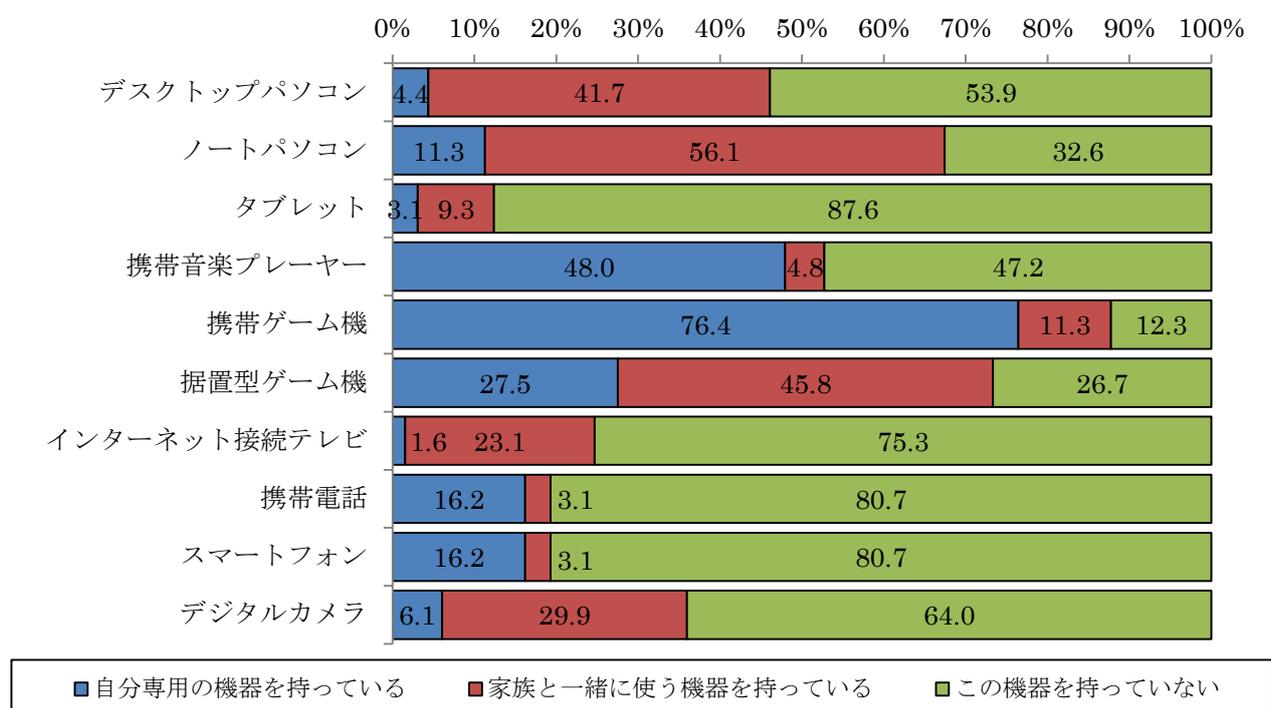


(2) 中学生の機器の所有状況

自分専用の機器の所有率は、デスクトップパソコンが 4.4%、ノートパソコンが 11.3%、タブレットが 3.1%、携帯音楽プレーヤーが 48.0%、携帯ゲーム機が 76.4%、据置型ゲーム機が 27.5%、インターネット接続テレビが 1.6%、携帯電話が 16.2%、スマートフォンが 16.2%、デジタルカメラが 6.1%となっている。

家族と一緒に使う場合を含めた所有率は、デスクトップパソコンが 46.1%、ノートパソコンが 67.4%、タブレットが 12.4%、携帯音楽プレーヤーが 52.8%、携帯ゲーム機が 87.7%、据置型ゲーム機が 73.3%、インターネット接続テレビが 24.7%、携帯電話が 19.3%、スマートフォンが 19.3%、デジタルカメラが 36.0%である。

図表 2-9 中学生の機器の所有状況(n=709)

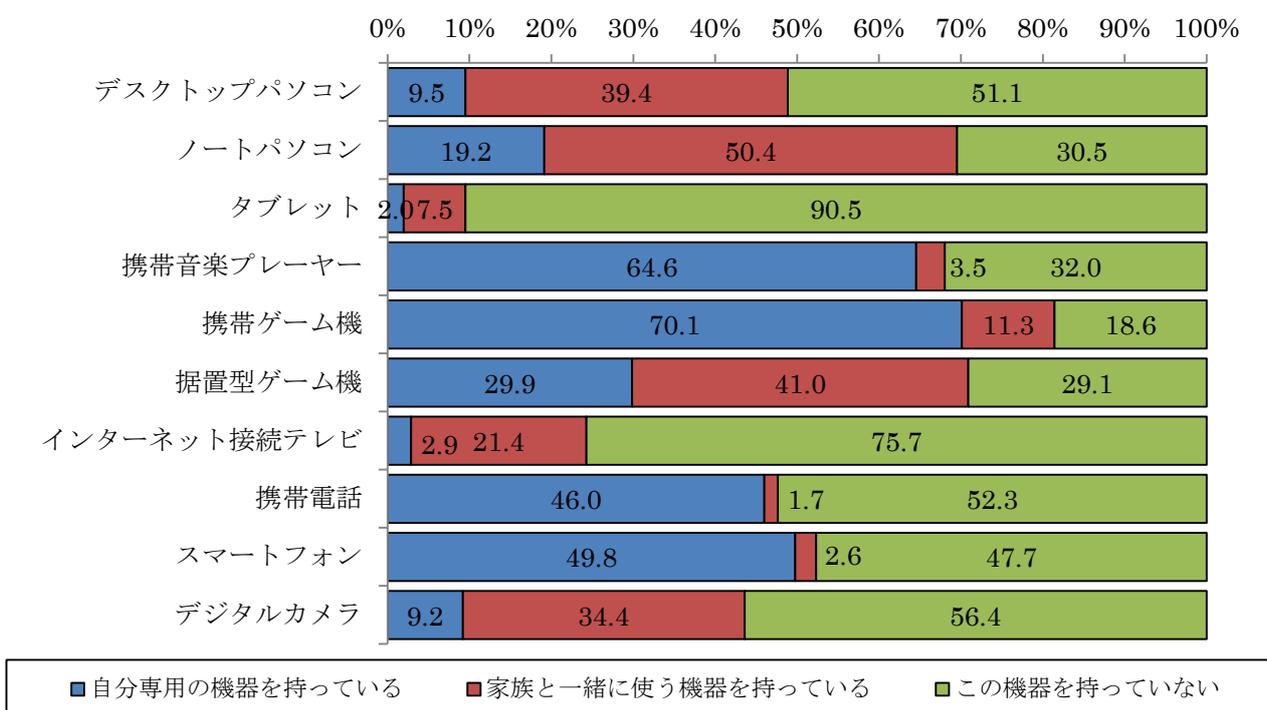


(3) 高校生の機器の所有状況

自分専用の機器の所有率は、デスクトップパソコンが 9.5%、ノートパソコンが 19.2%、タブレットが 2.0%、携帯音楽プレーヤーが 64.6%、携帯ゲーム機が 70.1%、据置型ゲーム機が 29.9%、インターネット接続テレビが 2.9%、携帯電話が 46.0%、スマートフォンが 49.8%、デジタルカメラが 9.2%となっている。

家族と一緒に使う場合を含めた所有率は、デスクトップパソコンが 48.9%、ノートパソコンが 69.5%、タブレットが 9.5%、携帯音楽プレーヤーが 68.0%、携帯ゲーム機が 81.4%、据置型ゲーム機が 70.9%、インターネット接続テレビが 24.3%、携帯電話が 47.7%、スマートフォンが 52.3%、デジタルカメラが 43.6%である。

図表 2-10 高校生の機器の所有状況(n=663)

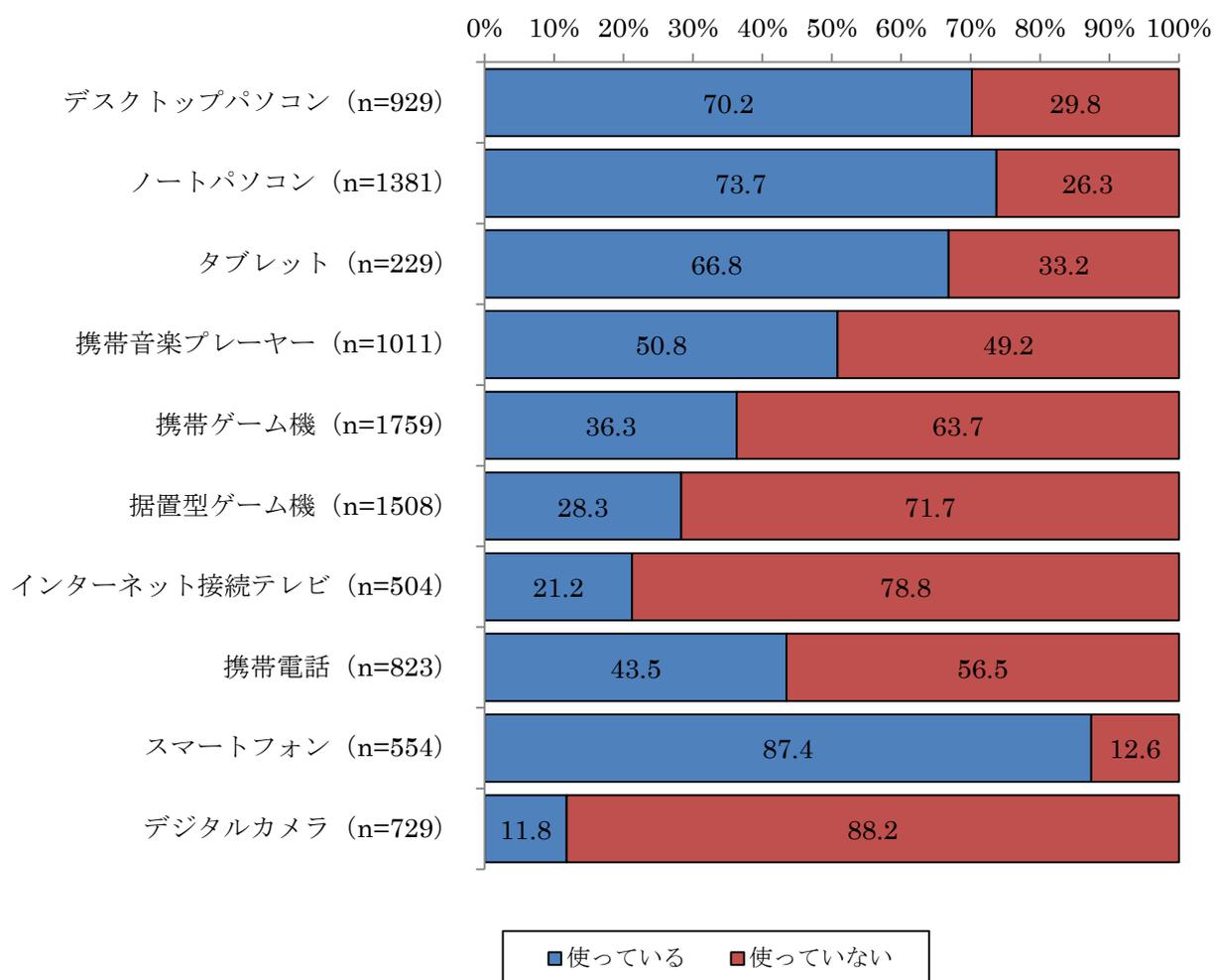


2-2-2 機器ごとのインターネット利用状況

所有している機器を使って、青少年がインターネットを利用している比率をみると、スマートフォンからのインターネット利用率が87.4%と最も高くなっている。デスクトップパソコン、ノートパソコンでのインターネット利用率は70%を超えている。

一方、据置型ゲーム機、インターネット接続テレビ、デジタルカメラでのインターネット利用率はそれぞれ28.3%、21.2%、11.8%と低くなっている。

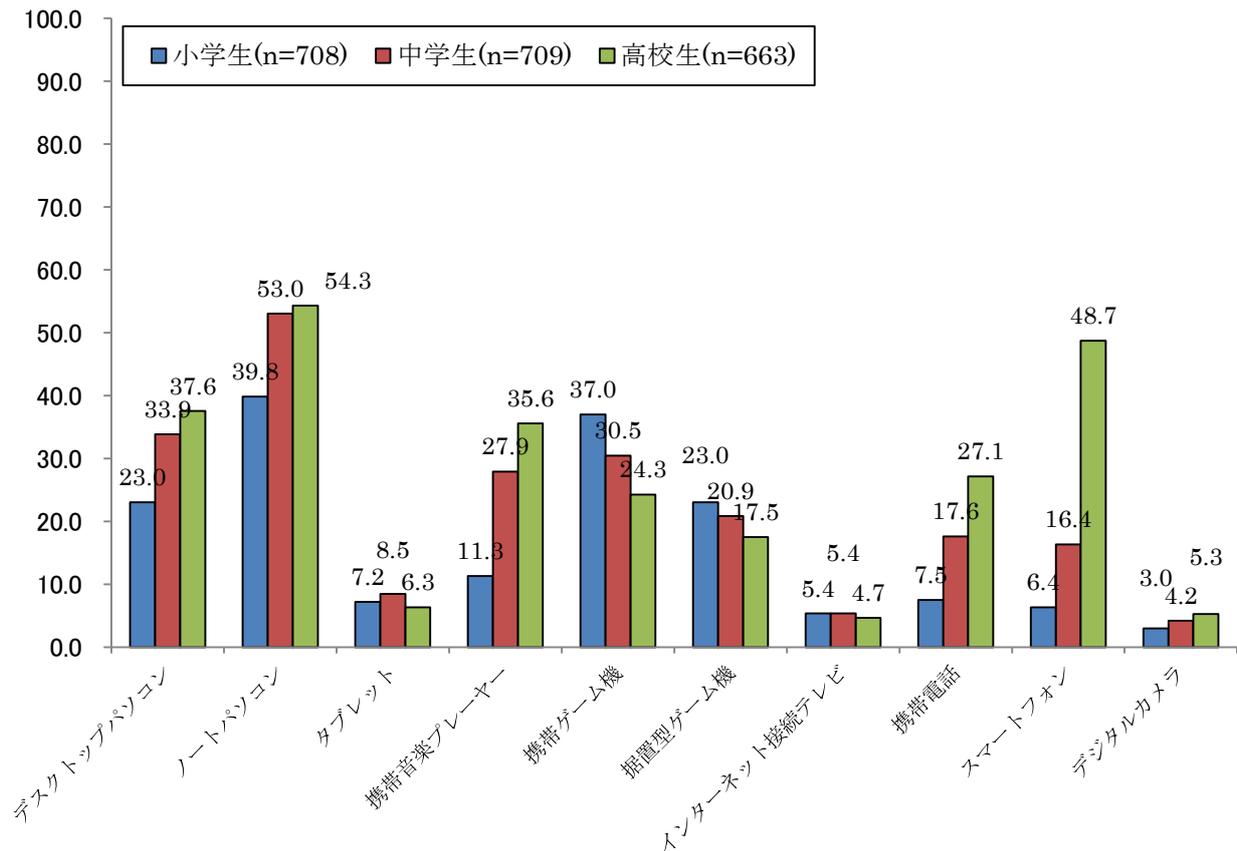
図表 2-11 所有している機器を使ったインターネットの利用状況



(注) 集計対象は、各機器を所有している青少年

小学生、中学生、高校生全体でのインターネット利用率は、デスクトップパソコン、携帯電話、スマートフォンでは、小学生から高校生になるに従って増加している。一方、携帯ゲーム機、据置型ゲーム機、インターネット接続テレビは、所有している機器ごとのインターネット利用率が減少している。タブレットとデジタルカメラのインターネット利用率はほぼ横ばいとなっている。

図表 2-12 所有している機器を使ったインターネットの利用状況

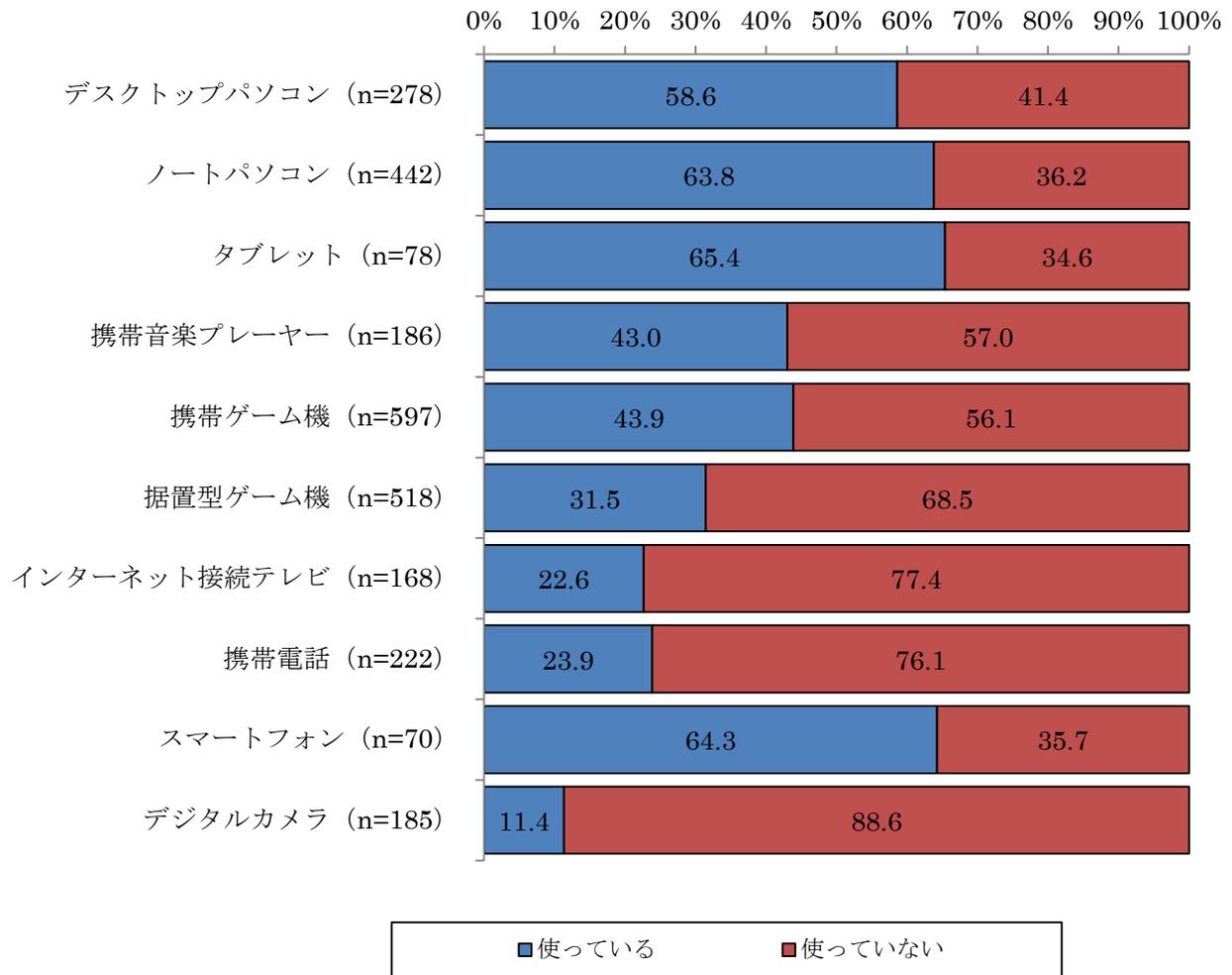


(注)集計対象は、青少年全体。各機器を所有していない青少年も含む。

(1) 小学生の機器ごとのインターネット利用状況

所有している機器を使って小学生がインターネットを利用している比率は、ノートパソコン、タブレット、スマートフォンでは所有者の約 2/3 がインターネットを利用している。また、携帯電話の所有者におけるインターネット利用率は 23.9%に留まっている。

図表 2-13 小学生の所有している機器ごとのインターネット利用状況



(注) 集計対象は、各機器を所有している青少年

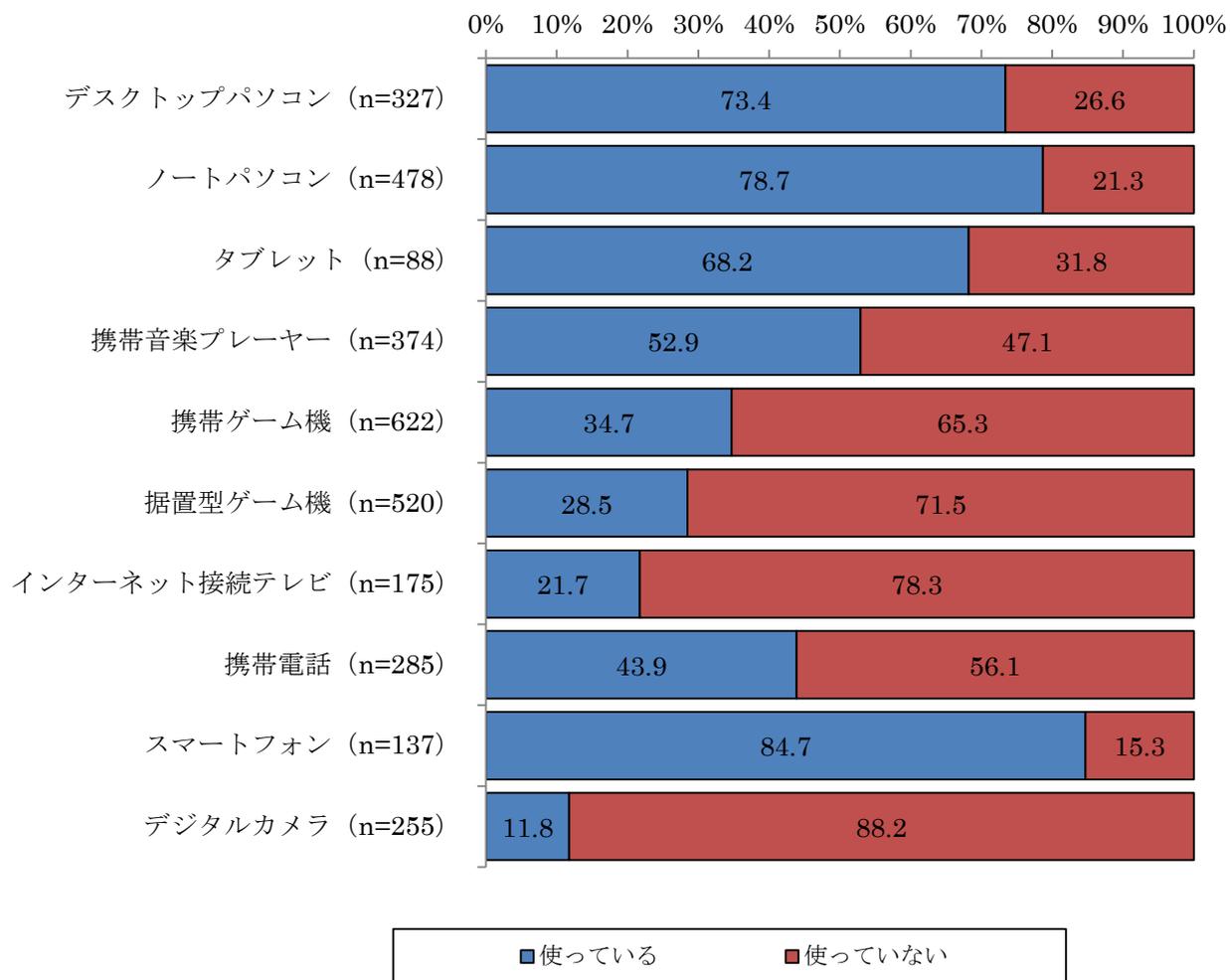
(2) 中学生の機器ごとのインターネット利用状況

所有している機器を使って中学生がインターネットを利用している比率は、デスクトップパソコン、ノートパソコン、スマートフォンでは70%を超えている。

小学生と比較すると、スマートフォン(20.4%増)、携帯電話(20.0%増)、ノートパソコン(14.9%増)、デスクトップパソコン(14.8%増)のインターネット利用率が高まっている。

一方、携帯ゲーム機(9.2%減)、据置型ゲーム機(3.0%減)のインターネット利用率は下がっている。

図表 2-14 中学生の所有している機器ごとのインターネット利用状況



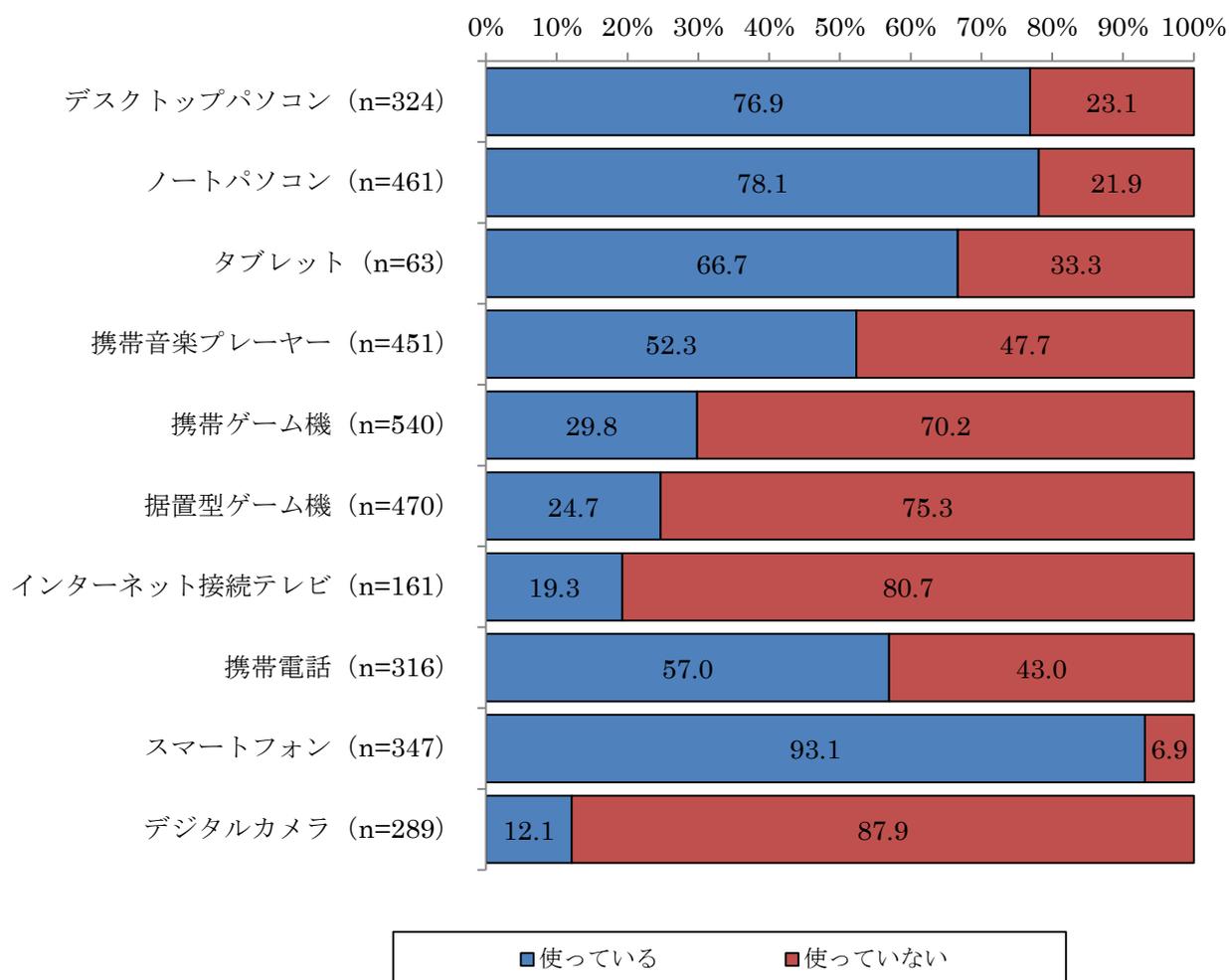
(注)集計対象は、各機器を所有している青少年

(3) 高校生の機器ごとのインターネット利用状況

所有している機器を使って高校生がインターネットを利用している比率は、スマートフォンで93.1%となっており、デスクトップパソコン、ノートパソコンで70%を超えている。携帯音楽プレーヤー及び携帯電話の利用率も5割以上を占めている。

中学生と比較すると、携帯電話(13.1%増)、スマートフォン(8.4%増)のインターネット利用率が高まり、携帯ゲーム機(4.9%減)、据置型ゲーム機(3.8%減)、インターネット接続テレビ(2.4%減)のインターネット利用率が減少した。

図表 2-15 高校生の所有している機器ごとのインターネット利用状況



(注) 集計対象は、各機器を所有している青少年

2-2-3 機器の所有状況とインターネットの利用状況

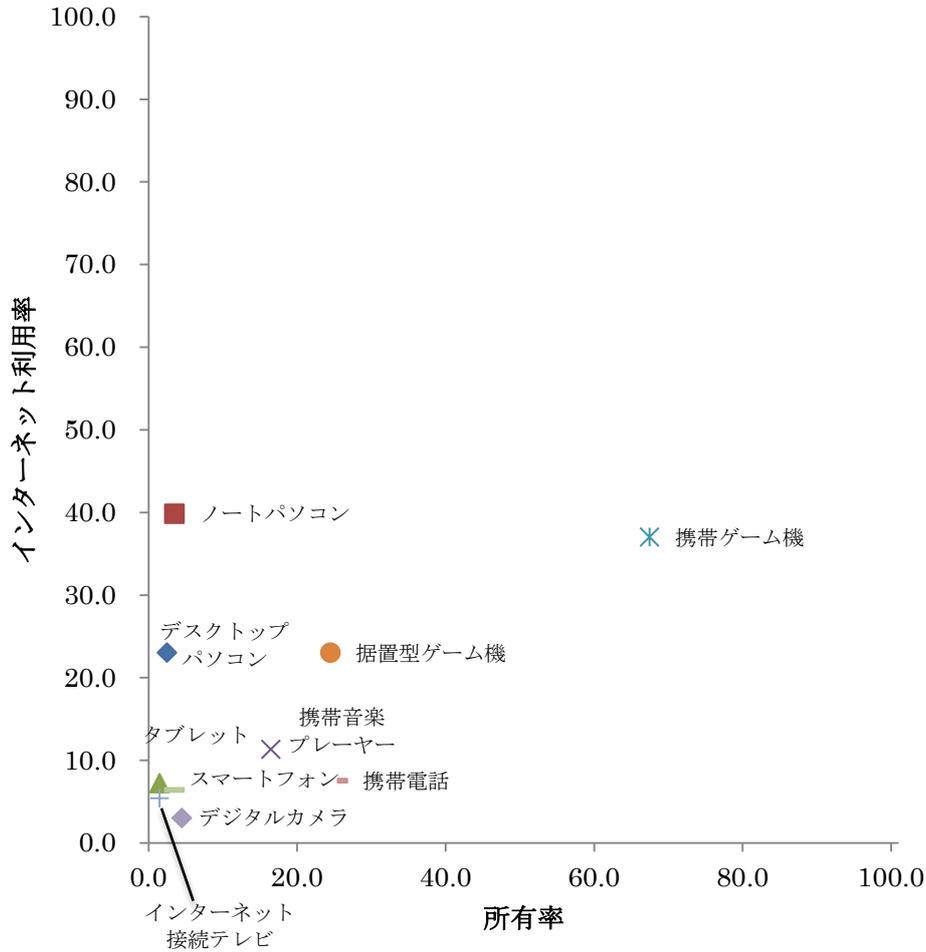
機器ごとに、所有率とインターネット利用率をみると、小学生、中学生、高校生となるに従って、所有率・インターネット利用率ともに増加する機器(ノートパソコン、デスクトップパソコン、携帯電話、スマートフォン、携帯音楽プレーヤー)と、所有率は上がるがインターネット利用率が減少する機器(携帯ゲーム機、据置型ゲーム機)があることがわかる。

所有率・インターネット利用率ともに増加する機器は、年齢があがるに従って段階的に増加していくものが多いが、携帯音楽プレーヤーは小学校から中学校にかけて大きく増加し、スマートフォンは中学校から高校にかけて大きく増加していた。

(1) 小学生の機器ごとの所有率とインターネット利用率

小学生において所有率とインターネット利用率が比較的高いのは、携帯ゲーム機である。また、ノートパソコンでのインターネット利用率も高いが、所有率は高くなく、3%程度である。

図表 2-16 小学生の機器ごとの所有率とインターネット利用率 (n=708)

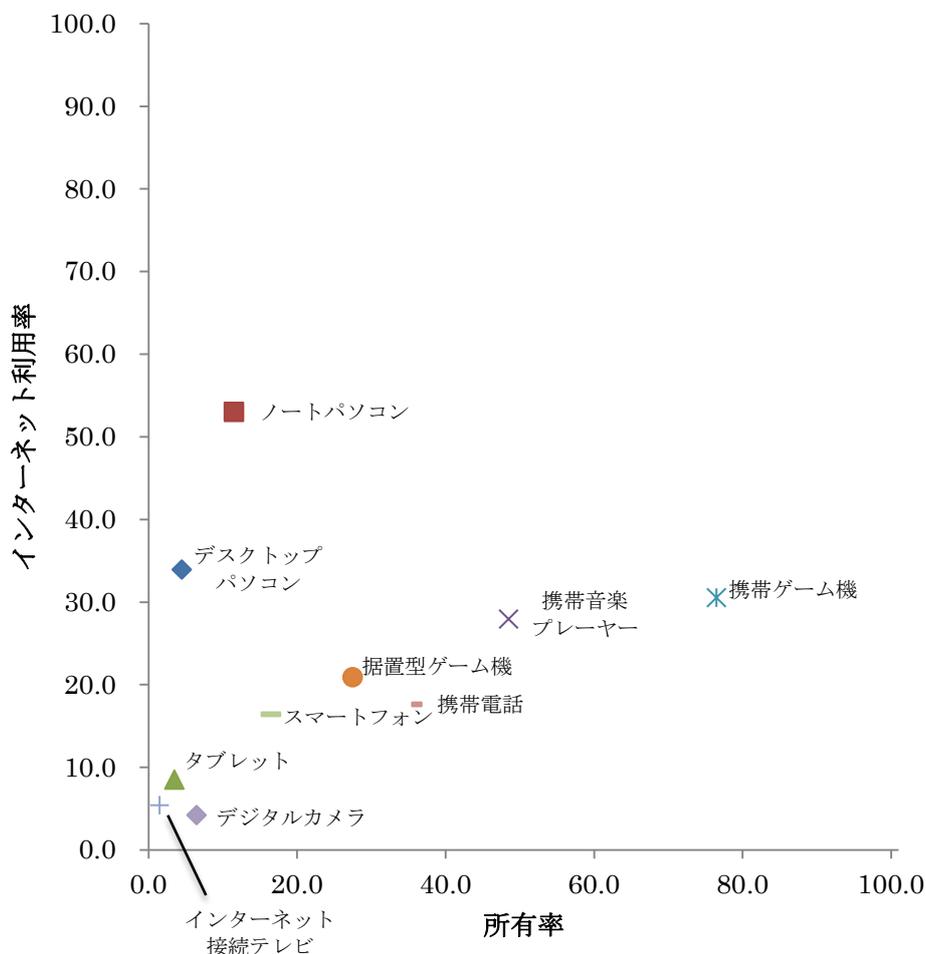


	所有率	インターネット利用率
デスクトップパソコン	2.5%	23.0%
ノートパソコン	3.2%	39.8%
タブレット	1.1%	7.2%
携帯音楽プレーヤー	16.4%	11.3%
携帯ゲーム機	67.2%	37.0%
据置型ゲーム機	24.6%	23.0%
インターネット接続テレビ	1.0%	5.4%
携帯電話	25.8%	7.5%
スマートフォン	3.4%	6.4%
デジタルカメラ	4.8%	3.0%

(2) 中学生の機器ごとの所有率とインターネット利用率

中学生において所有率とインターネット利用率が比較的高いのは、小学生と同様、携帯ゲーム機であるが、携帯音楽プレーヤーと携帯電話の所有率とインターネット利用率が高くなっている。特に携帯音楽プレーヤーの所有率は、小学生の3倍近くであった。

図表 2-17 中学生の機器ごとの所有率とインターネット利用率(n=709)

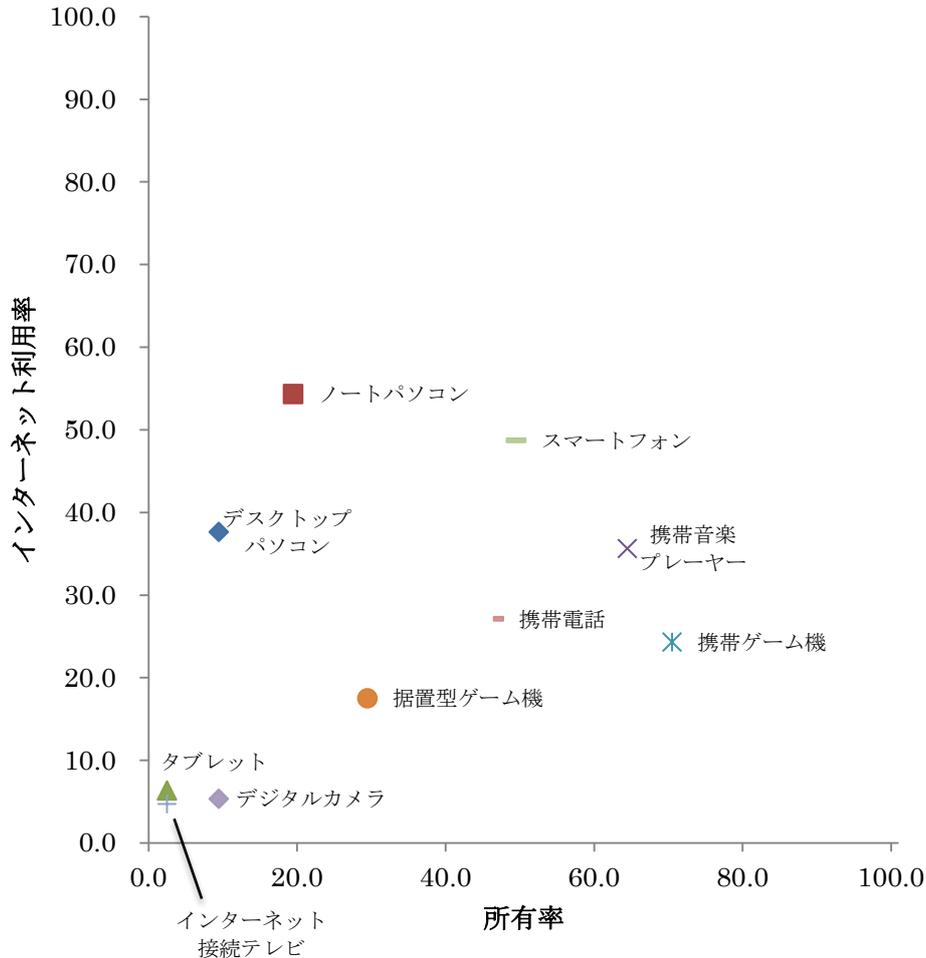


	所有率	インターネット利用率
デスクトップパソコン	4.4%	33.9%
ノートパソコン	11.3%	53.0%
タブレット	3.1%	8.5%
携帯音楽プレーヤー	48.0%	27.9%
携帯ゲーム機	76.4%	30.5%
据置型ゲーム機	27.5%	20.9%
インターネット接続テレビ	1.6%	5.4%
携帯電話	35.0%	17.6%
スマートフォン	16.2%	16.4%
デジタルカメラ	6.1%	4.2%

(3) 高校生の機器ごとの所有率とインターネット利用率

高校生において所有率とインターネット利用率が高いのは、スマートフォン、携帯電話、携帯音楽プレーヤー、携帯ゲーム機である。小中学生と比較して、スマートフォンの所有率及びインターネット利用率が大きく増加している。

図表 2-18 高校生の機器ごとの所有率とインターネット利用率 (n=663)



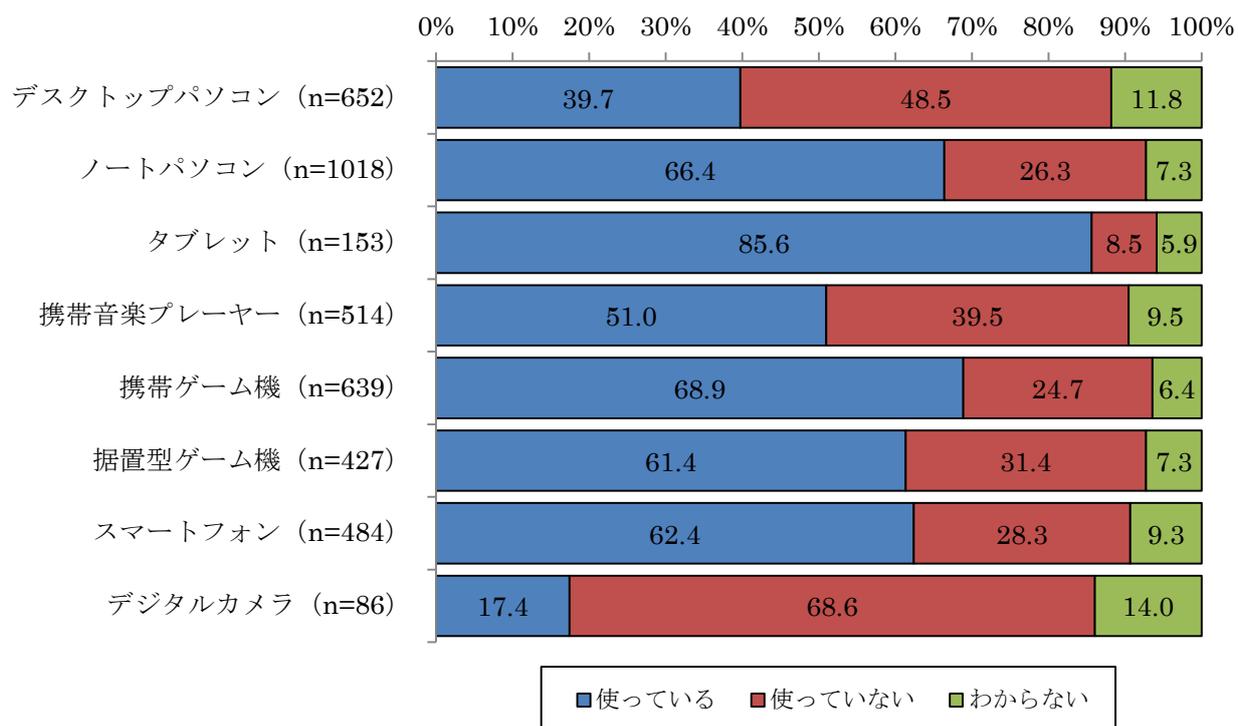
	所有率	インターネット利用率
デスクトップパソコン	9.5%	37.6%
ノートパソコン	19.2%	54.3%
タブレット	2.0%	6.3%
携帯音楽プレーヤー	64.6%	35.6%
携帯ゲーム機	70.1%	24.3%
据置型ゲーム機	29.9%	17.5%
インターネット接続テレビ	2.9%	4.7%
携帯電話	46.0%	27.1%
スマートフォン	49.8%	48.7%
デジタルカメラ	9.2%	5.3%

2-2-4 無線 LAN を利用したインターネットの利用状況

ポータブルな機器であるノートパソコンやタブレット、携帯音楽プレーヤー、携帯ゲーム機、スマートフォンを使ってインターネットを利用している青少年のうち、無線 LAN を介してインターネットを利用している比率は、すべての機器で 5 割以上となっている。

特にタブレットでの無線 LAN 使用比率は高く、85.6%となっている。

図表 2-19 機器ごとの無線 LAN を介したインターネットの利用状況

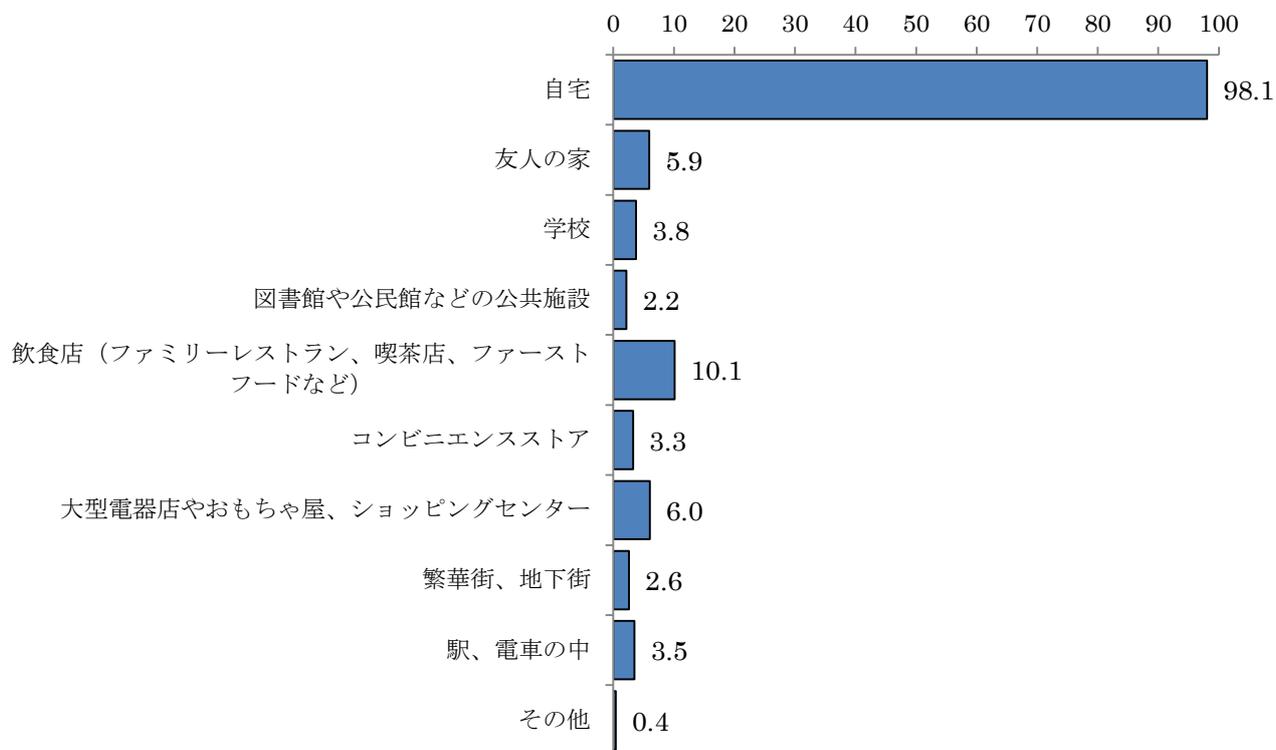


(注) 集計対象は、各機器でインターネットを利用している青少年

無線 LAN を使っている場所では自宅が最も多い。無線 LAN を利用している青少年の 98.1%が自宅で利用している。その他、飲食店が 10.1%、大型電気店やおもちゃ屋、ショッピングセンターが 6.0%、友人の家が 5.9%、学校が 3.8%、駅・電車の中が 3.5%となっている。

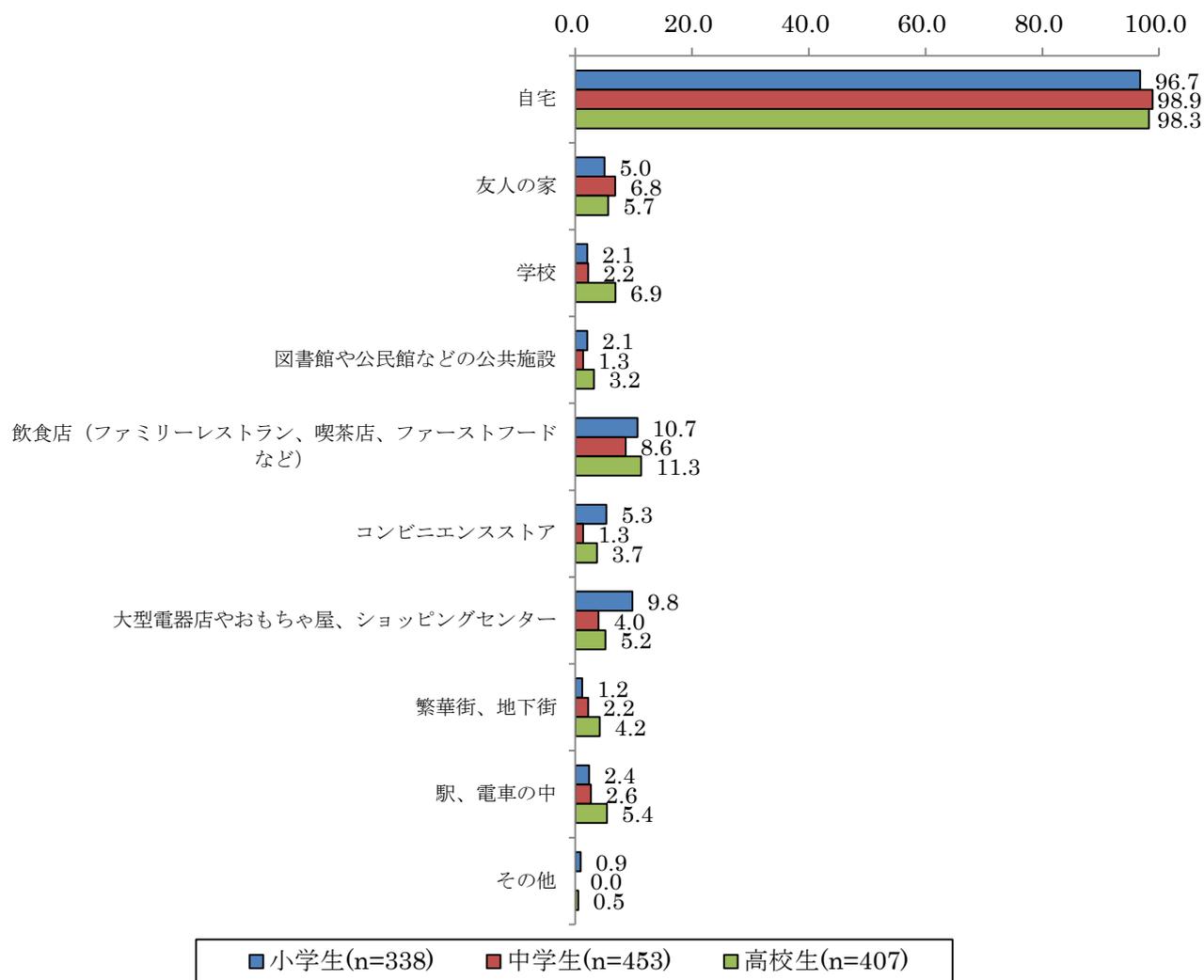
その他の内容としては、親類の家や具体的な商業施設名の記載となっていた。

図表 2-20 無線 LAN を利用している場所 (n=1198)



(注) 集計対象は、無線 LAN を利用している青少年

図表 2-21 学校種別ごとの無線 LAN を利用している場所 (n=1198)

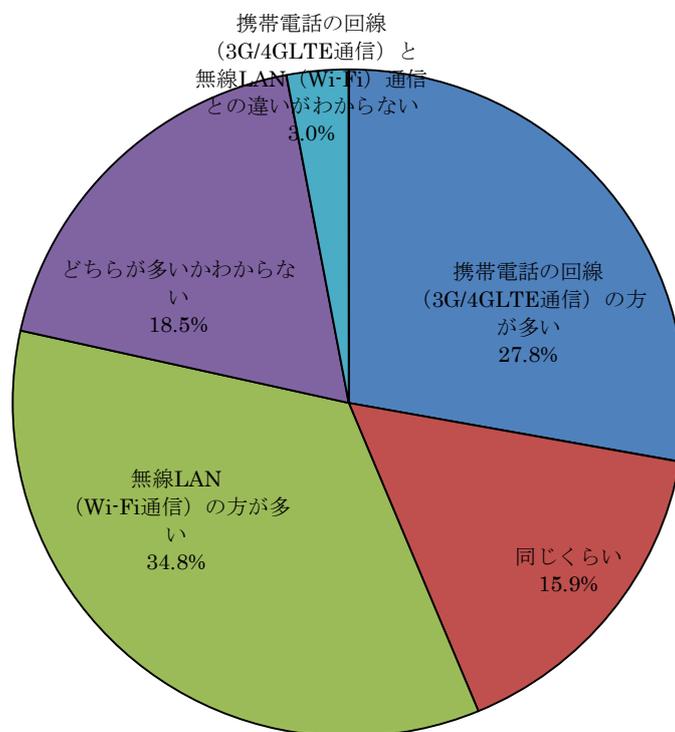


(注) 集計対象は、無線 LAN を利用している青少年

スマートフォンを使っている場合、携帯電話の回線(3G/4GLTE通信)と無線LAN(Wi-Fi)通信では、無線LAN接続を利用してインターネットを利用する方が多かった。

携帯電話の回線と無線LAN通信との違いがわからないという回答は3.0%であった。

図表 2-22 スマートフォンからの無線LANを介したインターネットの利用状況(n=302)



2-3 オープンサイトの利用状況

ゲーム機メーカー等によるクローズなサービスが提供されている携帯ゲーム機、据置型ゲーム機、インターネット接続テレビにおいて、一般的なサイト(オープンなサイト)と公式なサービス(クローズなサービス)の利用状況をみると、3割弱~4割弱の青少年は公式なサービスだけを利用している。

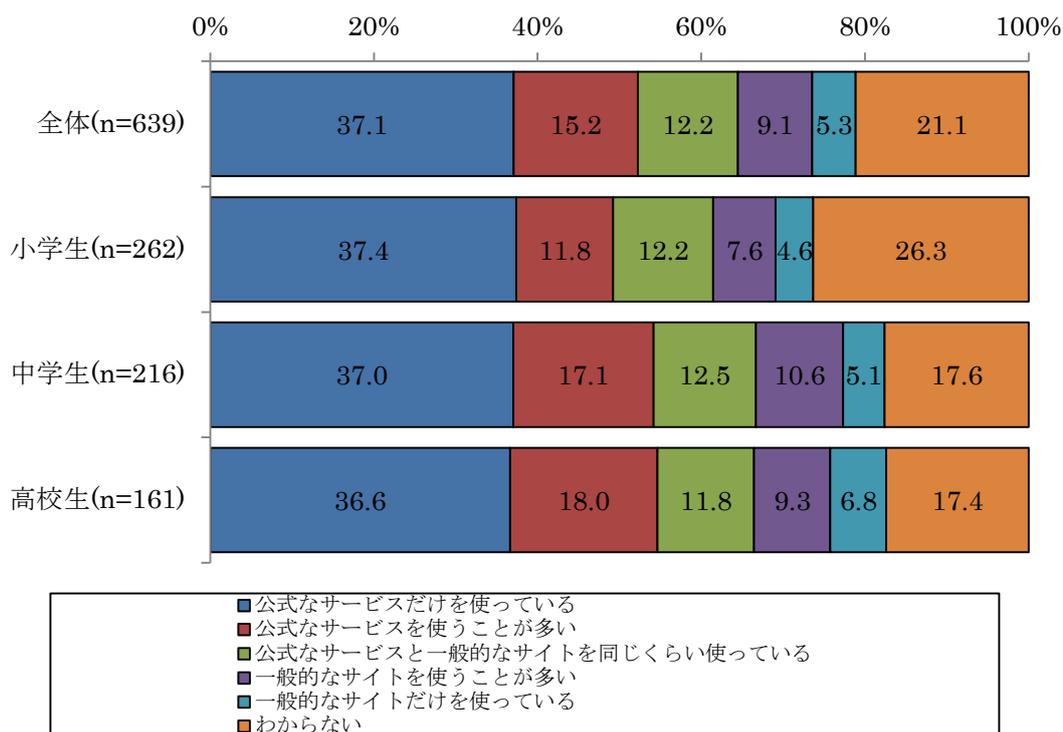
一方、1割程度の青少年は公式なサービスよりも、一般的なサイトを利用することの方が多くしており、一般的なサイトしか利用しないという青少年も少数ながら存在している。

携帯ゲーム機では、年齢が高くなるに従って、公式なサービスを利用することが多い者の比率が増加している。また、一般的なサイトだけを使っているという比率も高校生が最も高い。

据置型ゲーム機では公式なサービスだけを使っているという比率は小学生が38.0%、中学生が43.2%、高校生が30.2%だった。「公式なサービスを使うことが多い」も含めると5割以上になり、他の機器よりも公式なサービスの利用率が高く、特に中学生の利用率が高い。

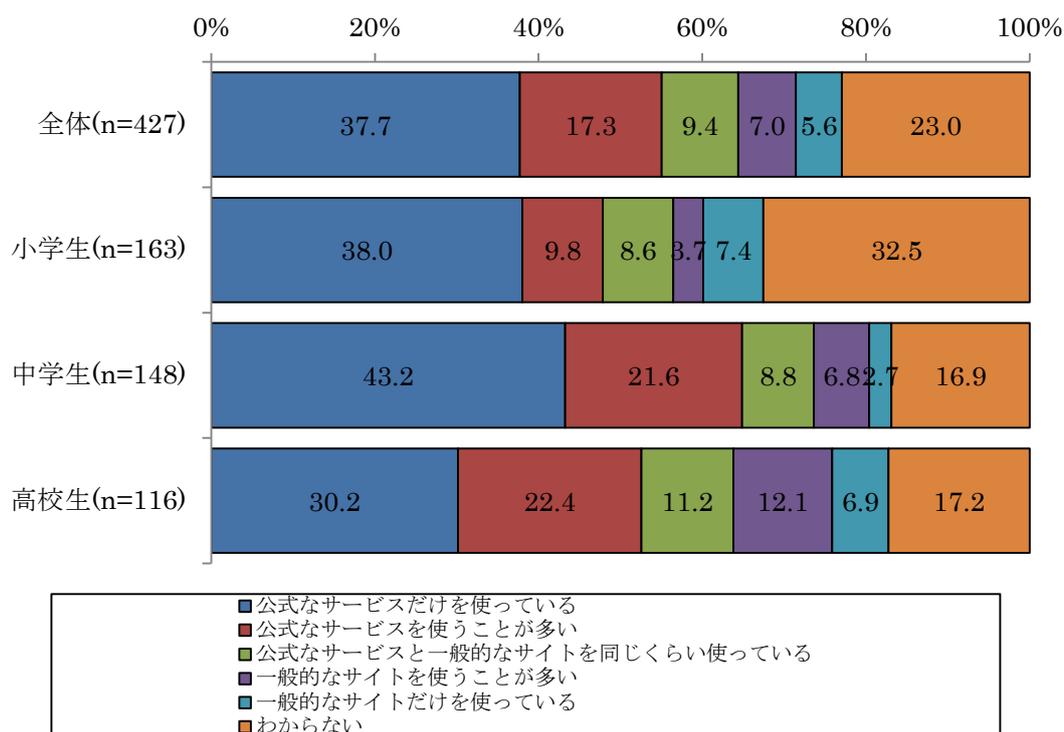
インターネット接続テレビでは公式なサービスだけを使っているという比率は3割弱であり、他の機器よりも低い。年齢が高くなるに従って一般的なサイトを多く利用する比率が高くなっている。

図表 2-23 携帯ゲーム機における公式なサービスと一般的なサイトの利用状況



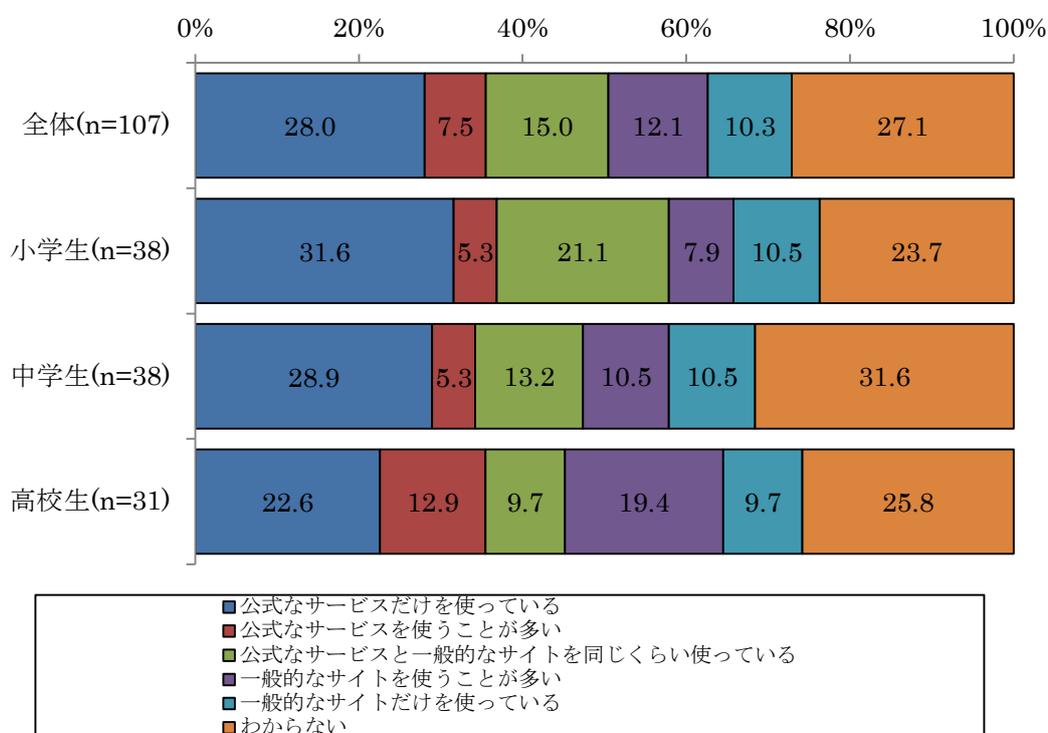
(注) 集計対象は、携帯ゲーム機でインターネットを利用している青少年

図表 2-24 据置型ゲーム機における公式なサービスと一般的なサイトの利用状況



(注)集計対象は、据置型ゲーム機でインターネットを利用している青少年

図表 2-25 インターネット接続テレビにおける公式なサービスと一般的なサイトの利用状況

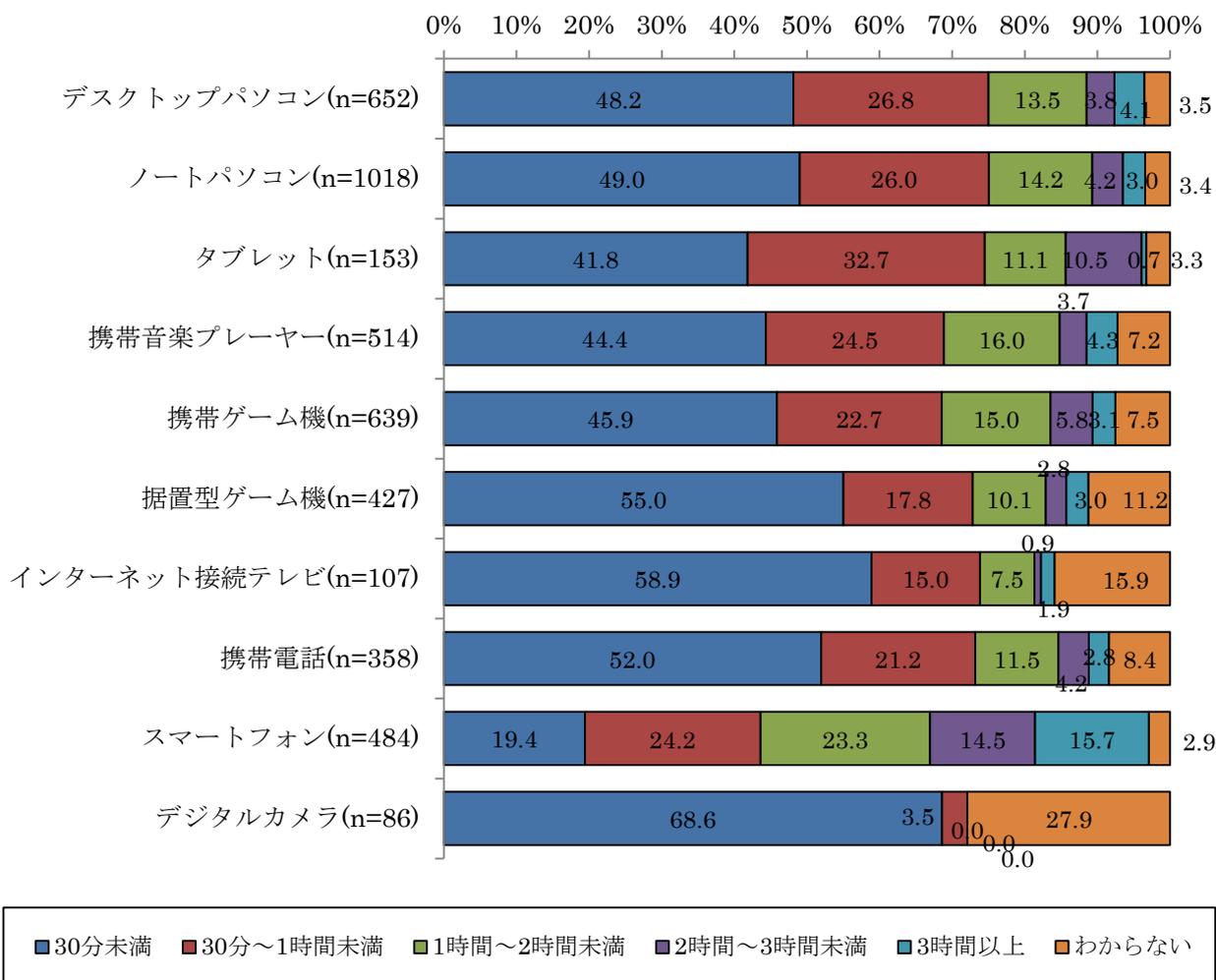


(注)集計対象は、インターネット接続テレビでインターネットを利用している青少年

2-4 インターネットの利用時間

1日あたりのインターネット利用時間について機器ごとに調査したところ、他の機器と比べスマートフォンでは長時間利用している青少年の比率が多くなっている。そのうち3時間以上利用している者が15.7%だった。一方、デジタルカメラ、インターネット接続テレビ、据置型ゲーム機は、他の機器よりも利用時間が短い者が多い。

図表 2-26 機器ごとの1日あたりのインターネット利用時間



(注) 集計対象は、各機器でインターネットを利用している青少年

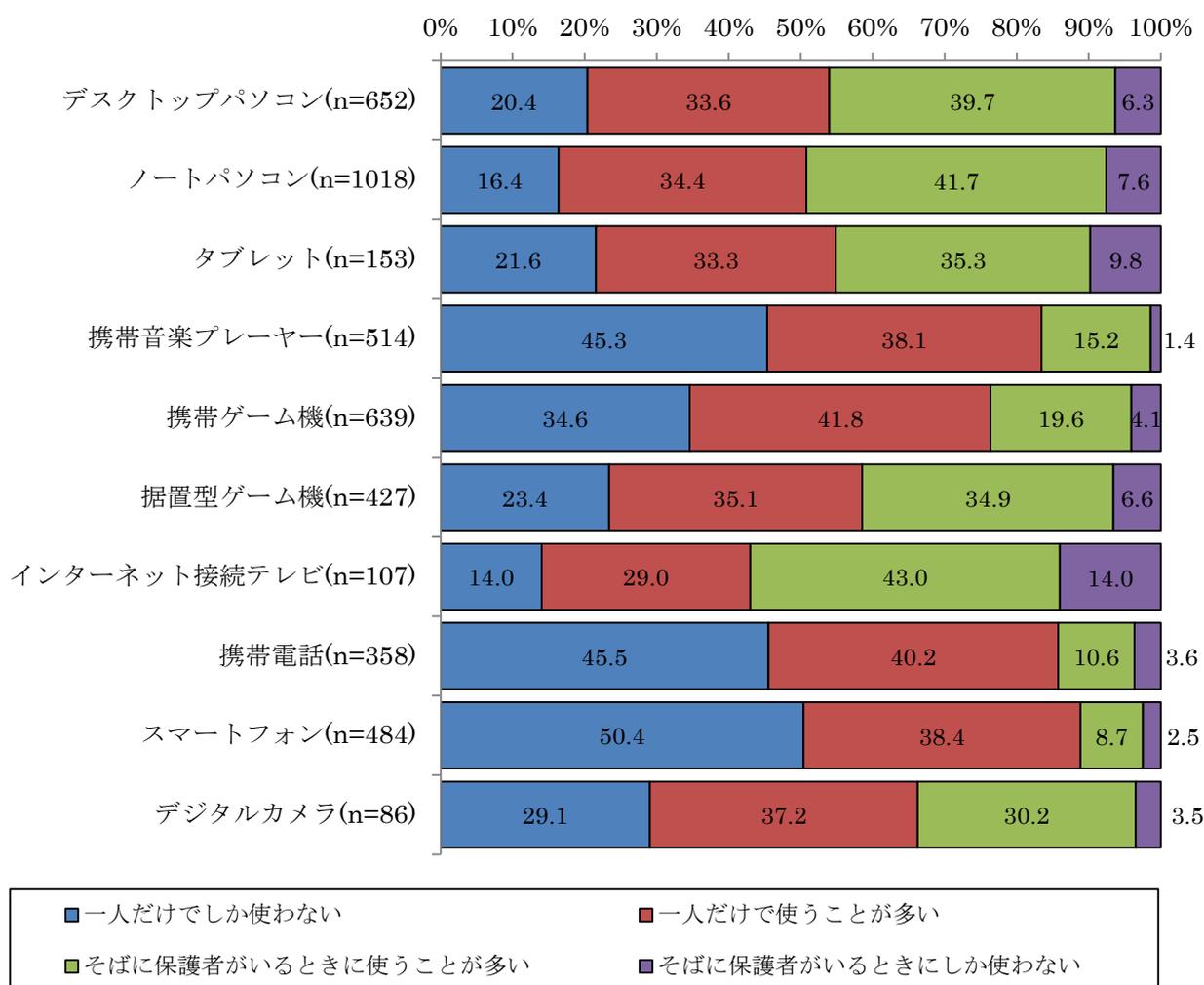
2-4 青少年単独での利用状況

2-4-1 青少年単独でのインターネットの利用状況

インターネットを使う時に、青少年単独で利用することが多いか、そばに保護者がいる時に使う時が多いかを調査したところ、ポータブルな機器では一人だけで使うことが多くなる傾向がみられた。携帯電話、スマートフォンでは9割弱の青少年が「一人だけでしか使わない」「一人だけで使うことが多い」と回答している。また、携帯音楽プレーヤーや携帯ゲーム機でもこれらの比率が8割前後と高くなっている。

なお、デスクトップパソコン、ノートパソコン、タブレットでは、5～6割程度である。

図表 2-27 機器ごとのインターネットの単独利用状況



(注)集計対象は、各機器でインターネットを利用している青少年

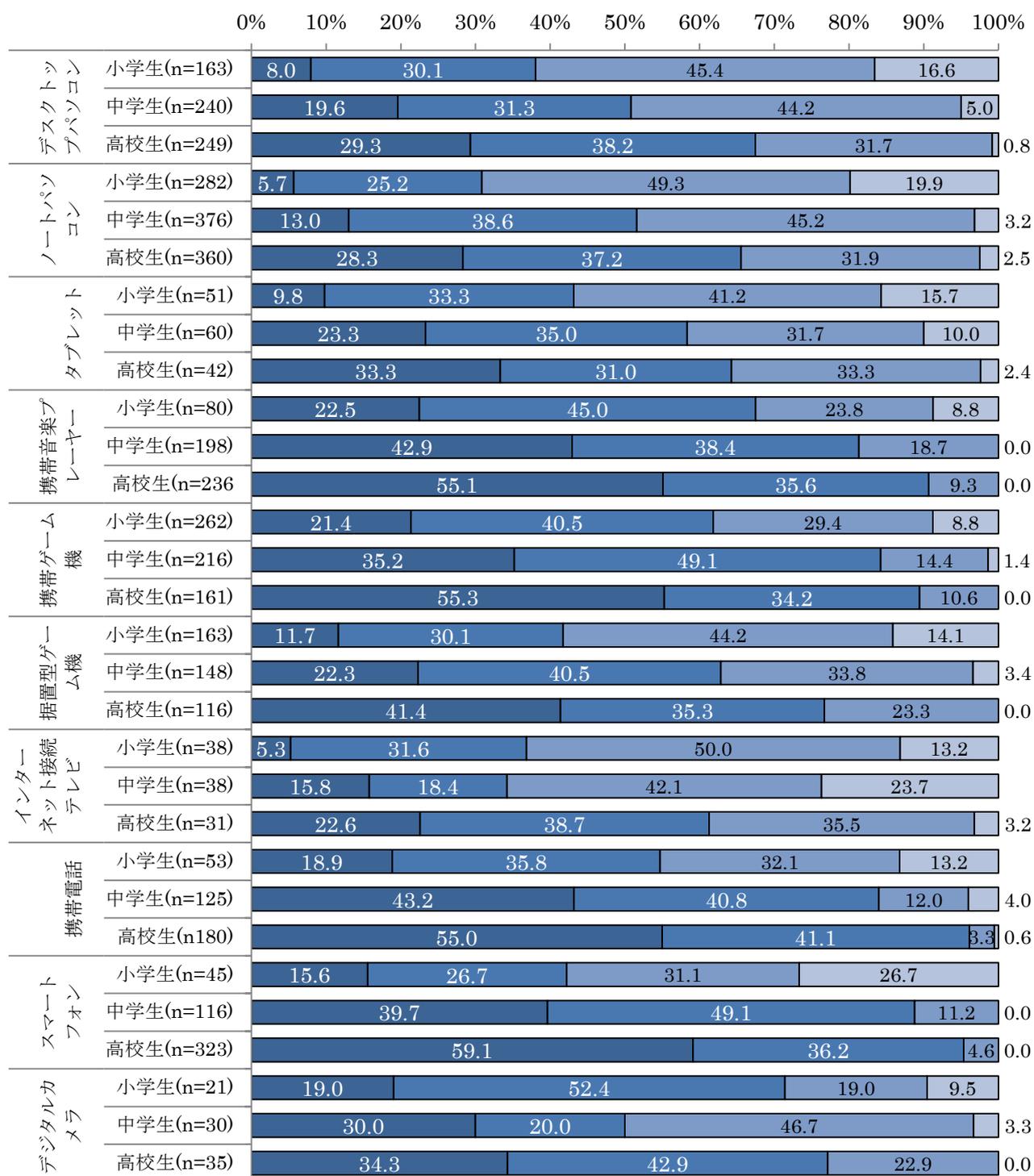
小学生、中学生、高校生と年齢が高まるに従い、単独利用の比率が高まる傾向は、ほぼすべての機器でみられた。

高校生では、携帯電話、スマートフォンを「一人だけでしか使わない」「一人だけで使うことが多い」と回答している者が9割以上となっている。携帯音楽プレーヤー、携帯ゲーム機では「一人だけでしか使わない」「一人だけで使うことが多い」と回答している者が9割程度となっている。また、パソコンでも7割弱を占めている。

小学生では、携帯電話、携帯ゲーム機、携帯音楽プレーヤーを「一人だけでしか使わない」「一人だけで使うことが多い」と回答する者が6割程度となっている。パソコンでは4割程度である。

小学生では、保護者がそばにいるときにしか使わないという比率が、ほぼ全ての機器において1~2割程度と中高生よりも高くなっている。特にスマートフォンでは3割弱が保護者がそばにいるときにしか使わないと回答している。

図表 2-28 機器ごとのインターネットの単独利用状況(学校種別)



一人だけでしか使わない
 一人だけで使うことが多い
 そばに保護者がいるときに使うことが多い
 そばに保護者がいるときにしか使わない

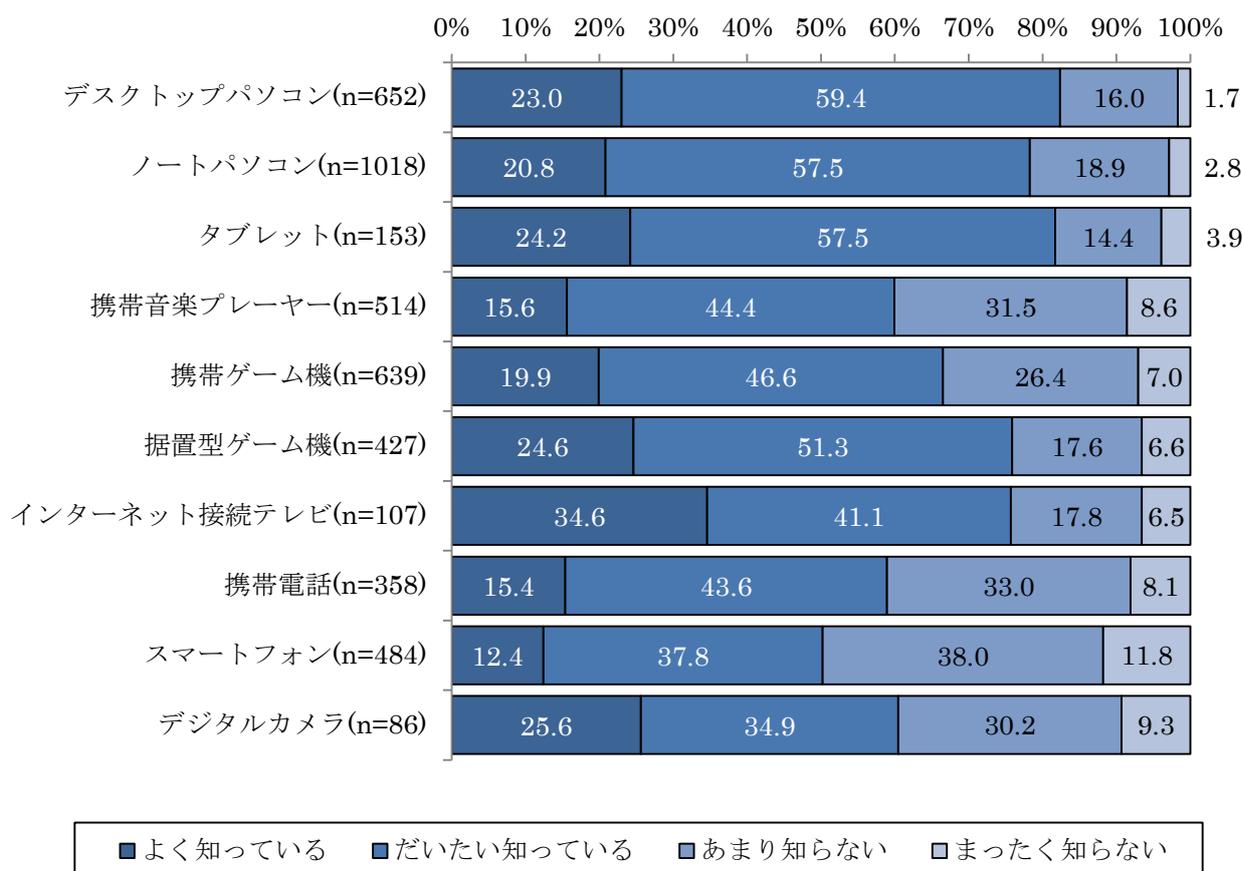
(注) 集計対象は、各機器でインターネットを利用している青少年

2-4-2 青少年の利用状況に関する保護者の把握状況

青少年のインターネットの利用状況について、保護者がどの程度把握していると考えているか調査したところ、パソコン、タブレット、インターネット接続テレビ、据置型ゲーム機に関しては約8割が「よく知っている」「だいたい知っている」と回答している。

一方、携帯電話で「よく知っている」「だいたい知っている」との回答は6割程度に、スマートフォンでは5割程度に留まっている。

図表 2-29 青少年のインターネット利用状況に関する保護者の把握状況に対する青少年の認識



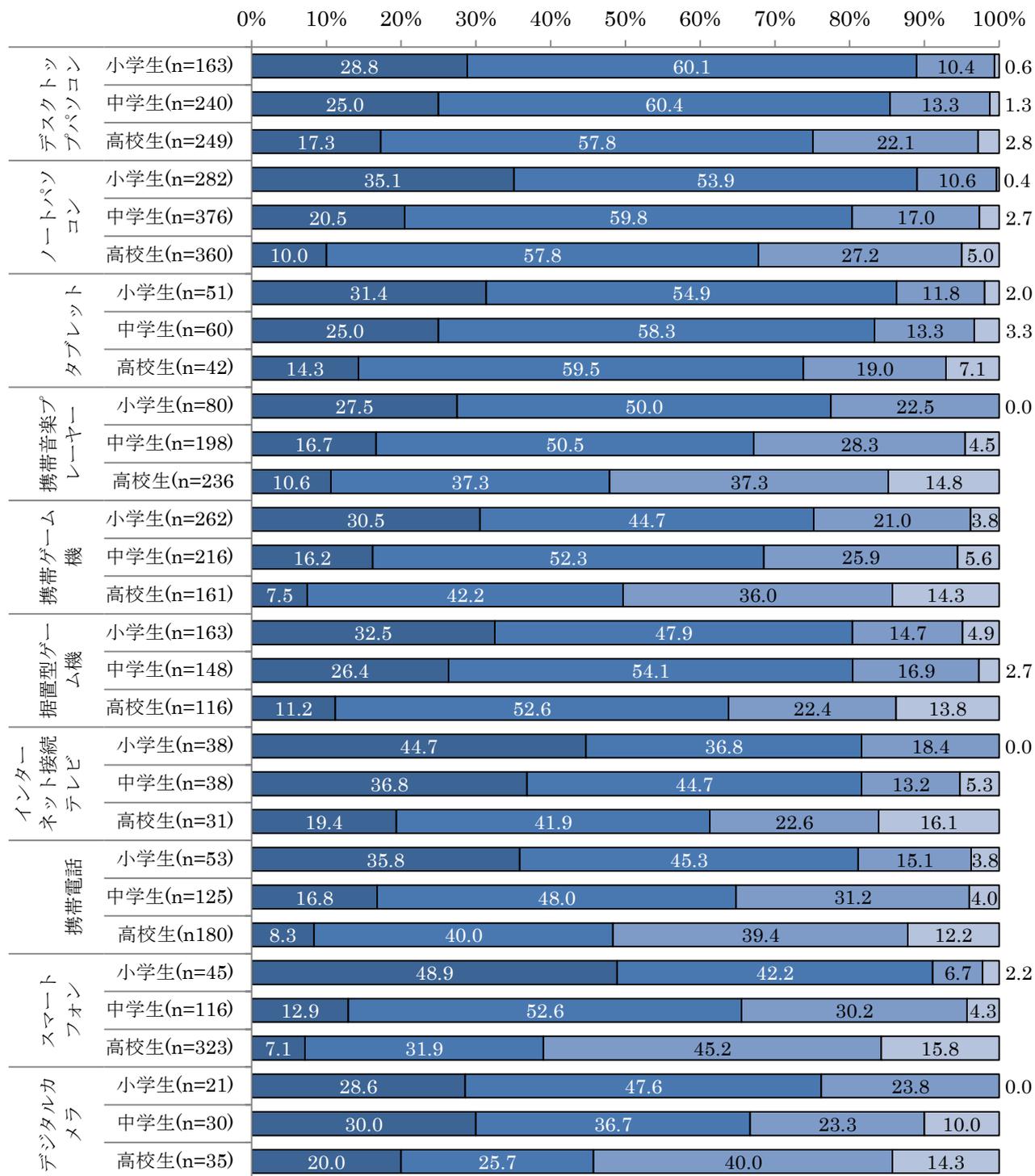
(注)集計対象は、各機器でインターネットを利用している青少年

保護者が利用状況について把握していると考える比率は、小学生、中学生、高校生となるに従って減少している。

高校生でも、パソコン、タブレット、インターネット接続テレビ、据置型ゲーム機に関しては、利用状況について保護者が「よく知っている」「だいたい知っている」と6割以上が回答している。

一方、携帯電話、スマートフォンに関して、保護者が「よく知っている」「だいたい知っている」とする高校生は、5割に満たない。

図表 2-30 青少年のインターネット利用状況に関する保護者の把握状況に対する青少年の認識
(学校種別)



■よく知っている ■だいたい知っている ■あまり知らない □まったく知らない

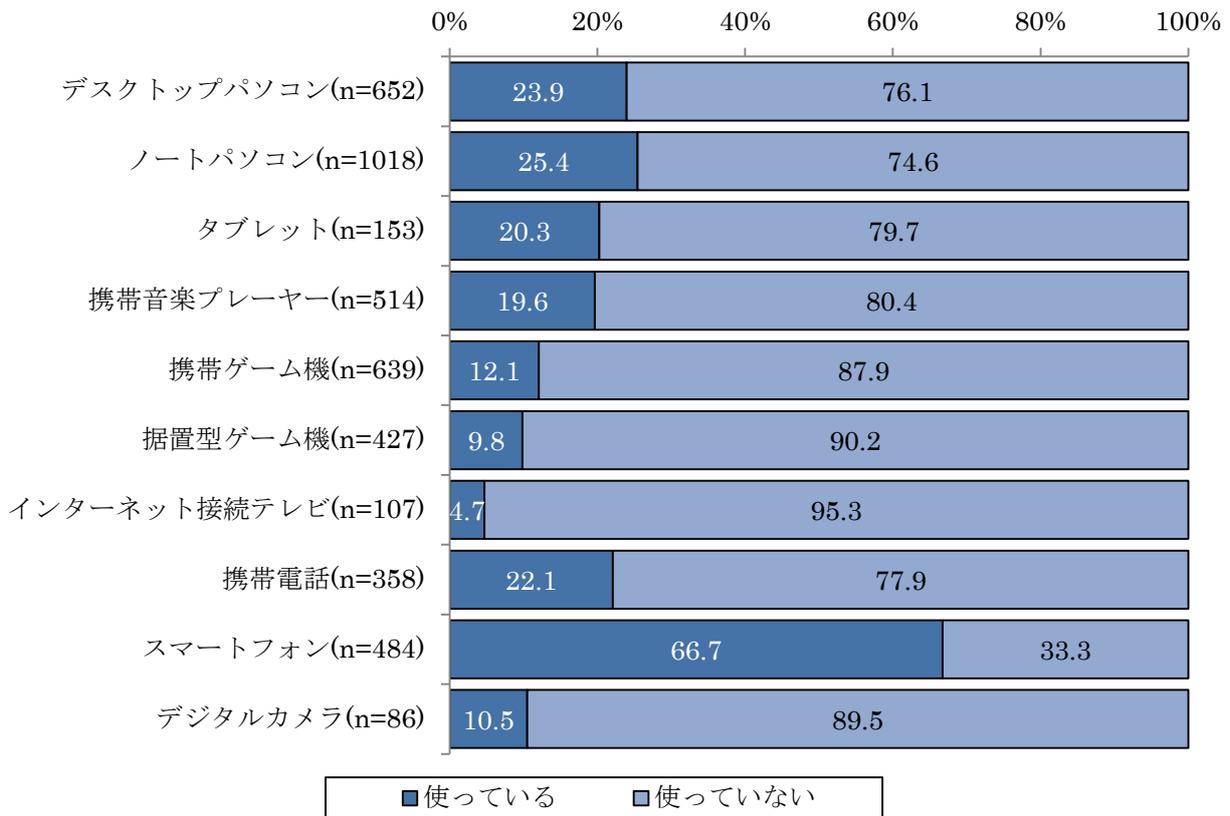
(注)集計対象は、各機器でインターネットを利用している青少年

2-5 コミュニティサイトの利用状況

2-5-1 コミュニティサイトの利用率

コミュニティサイトの利用率は、特にスマートフォンでの利用率が高く66.7%であった。携帯電話、デスクトップパソコン、ノートパソコン、タブレットでの利用率もそれぞれ20%以上である。携帯ゲーム機、据置型ゲーム機、インターネット接続テレビ、デジタルカメラでの利用率は10%前後であった。

図表 2-31 機器ごとのコミュニティサイト利用状況

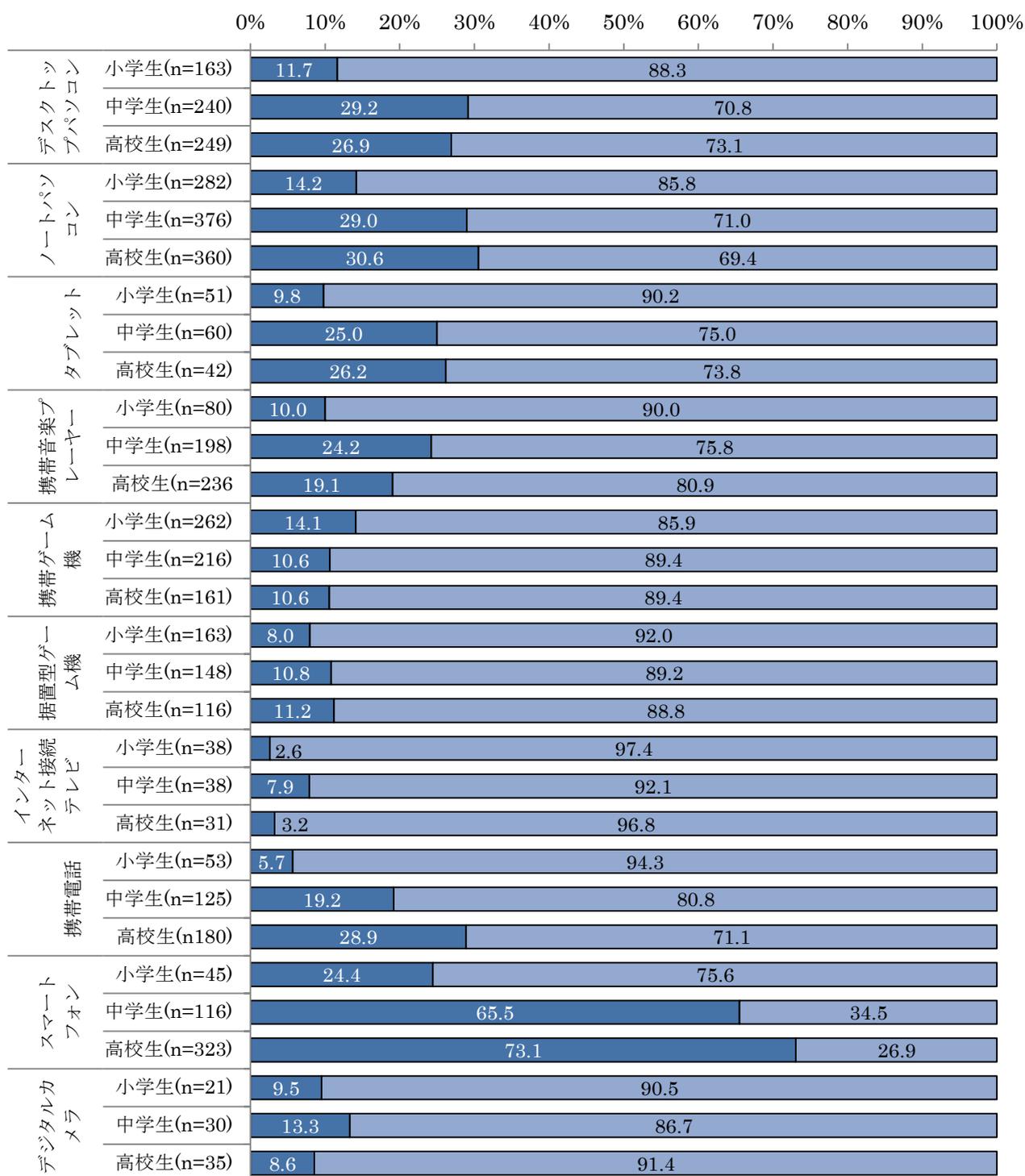


(注) 集計対象は、各機器でコミュニティサイトを利用している青少年

小学生、中学生、高校生となるに従って、コミュニティサイトの利用率は増加する傾向にある。

デスクトップパソコン、ノートパソコン、タブレットでは、小学生と中高生の間利用率の差が大きくなっており、中学生になった時点で利用が増えている状況がうかがえる。一方、携帯電話やスマートフォンでは、中学生になった時点だけではなく、高校生になってからも利用率が大きく増えており、携帯電話では約3割、スマートフォンでは7割以上の高校生がコミュニティサイトを利用している。

図表 2-32 機器ごとのコミュニティサイト利用状況(学校種別)



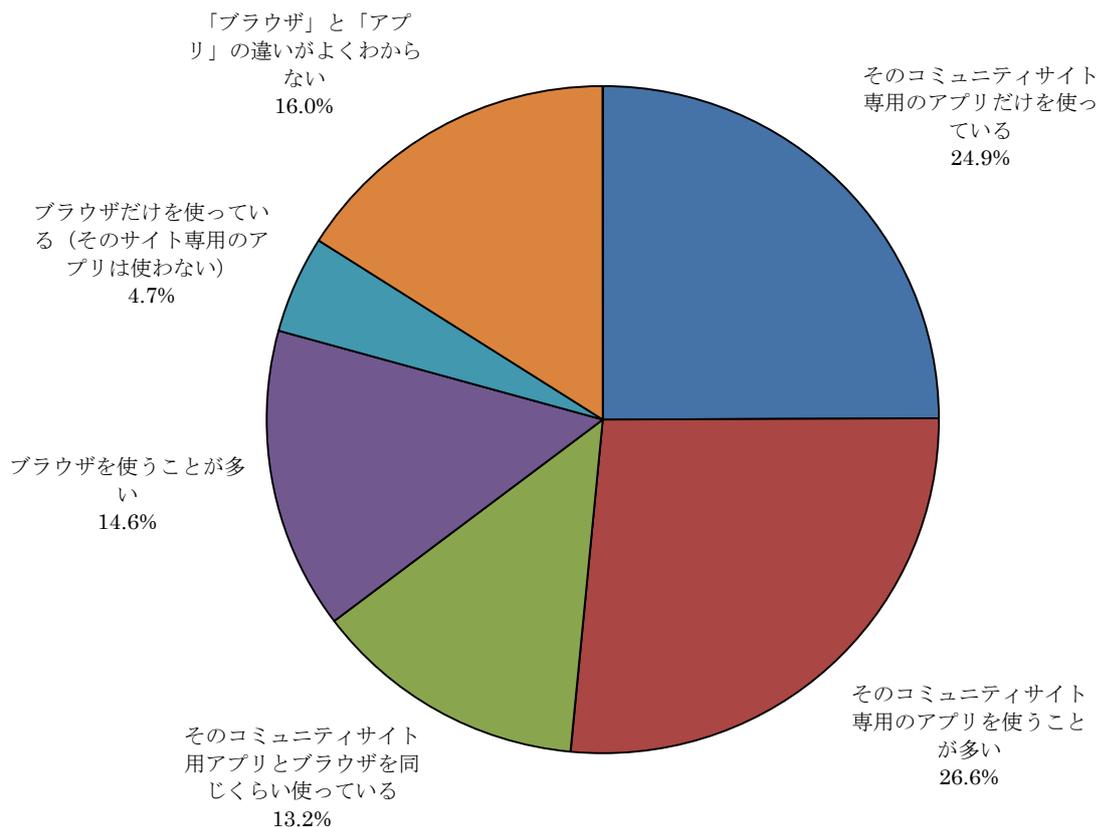
■使っている ■使っていない

(注)集計対象は、各機器でインターネットを利用している青少年

2-5-2 コミュニティサイト利用時のアプリの使用状況

コミュニティサイトを利用する際に、ブラウザよりもアプリを使っている者の方が、多くなっている。コミュニティサイトの利用者の24.9%がアプリだけを使っており、26.6%が専用のアプリを使うことが多い、14.6%がブラウザを使うことが多い、ブラウザだけを使っているのは4.7%だった。両方を同じくらい使っているのは13.2%である。

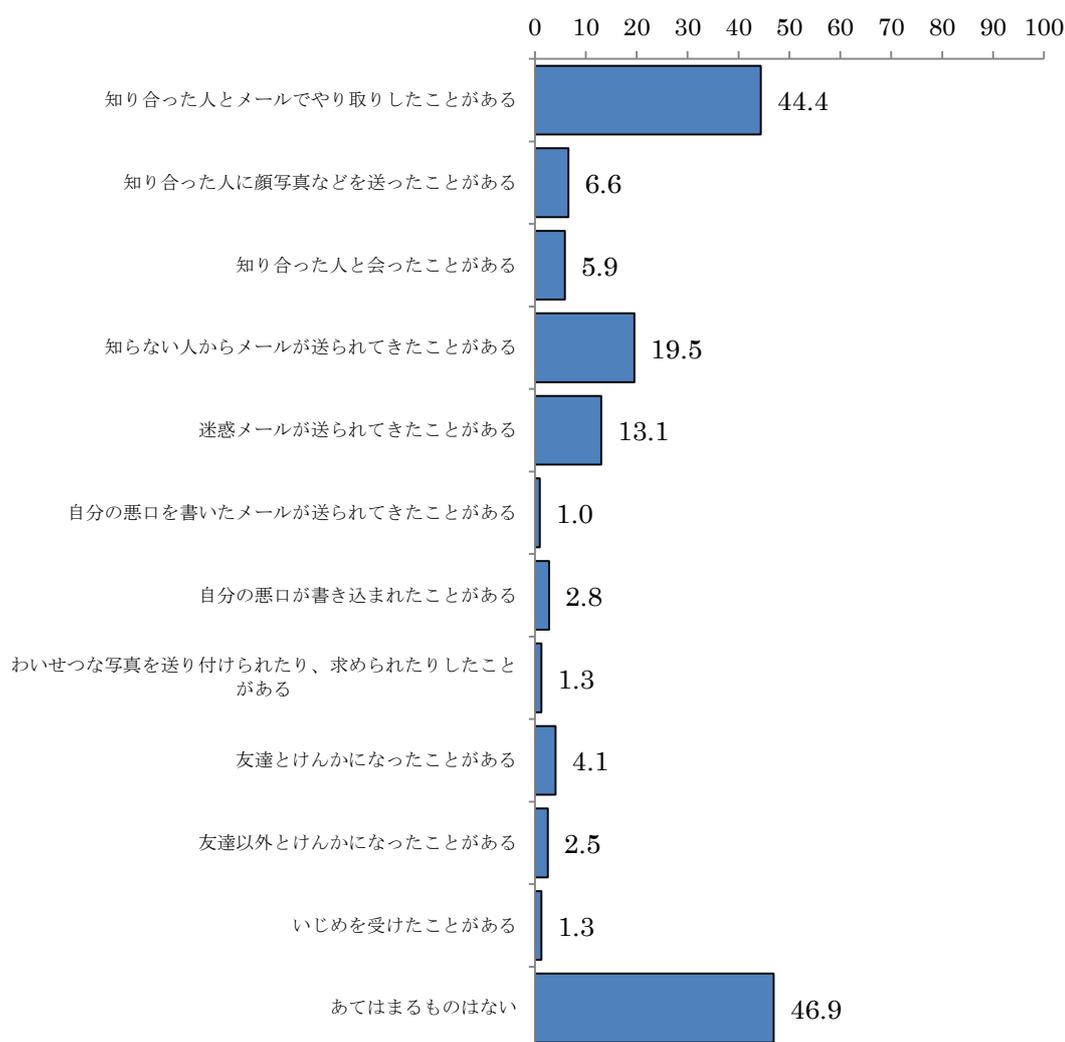
図表 2-33 機器ごとのコミュニティサイト利用状況(n=425)



2-5-3 コミュニティサイトを通じたトラブル経験等

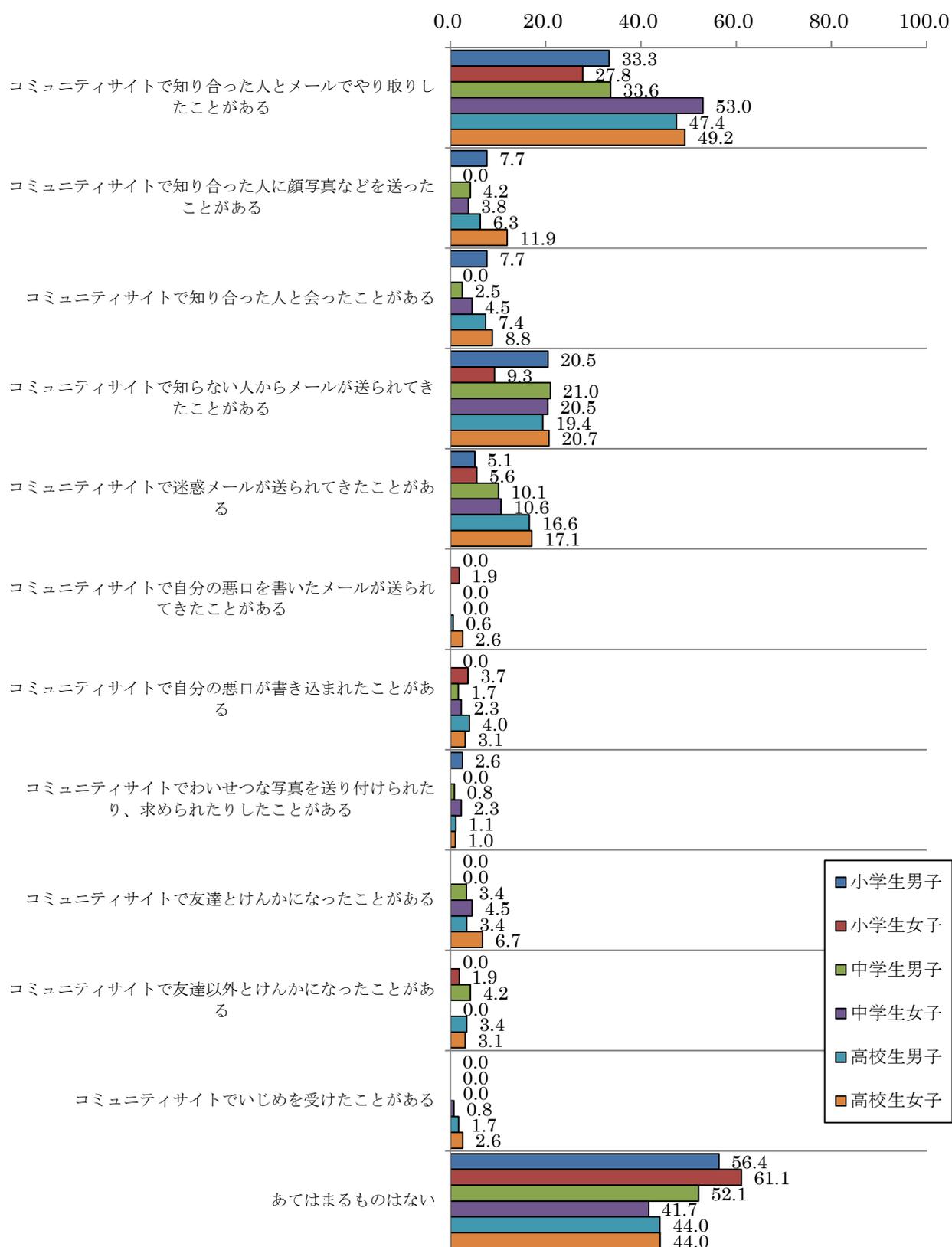
青少年の内、コミュニティサイトで知り合った人とメールでやり取りした経験がある者は 44.4%である。コミュニティサイトで知り合った人に顔写真などを送った経験がある者は 6.6%、会った経験がある者は 5.9%である。知らない人からメールが送られてきた経験があるものは 19.5%である。

図表 2-34 コミュニティサイトを通じたトラブル経験等(n=712)



(注) 集計対象は、コミュニティサイトを利用している青少年

図表 2-35 コミュニティサイトを通じたトラブル経験等(学校種別・性別)



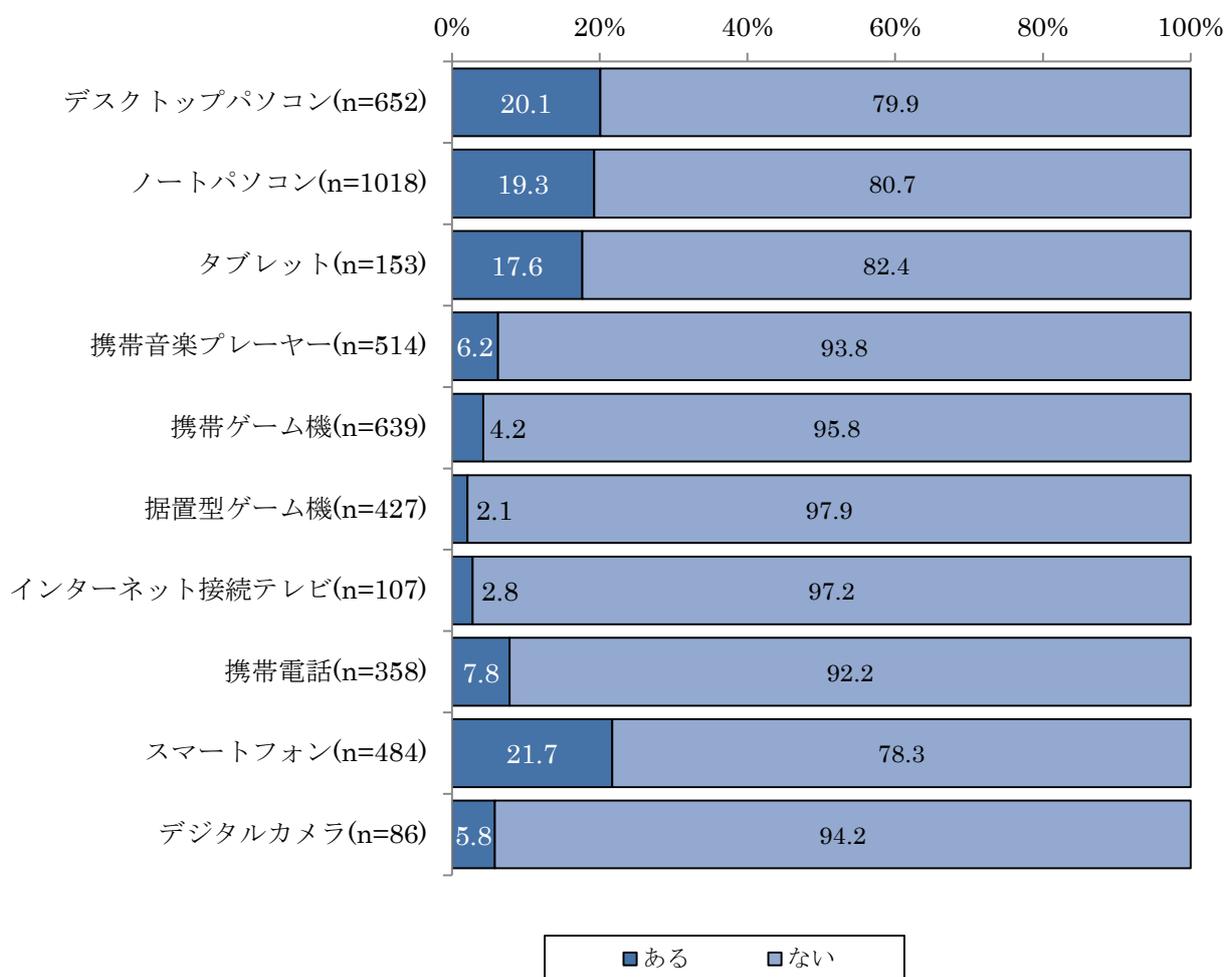
(注)集計対象は、コミュニティサイトを利用している青少年

2-6 違法・有害情報への遭遇状況

インターネットを利用している際に、わいせつな画像や気持ちの悪い画像、自殺や家出、麻薬などの情報等を、思いがけず見てしまうといったトラブルの経験は、デスクトップパソコン、ノートパソコンでは約2割が、スマートフォンでは21.7%が経験している。携帯ゲーム機、据置型ゲーム機、インターネット接続テレビでは、こうした画像や情報等を思いがけず見てしまうという経験をした青少年は比較的少ない。

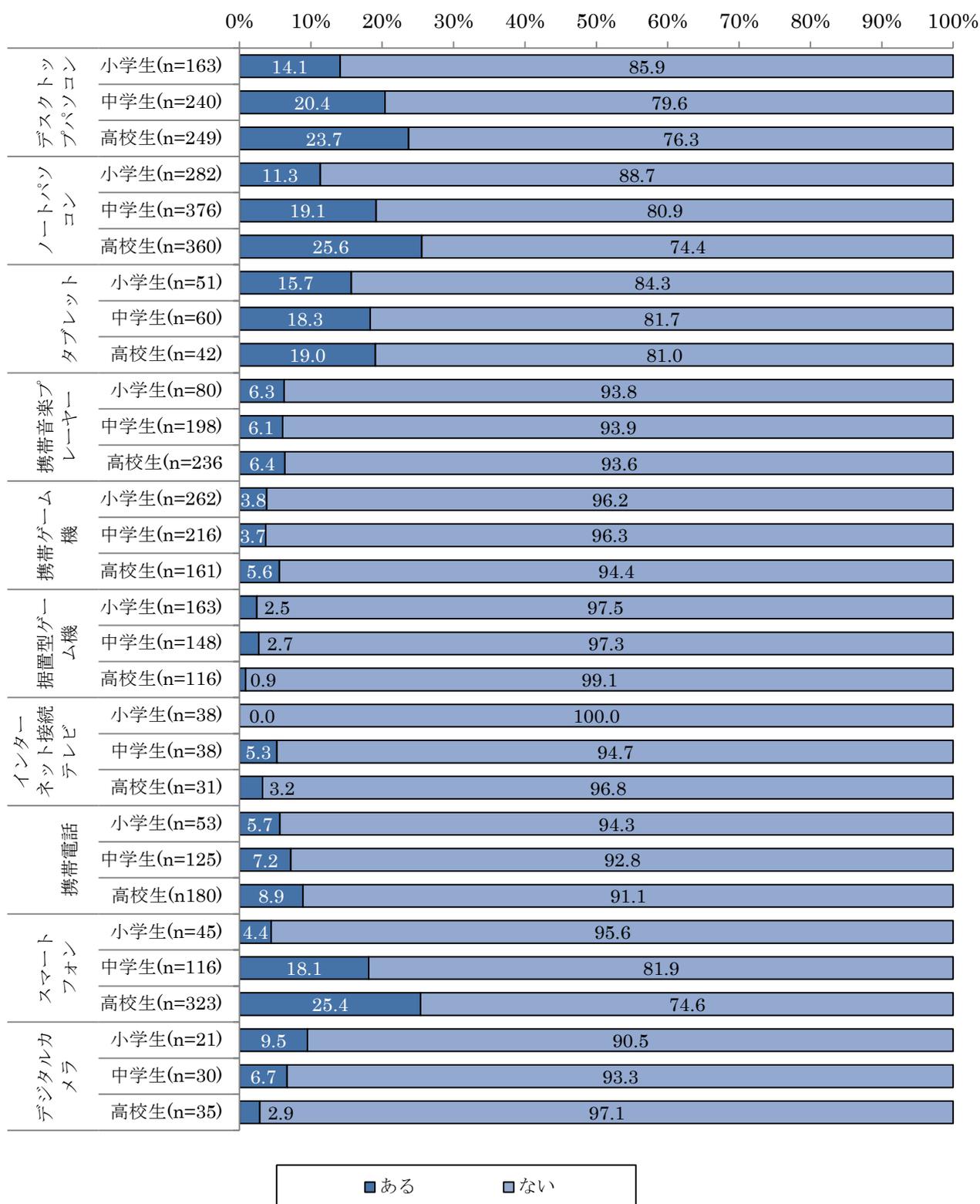
小学生、中学生、高校生となるに従って、違法・有害情報等を思いがけず見る等のトラブルを経験する比率は高くなる傾向がみられる。

図表 2-36 違法・有害情報等を思いがけず見る等のトラブル経験



(注) 集計対象は、各機器でインターネットを利用している青少年

図表 2-37 違法・有害情報等を思いがけず見る等のトラブル経験(学校種別)



(注)集計対象は、各機器でインターネットを利用している青少年

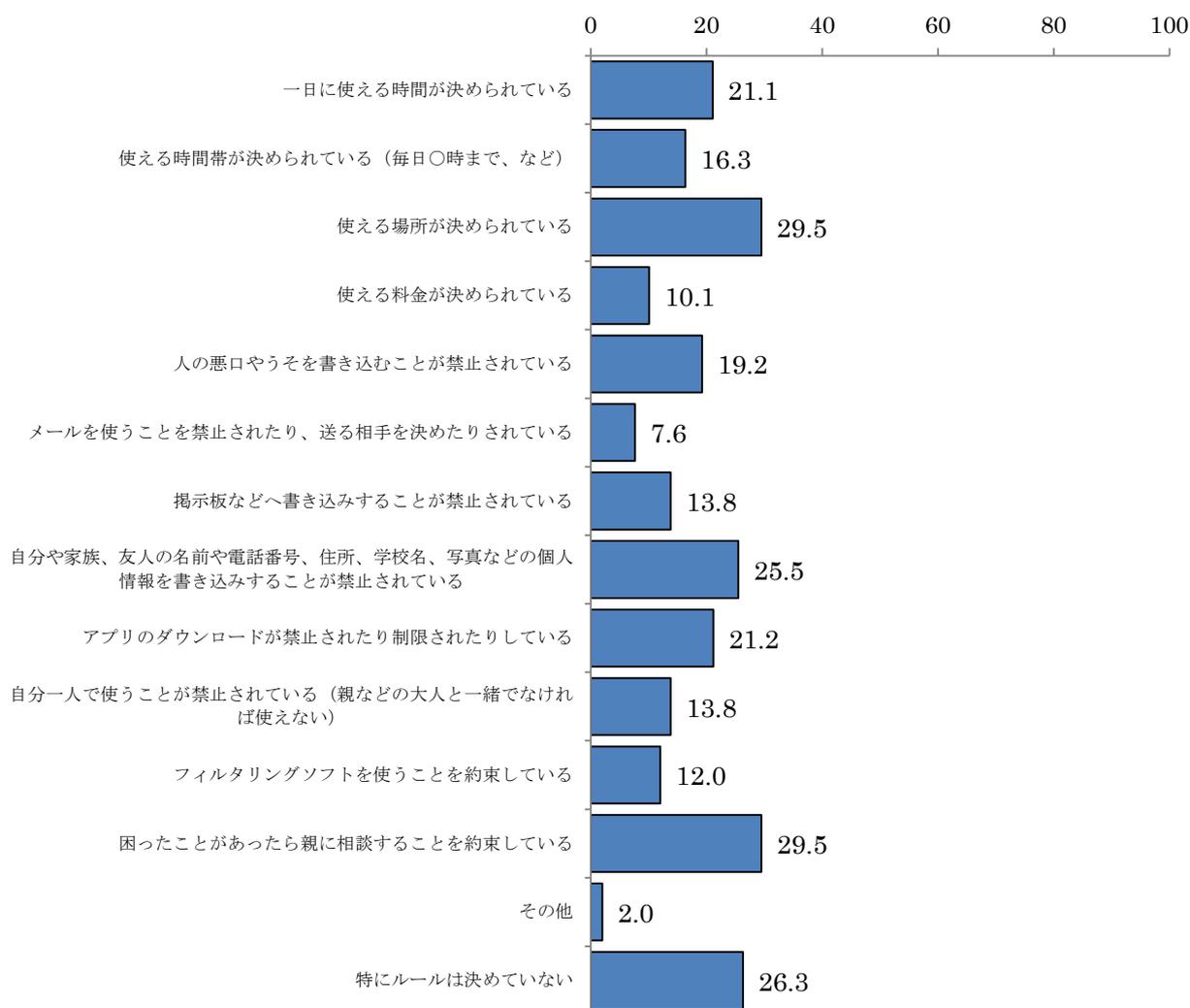
2-7 インターネットを利用する際のルール

青少年の7割以上は、インターネットを利用するにあたり保護者と何らかのルールを決めている。

決めているルールとして多いのは、「使える場所」(29.5%)、「困った際に親に相談」(29.5%)、「個人情報の書込禁止」(25.5%)、「アプリのダウンロードの禁止・制限」(21.2%)、「一日に使える時間」(21.1%)等である。

その他としては、「使用するとき必ず親に言う(許可をもらう)」「有料サイトは使わない」「勝手にサイトに登録をしない」等の回答が目立った。

図表 2-38 インターネットを利用するにあたり定めているルール(n=2080)

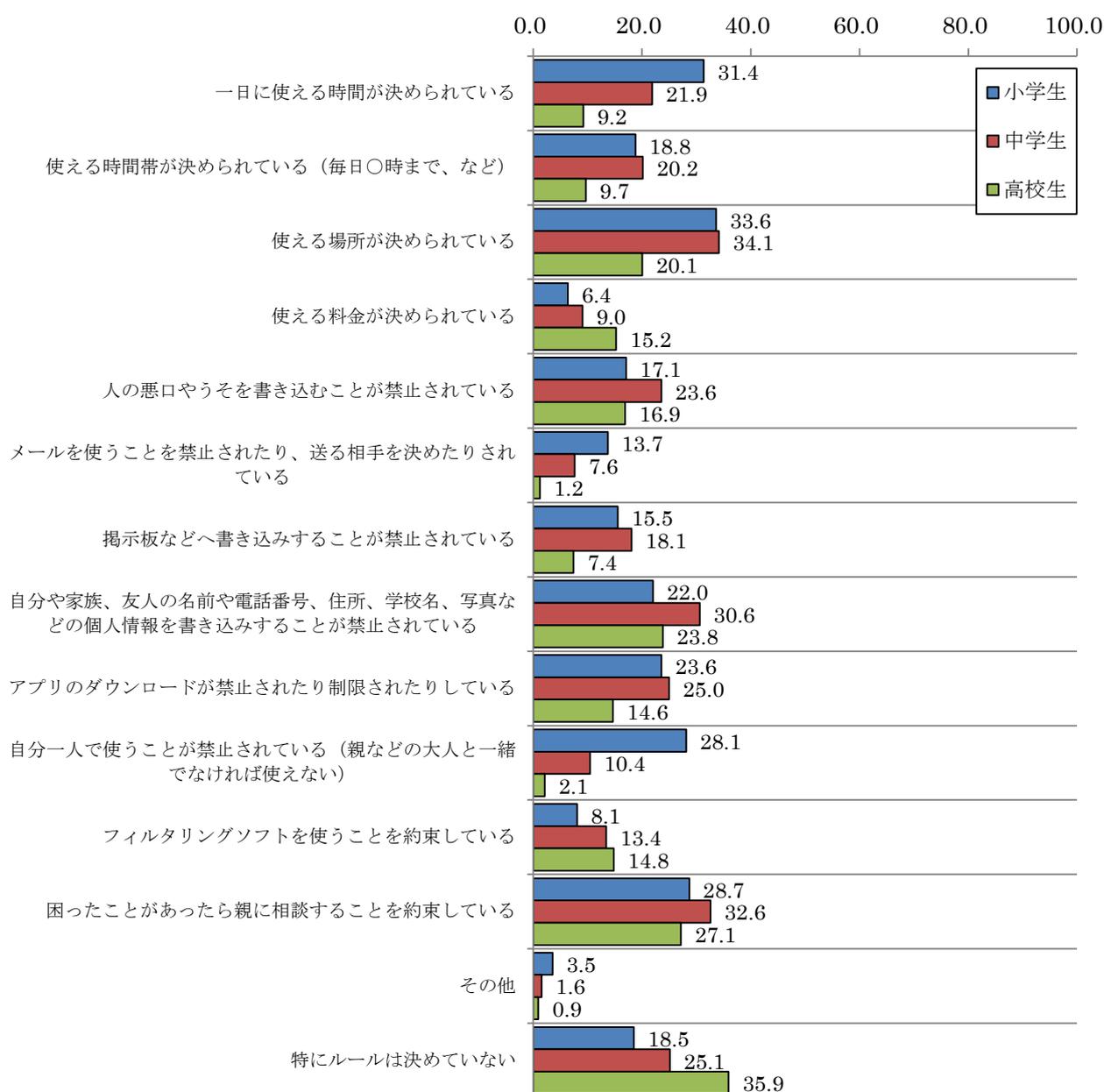


何らかのルールを設定している比率は小学生で81.5%、中学生で74.9%、高校生で64.1%であり、年齢が高くなるに従い減少している。

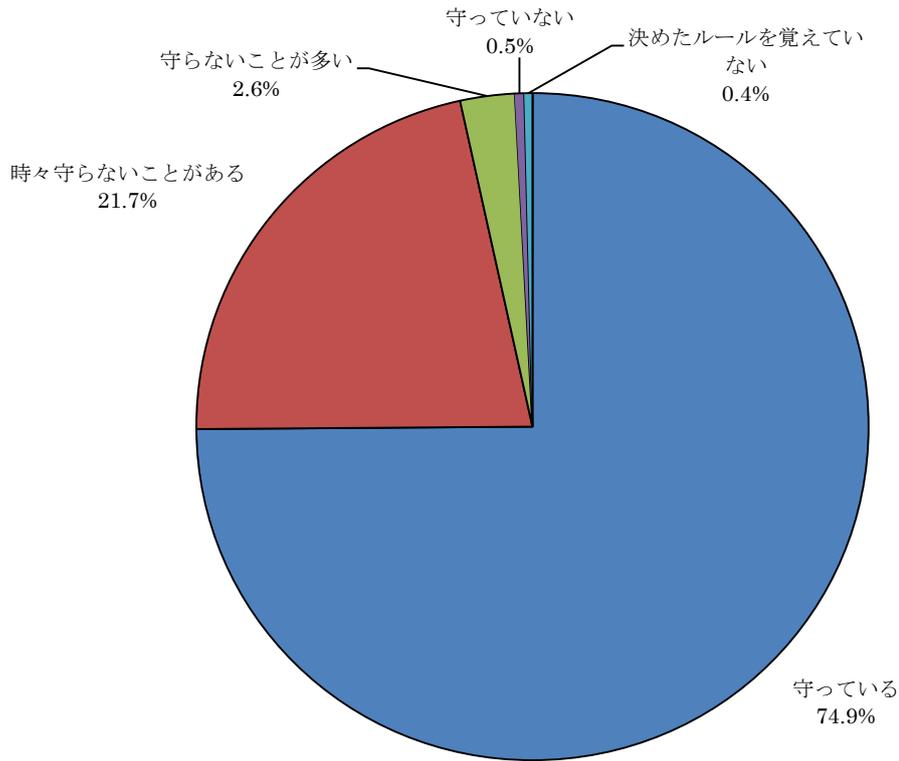
設定しているルールの内容としては、小学生では「一日に使える時間」「一人での使用禁止」等のベーシックなものが多いのに対し、中学生では「悪口やうそ等の書込禁止」「個人情報の書込禁止」等のコミュニティサイト等に関連するルールが多くなっている。

保護者と決めたルールを守っているかという状況について調査したところ、全体の74.9%が保護者と決めたルールを守っていると回答している。

図表 2-39 インターネットを利用するにあたり定めているルール(学校種別)

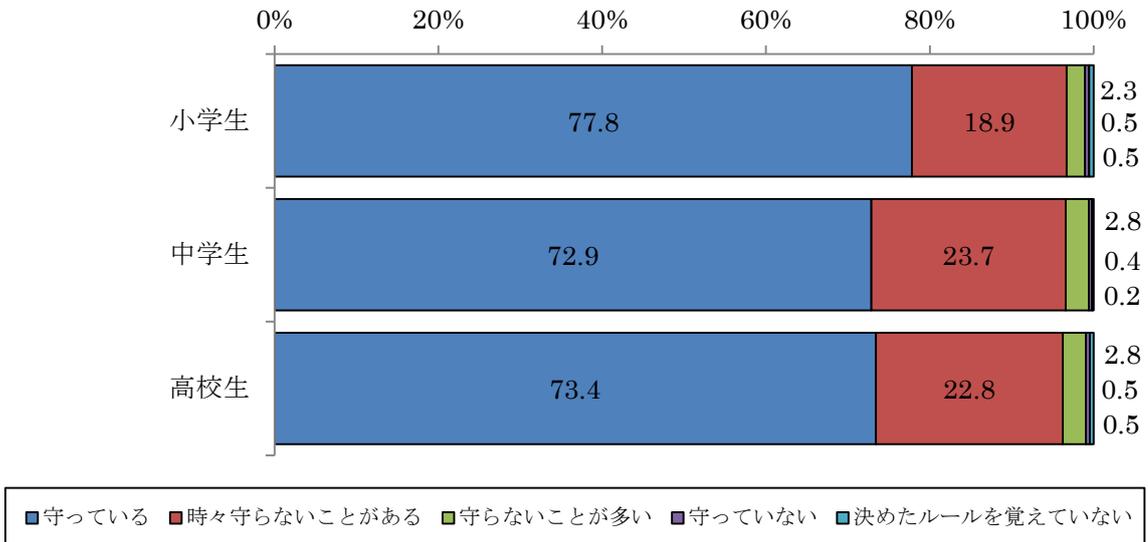


図表 2-40 保護者と決めたルールへの遵守状況(n=1533)



(注)集計対象は、保護者と決めているルールがある青少年

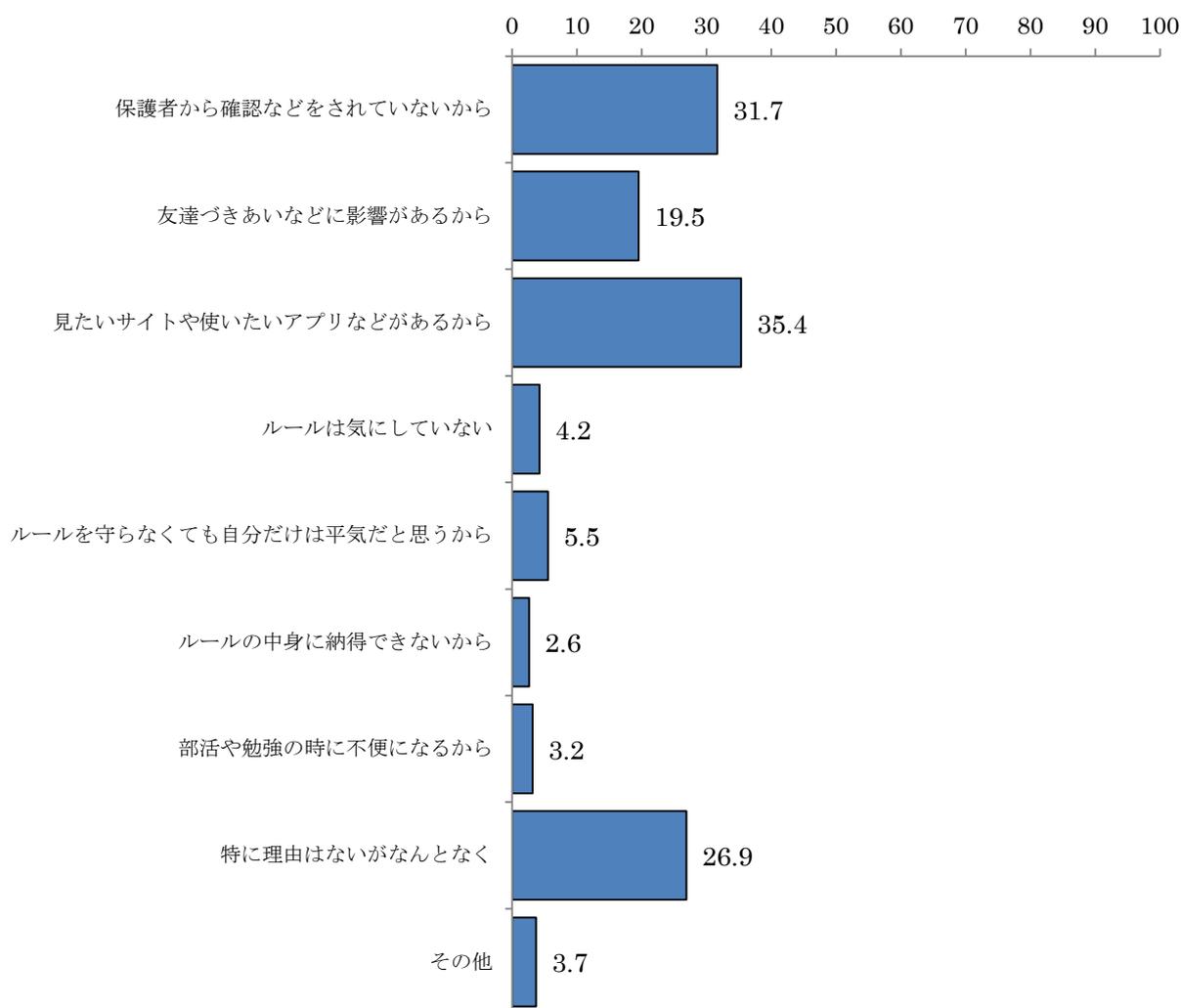
図表 2-41 保護者と決めたルールへの遵守状況(学校種別)



ルールを守っていない理由としては、「見たいサイトや使いたいアプリなどがあるから」が35.4%、「保護者から確認などをされていないから」が31.7%、特に理由はないがなんとなくが26.9%であった。

「その他」としては、「ルールを忘れてしまう」「気づかずに(夢中になって)決められていた時間を過ぎてしまう」等の回答が目立った。

図表 2-42 保護者と決めたルールを遵守していない理由(n=379)



(注)集計対象は、保護者と決めたルールを「時々守らないことがある」「守らないことが多い」「守っていない」と回答した青少年

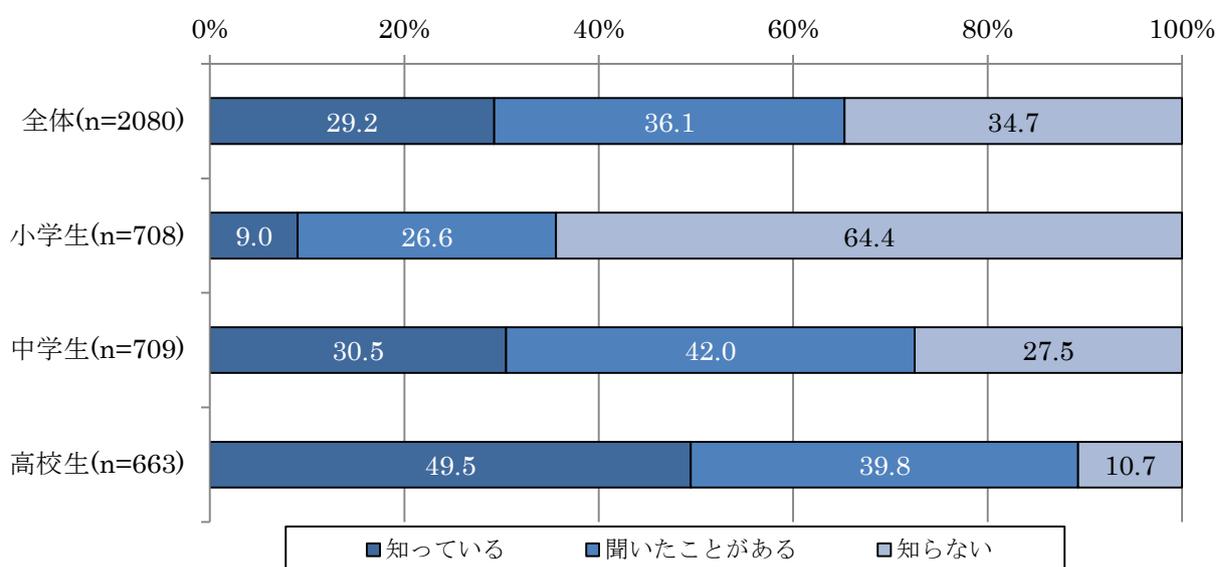
2-8 フィルタリングソフト

2-8-1 フィルタリングソフトの認知状況

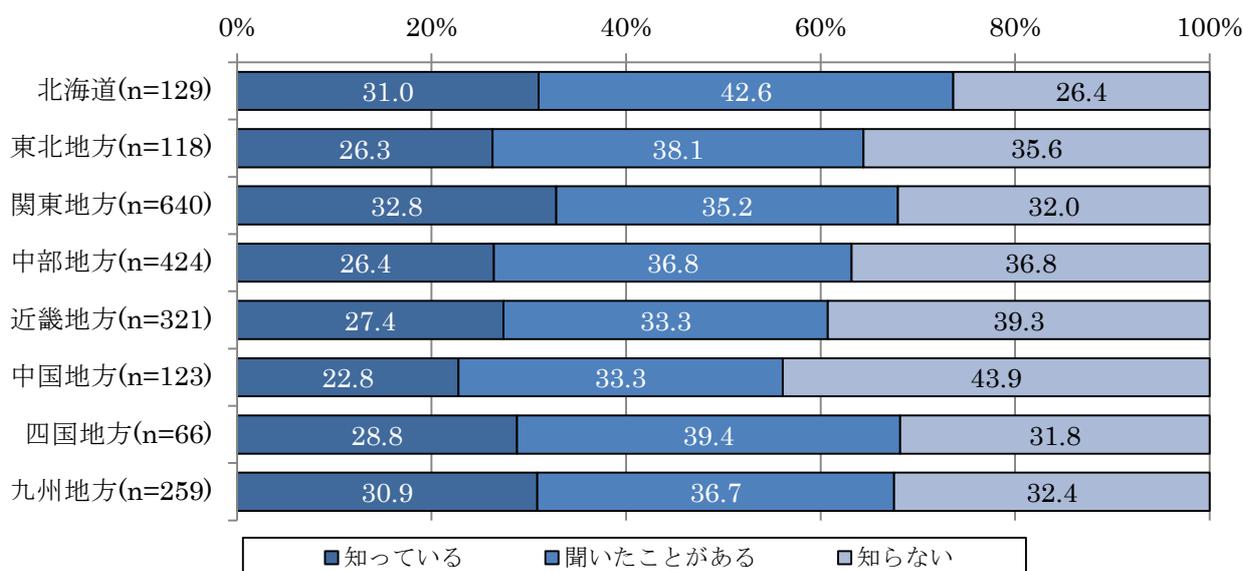
フィルタリングソフトについて「知っている」とする青少年よりも「聞いたことがある」「知らない」とする青少年が上回った。小学生から高校生になるに従い認知度は高まっている。小学生では「知っている」が9.0%であり、「知らない」が64.4%となっている。中学生では「知っている」が30.5%であり、「知らない」が27.5%である。高校生では49.5%が「知っている」であり、「知らない」が10.7%である。

地域別にはあまり大きな差はないが、北海道での認知度が高めとなり、中国、近畿での認知度が低めとなっていた。

図表 2-43 フィルタリングの認知状況



図表 2-44 フィルタリングの認知状況(居住地域別)



2-8-2 フィルタリングソフトの必要性

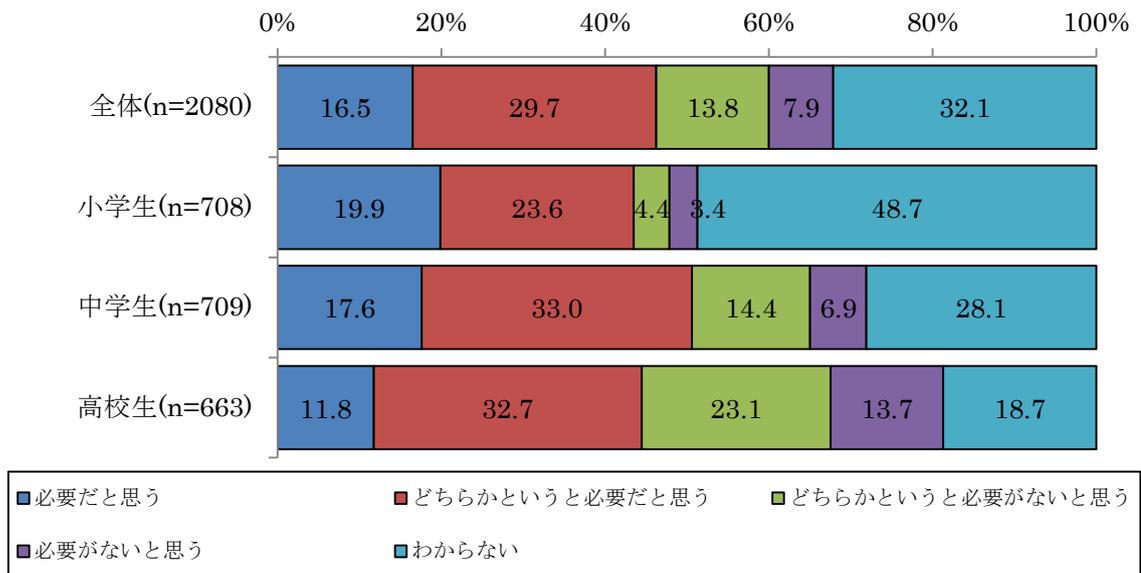
フィルタリングソフトが「必要」とする青少年は2割弱であり、「どちらかという必要」をあわせると約半数の青少年がフィルタリングソフトは必要であると考えている。一方、「どちらかという必要がない」「必要がない」とする青少年は2割程度であり、「わからない」とする青少年は約3割となっている。

フィルタリングソフトの必要性について「わからない」とする回答は、小学生では48.7%と高いが、一方で「必要」とする回答も19.9%と中学生よりも高くなっている。また、中学生、高校生となるに従って、「必要がない」「どちらかという必要がない」とする比率が高くなっている。

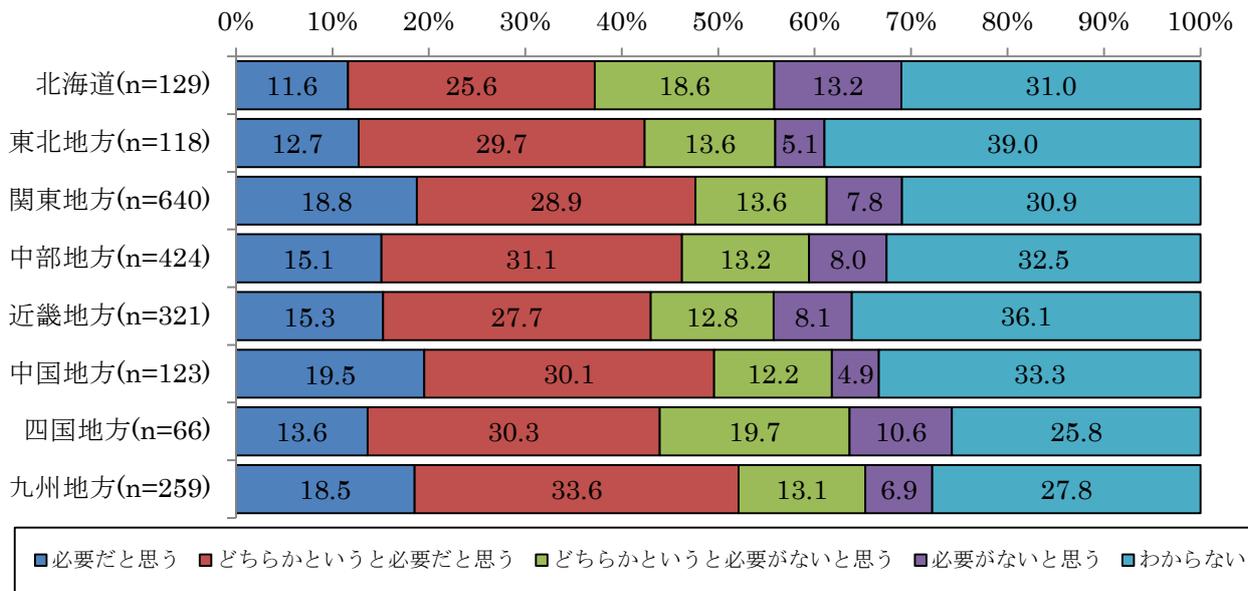
地域別にみても大きな差はない。「必要」とする回答が関東・中国・九州地方で高く、北海道で少なくなっている。

子ども自身のフィルタリングソフトの必要有無に学年が関係あるかを探り、フィルタリングに対する意識を確認するため、「自分より低い学年にとってフィルタリングソフトは必要か」という調査(図表 2-47)を行った。その結果、「必要だと思う」「どちらかという必要だと思う」と答えた割合は、自分自身にとって必要という回答をした割合(図表 2-45)を小学生で5.1%、中学生で18.0%、高校生で32.8%上回っていた。

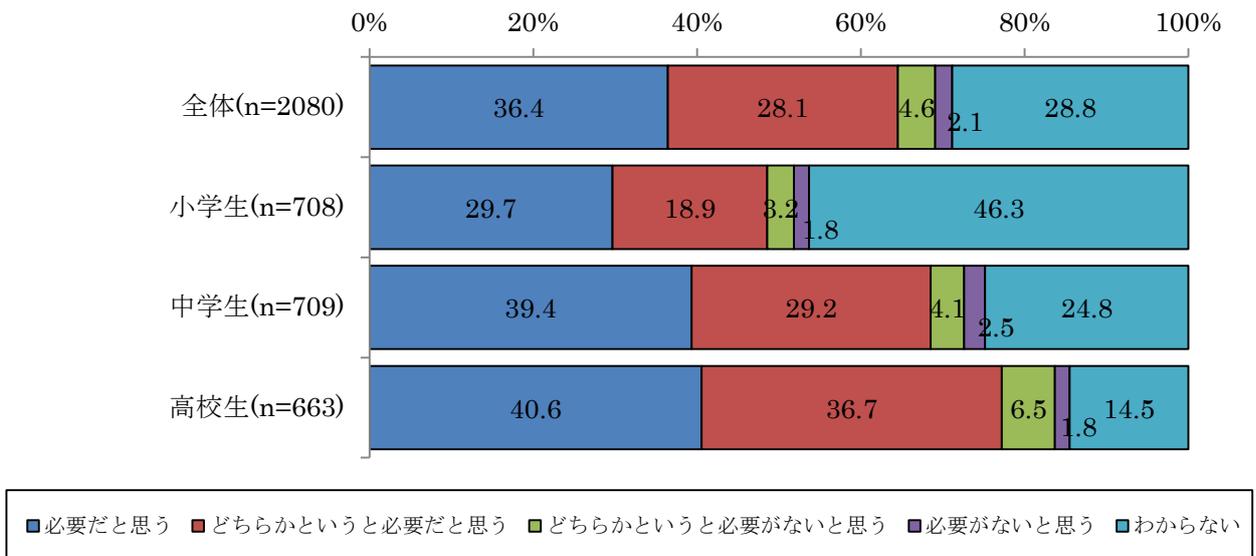
図表 2-45 フィルタリングソフトの必要性



図表 2-46 フィルタリングソフトの必要性(居住地域別)



図表 2-47 自分より低い学年にとってのフィルタリングソフトの必要性

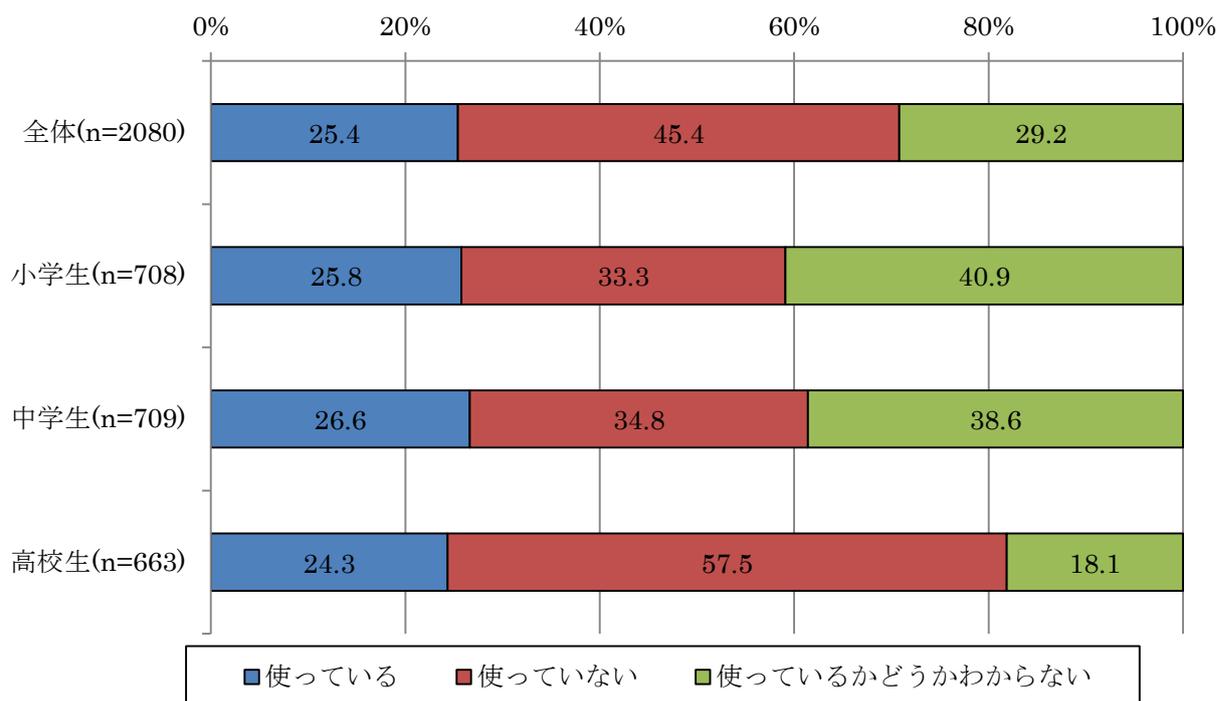


2-8-3 フィルタリングソフトの利用状況

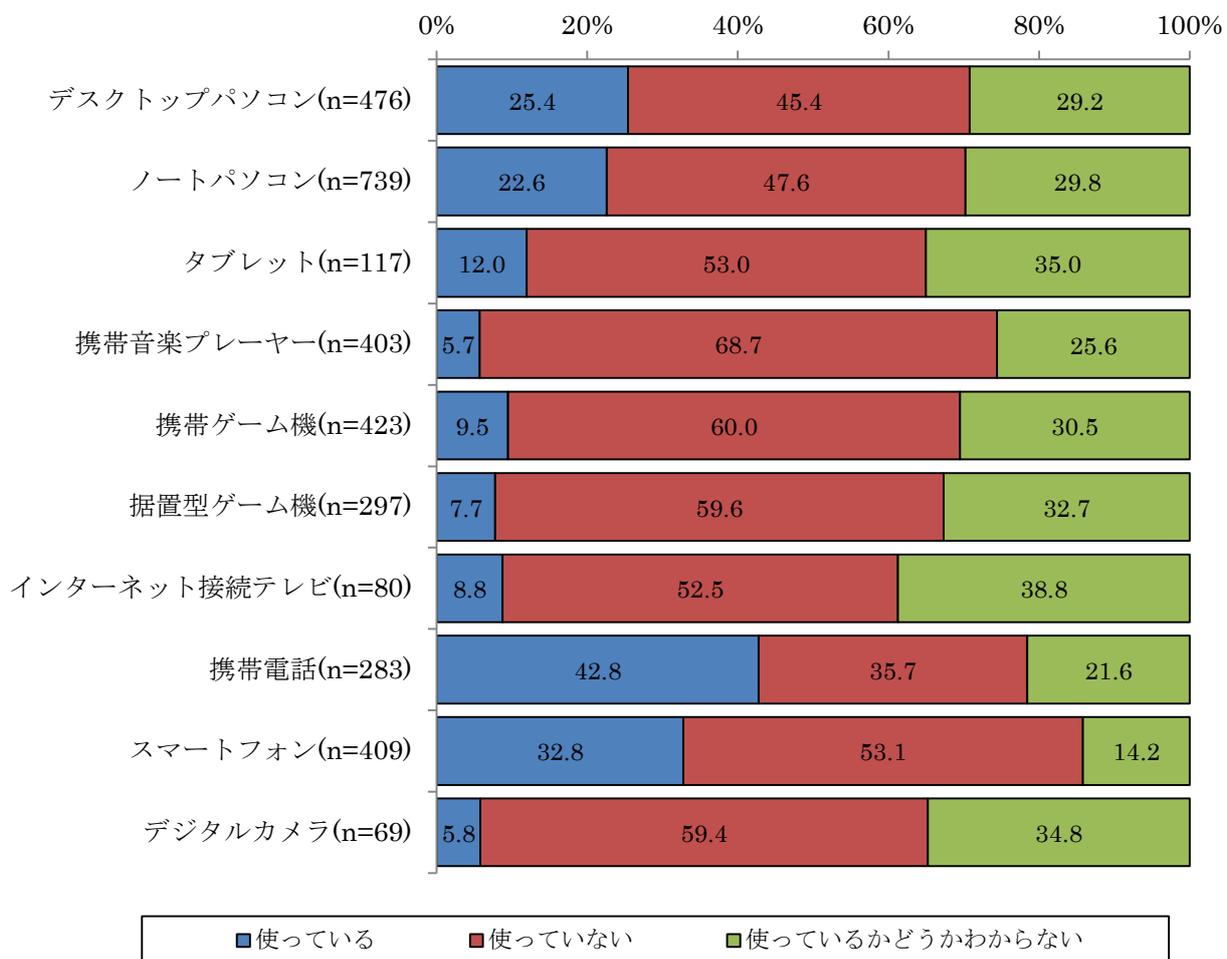
全体でのフィルタリング利用率は 25.4%となった。高校生のフィルタリング利用率は、小中学生よりも低く、「使っていない」と回答した高校生が 57.5%とであった。

また、機器ごとでは、携帯電話では 42.8%、スマートフォンでは 32.8%、デスクトップパソコンでは 25.4%、ノートパソコンでは 22.6%でフィルタリングソフトが利用されていた。

図表 2-48 フィルタリングソフトの利用状況(学校種別)



図表 2-49 機器ごとのフィルタリングソフトの利用状況



年齢による差はあまり見られないが、小学生は携帯ゲーム機、据置型ゲーム機での利用率が高く、中高生は携帯電話やスマートフォンでのフィルタリングソフトの利用率が高かった。

図表 2-50 機器ごとのフィルタリングソフトの利用率(学校種別)

	デスクトップ パソコン	ノート パソコン	タブレット	携帯音楽 プレーヤー	携帯 ゲーム機	据置型 ゲーム機	携帯電話	スマート フォン
全体	25.4	22.6	12.0	5.7	9.5	7.7	42.8	32.8
小学生	25.8	22.4	8.0	5.1	17.9	12.9	33.3	25.0
中学生	26.6	24.3	19.2	6.6	6.7	6.6	42.9	41.1
高校生	24.3	21.2	5.0	5.2	6.1	5.7	44.1	30.5

地域別にみると、デスクトップパソコンやノートパソコンでのフィルタリング利用率では中部、九州が他の地域よりもやや高めとなっている。携帯電話やスマートフォンでの利用率は、東北、中部、中国で高くなっている。

図表 2-51 機器ごとのフィルタリングソフトの利用率(居住地域別)

	デスクトップ パソコン	ノート パソコン	タブレット	携帯音楽 プレーヤー	携帯 ゲーム機	据置型 ゲーム機	携帯電話	スマート フォン
北海道	25.6	17.3	20.0	0.0	10.3	13.0	33.3	19.4
東北地方	22.2	22.5	0.0	6.9	6.9	5.0	57.1	41.2
関東地方	24.4	22.4	12.5	4.4	10.2	7.9	37.9	30.5
中部地方	28.6	31.5	13.6	12.3	17.7	9.9	51.2	42.9
近畿地方	24.3	19.1	5.9	1.8	6.4	9.3	40.9	30.0
中国地方	22.6	19.4	16.7	0.0	0.0	0.0	50.0	56.3
四国地方	13.3	13.0	0.0	0.0	9.1	0.0	38.5	9.1
九州地方	29.5	20.2	17.6	10.5	3.9	3.1	44.8	29.6

※回答数の少ないインターネット接続テレビ、デジタルカメラについては省略している。

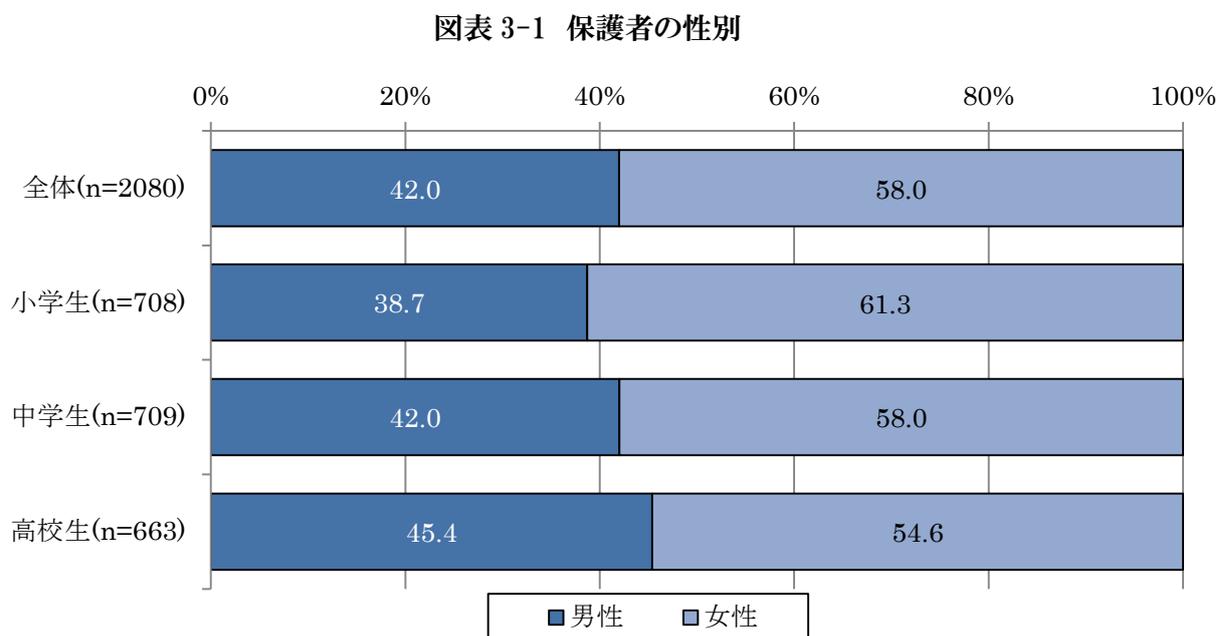
3. 保護者対象アンケート調査結果

3-1 回答者属性

3-1-1 保護者の属性

(1) 性別

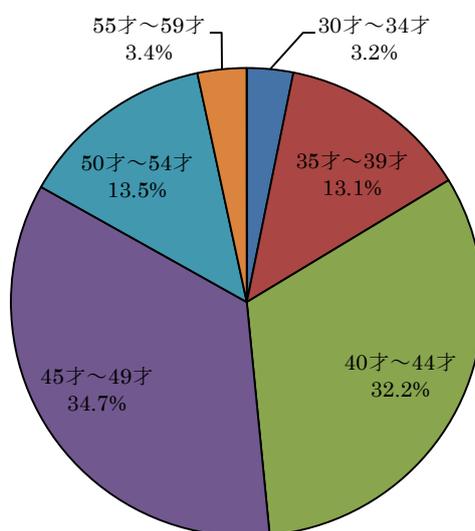
保護者の性別は 42.0%が男性、58.0%が女性である。



(2) 年代

調査に回答した保護者の年代は40代が66.9%であり、過半を占めている。30代以下は16.3%、50代以上が16.9%となっている。

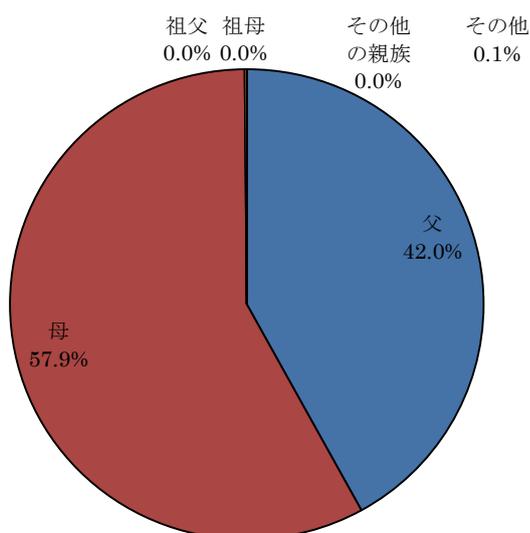
図表 3-2 保護者の年代



(3) 青少年と保護者の続柄

回答した保護者と青少年との続柄は、42.0%が父、57.9%が母、その他が0.1%となっている。

図表 3-3 青少年との続柄



(4) 青少年と保護者とのインターネットへの詳しさ

保護者に対して、青少年と保護者のどちらがインターネットについて詳しいか聞いたところ、保護者の方が青少年よりも詳しいとする者が59.9%、逆に子供の方が詳しいとする者が5.9%であった。

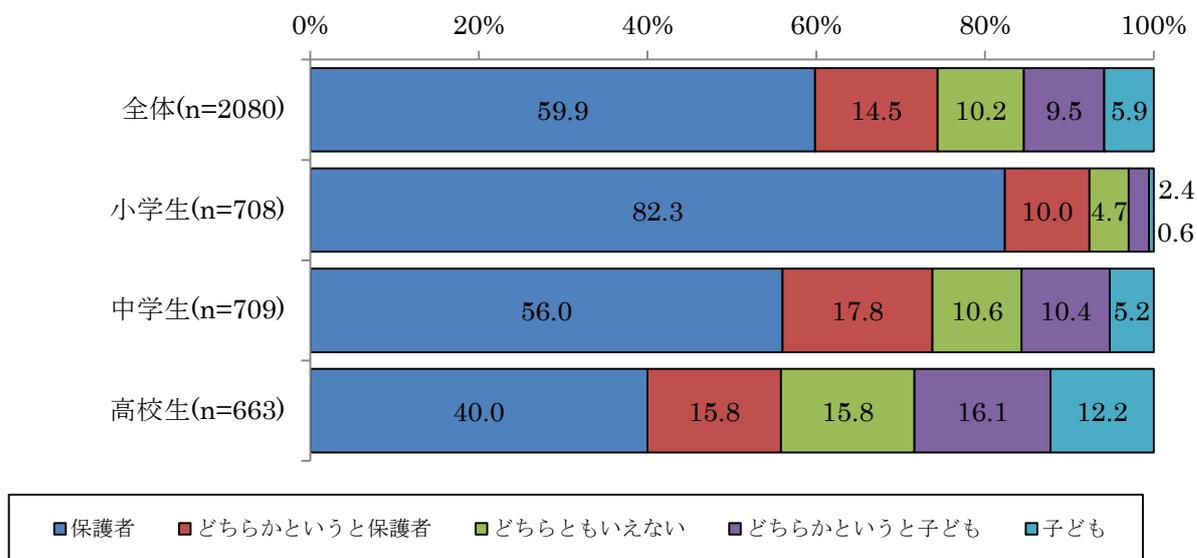
但し、保護者の方が詳しいとする比率は、青少年の学校種別が小学生から中学生、高校生となるに従って下がっている。どちらかという保護者の方が詳しいとする者も含め、保護者の方が詳しいとする比率は、青少年が小学生の場合には92.3%であるのに対し、中学生では73.8%、高校生では55.8%となっている。

青少年の性別ごとにみると、若干ではあるが女子の方が、保護者の方が詳しいと回答している比率が高くなっている。

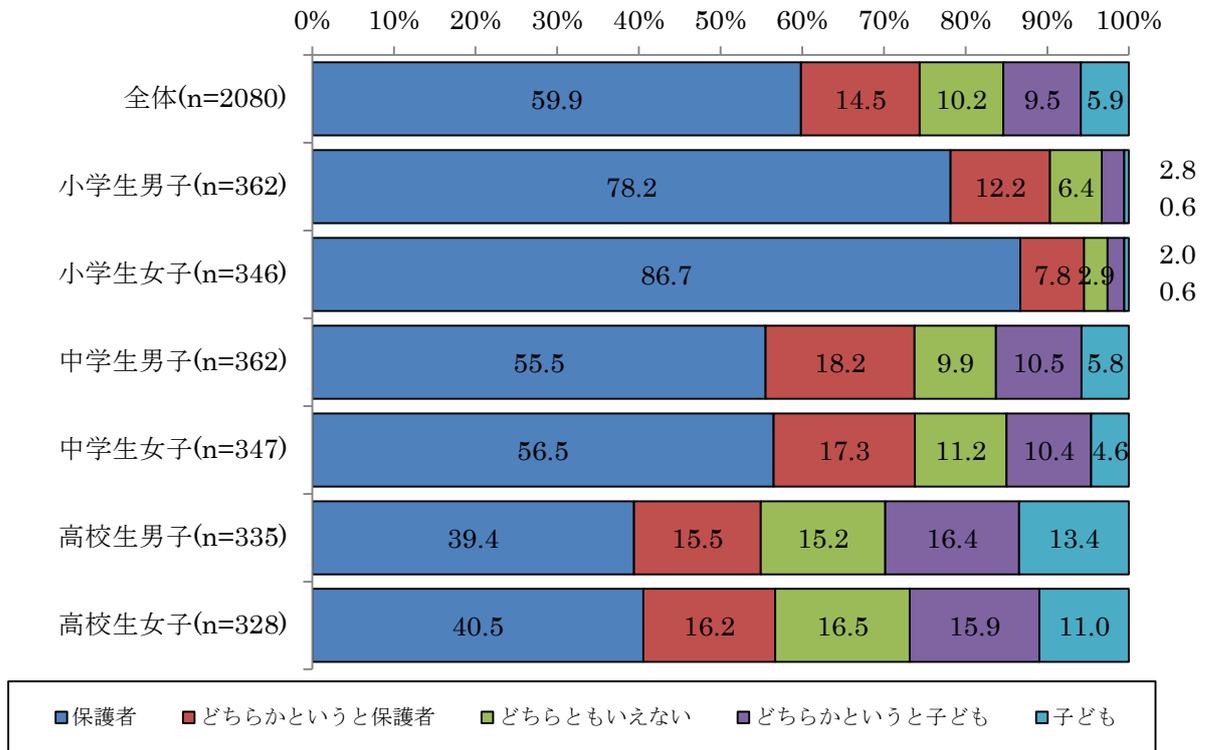
また、男性の保護者の方が、女性の保護者よりも、保護者の方が詳しいと回答している比率が高くなっている。

保護者の年代別にみると、30代以下の保護者では、保護者の方が詳しいとする者が、75.8%であり、40代以上の保護者よりも高くなっている。保護者の年代が高くなるほど、子供の方が詳しいとする者が増えている。但し、これは年代が高い保護者ほど、その子供の年齢も高いことが多いことが影響しているものとも考えられる。

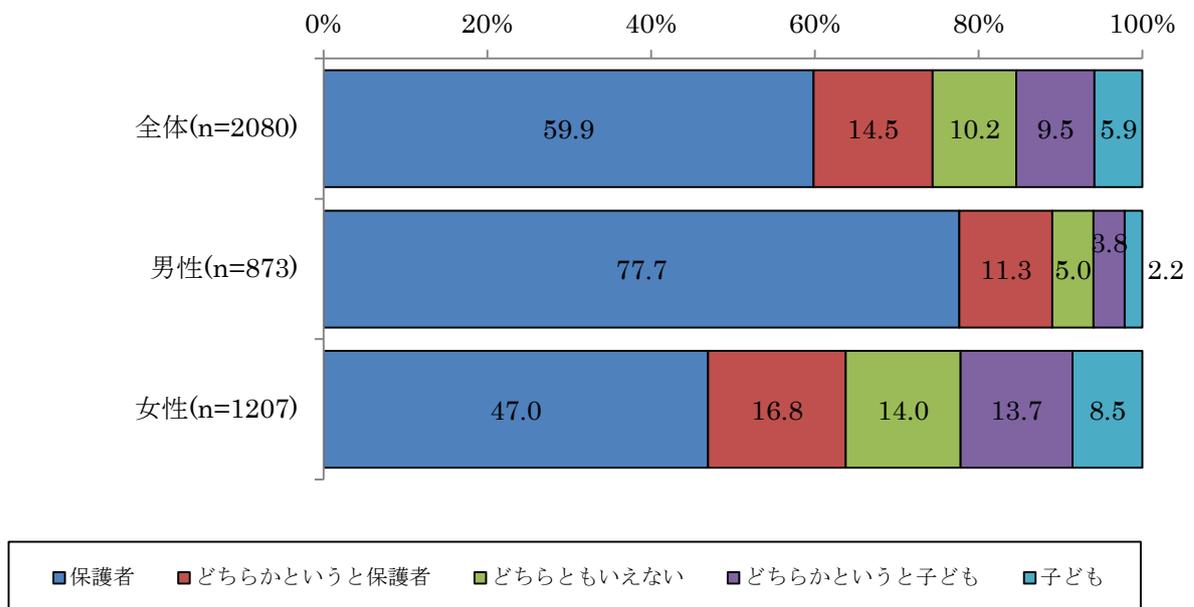
図表 3-4 青少年と保護者とのインターネットの詳しさ



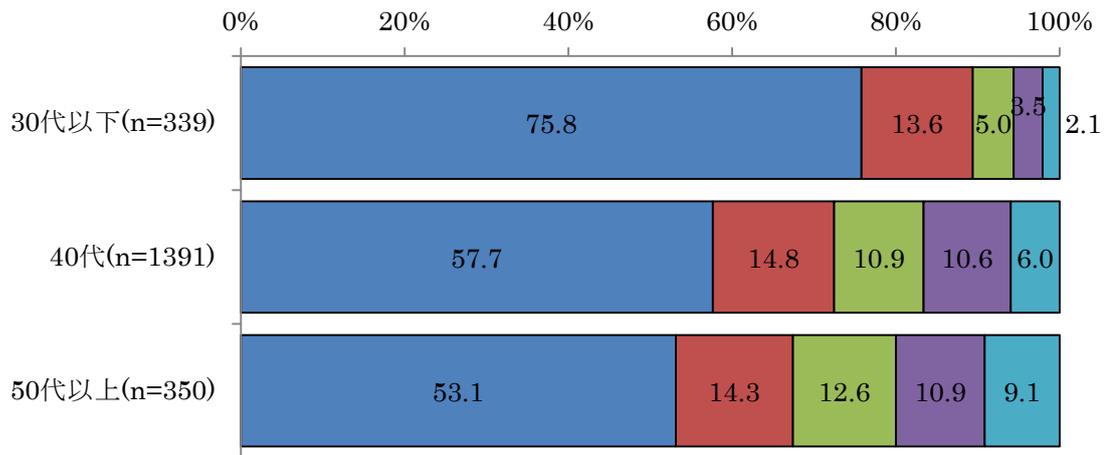
図表 3-5 青少年と保護者とのインターネットの詳しさ(子どもの性別)



図表 3-5 青少年と保護者とのインターネットの詳しさ(保護者の性別)



図表 3-6 青少年と保護者とのインターネットの詳しさ(保護者の年代)

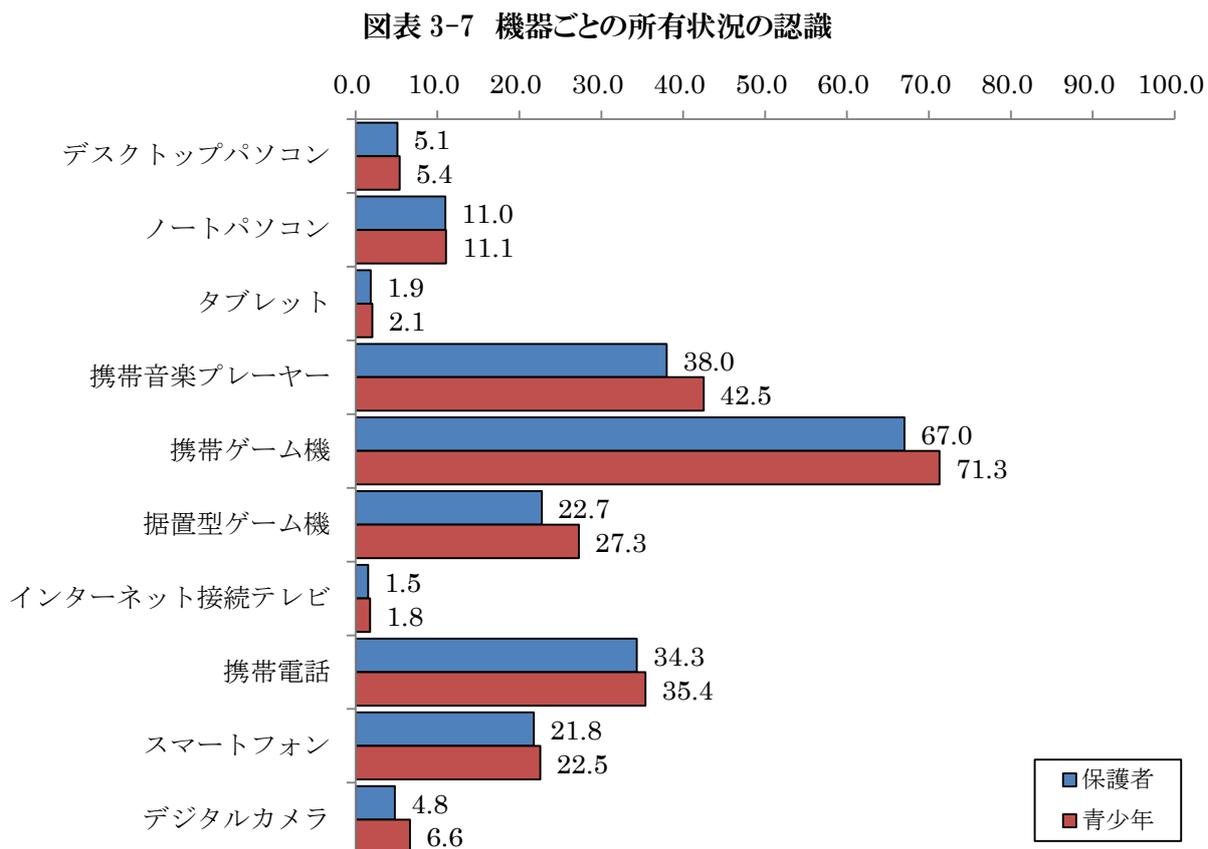


■保護者 ■どちらかという和保护者 ■どちらともいえない ■どちらかという和孩子 ■孩子

3-2 青少年の機器の所有状況、インターネットの利用状況の認識

3-2-1 機器の所有状況

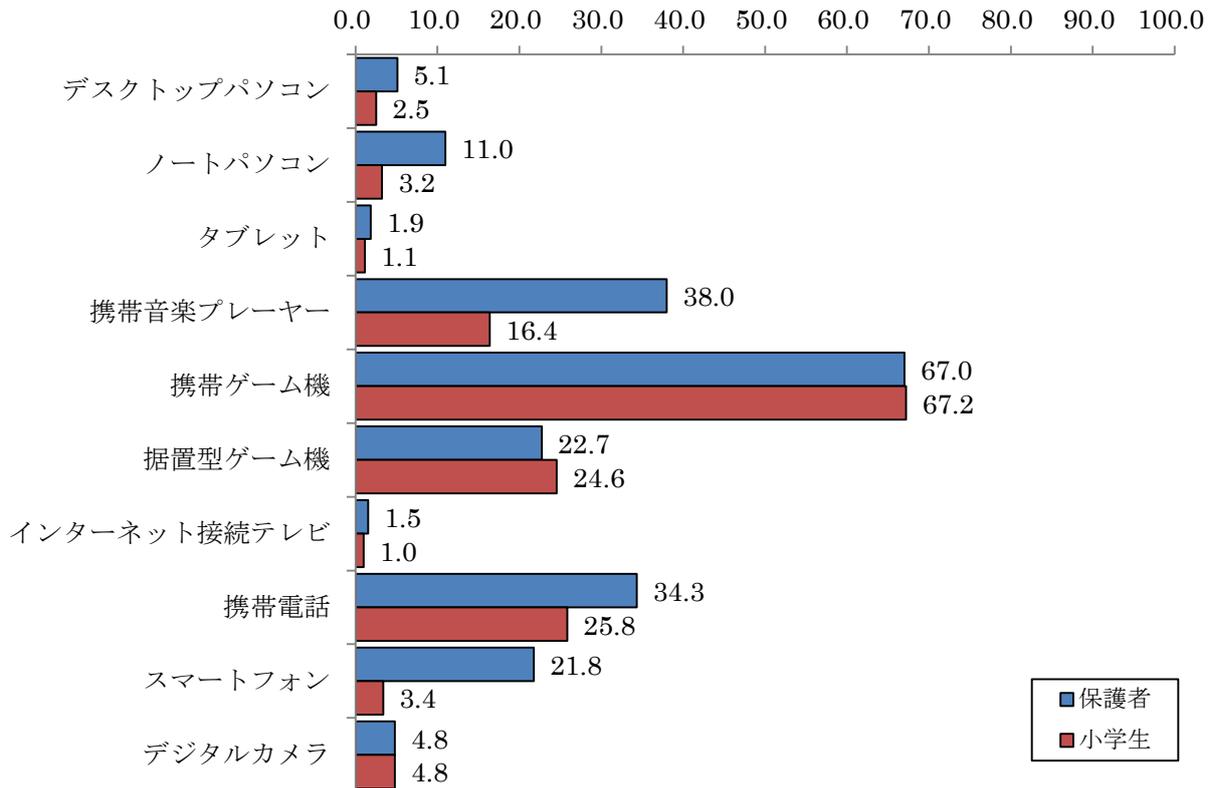
保護者に青少年の機器の所有状況について調査したところ、概ね青少年の回答と同様の回答状況であった。しかしながら、年代別に見ていくと、保護者の認識と青少年の機器の所有状況について、差があることがわかった。



(1) 小学生の機器の所有状況に関する認識

小学生が自分専用で使用する機器の所有状況について、小学生の保護者による回答と、小学生自身による回答とを比較した。ほぼ小学生の回答と保護者の回答とは等しくなっているが、携帯音楽プレーヤーやスマートフォン、携帯電話で差が生じている。

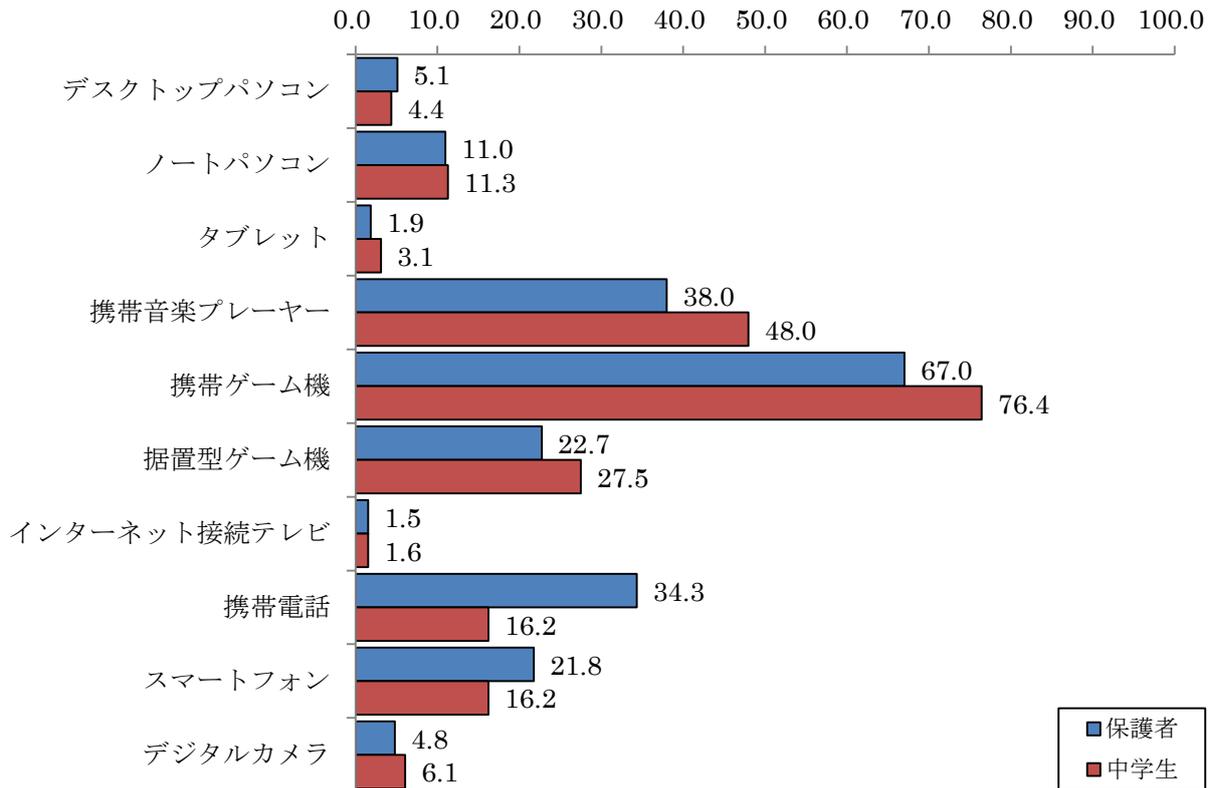
図表 3-8 小学生の機器ごとの所有状況の認識



(2) 中学生の機器の所有状況に関する認識

中学生が自分専用で使用する機器の所有状況について、中学生の保護者による回答と、中学生自身による回答とを比較した。ほぼ中学生の回答と保護者の回答とは等しくなっているが、携帯ゲーム機、据置型ゲーム機、携帯音楽プレーヤーについては保護者の認識を上回っている。

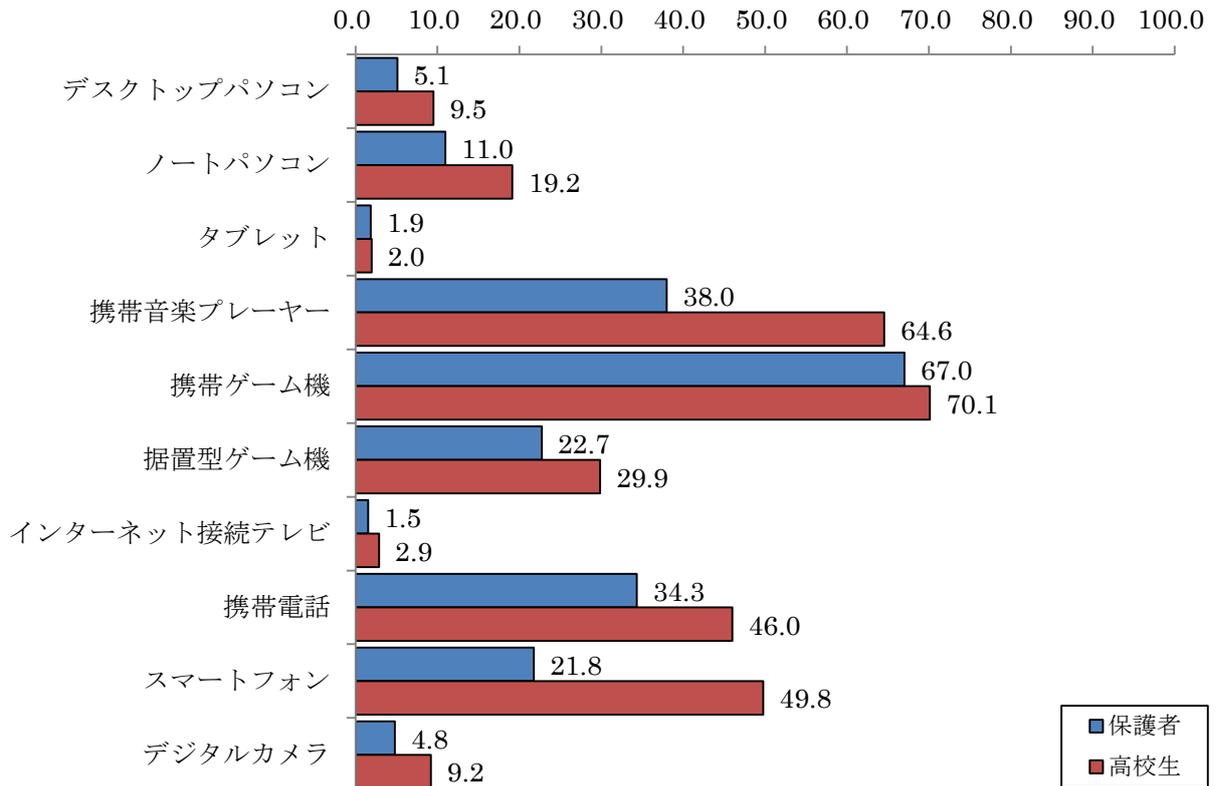
図表 3-9 中学生の機器ごとの所有状況の認識



(3) 高校生の機器の所有状況に関する認識

高校生が自分専用で使用する機器の所有状況について、高校生の保護者による回答と、高校生自身による回答とを比較した。全ての機器について、保護者の認識を上回っている。特に、携帯電話やスマートフォン、携帯音楽プレーヤーで大きな差が出ている。

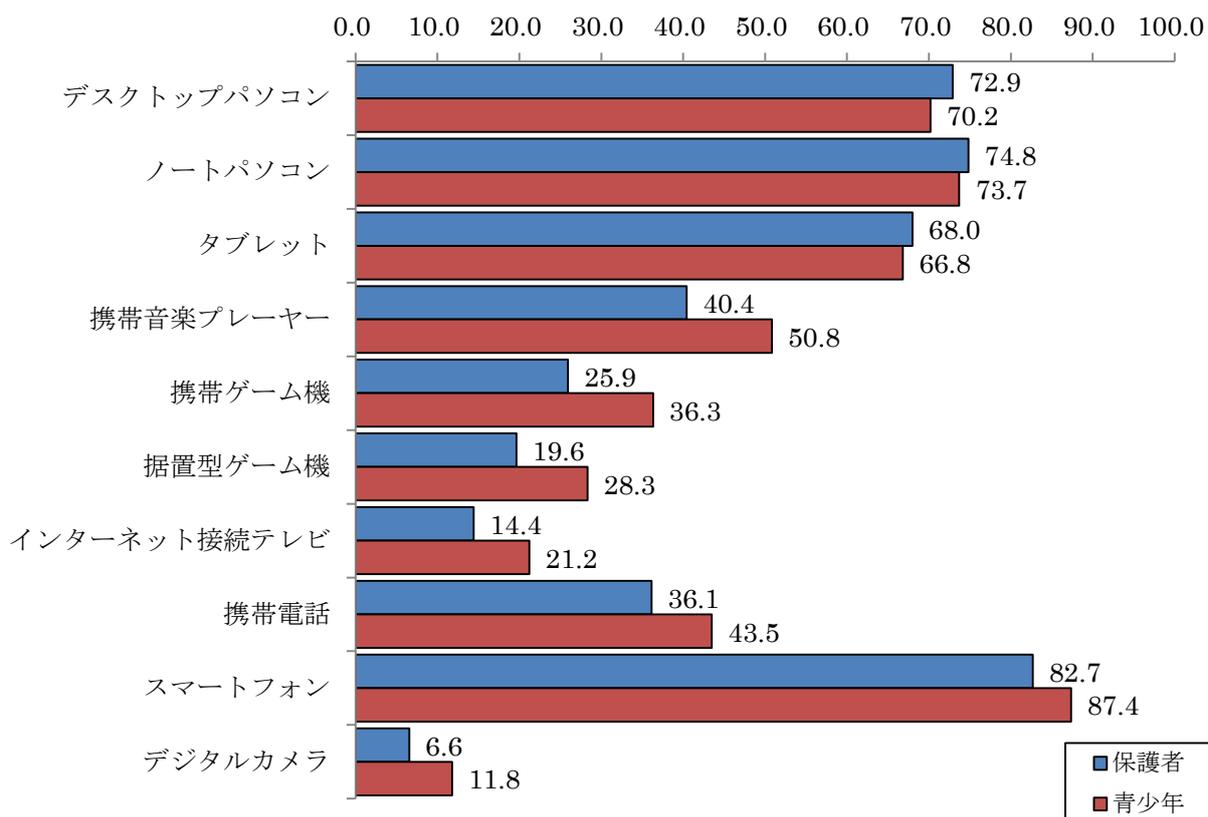
図表 3-10 高校生の機器ごとの所有状況の認識



3-2-2 機器ごとのインターネット利用状況

保護者に青少年の機器ごとのインターネットの利用状況について調査したところ、いくつかの機器において、保護者の認識との間に大きな差が見られた。デスクトップパソコン、ノートパソコン、タブレット以外の機器については、保護者の認識よりも実際の青少年の利用率は高くなっている。

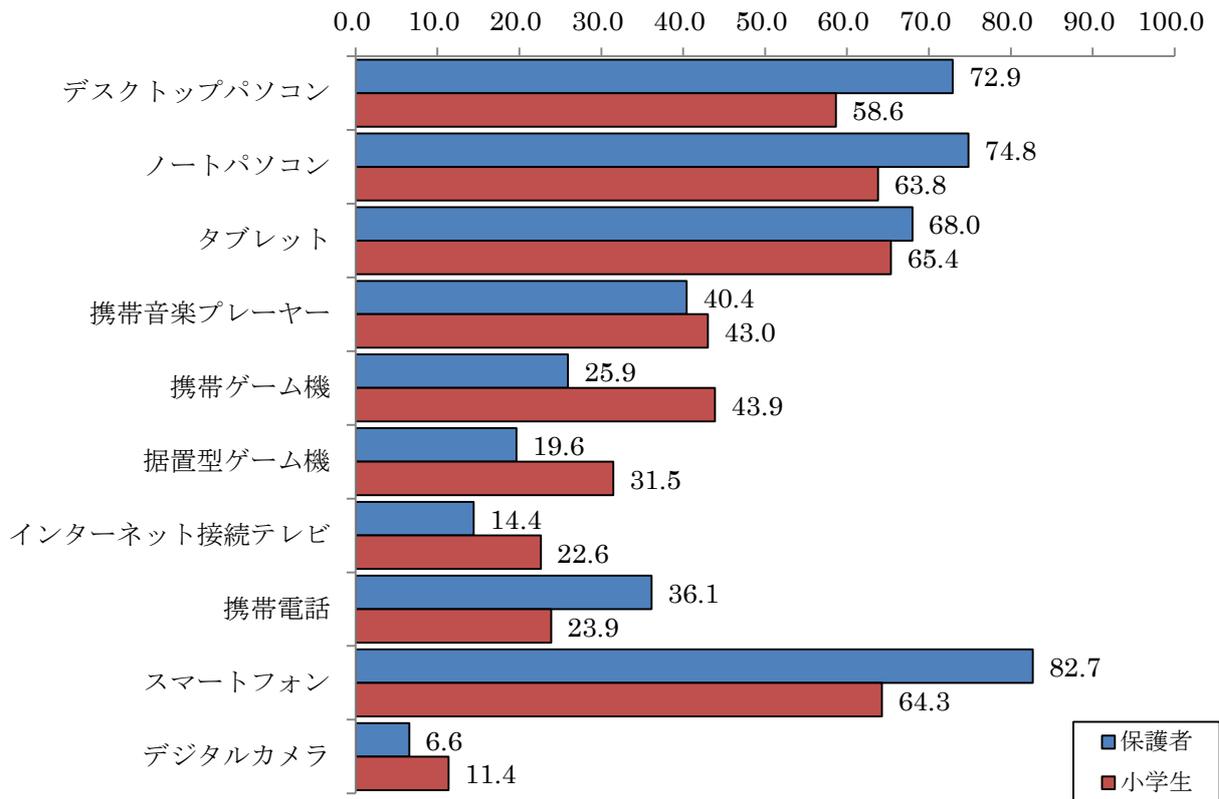
図表 3-11 機器ごとのインターネット利用状況の認識



(1) 小学生の機器ごとのインターネット利用状況に関する認識

小学生のインターネット利用の状況に関する保護者の認識と、実際の利用状況とを比較すると、ゲーム機、携帯電話・スマートフォンでの乖離が大きくなっている。携帯ゲーム機では18.0ポイント、据置型ゲーム機では11.9ポイントの差がある。また、携帯電話では12.2ポイント、スマートフォンでは18.4ポイントの差が生じており、保護者が考えているよりも、小学生によるインターネットの利用率は低くなっていた。

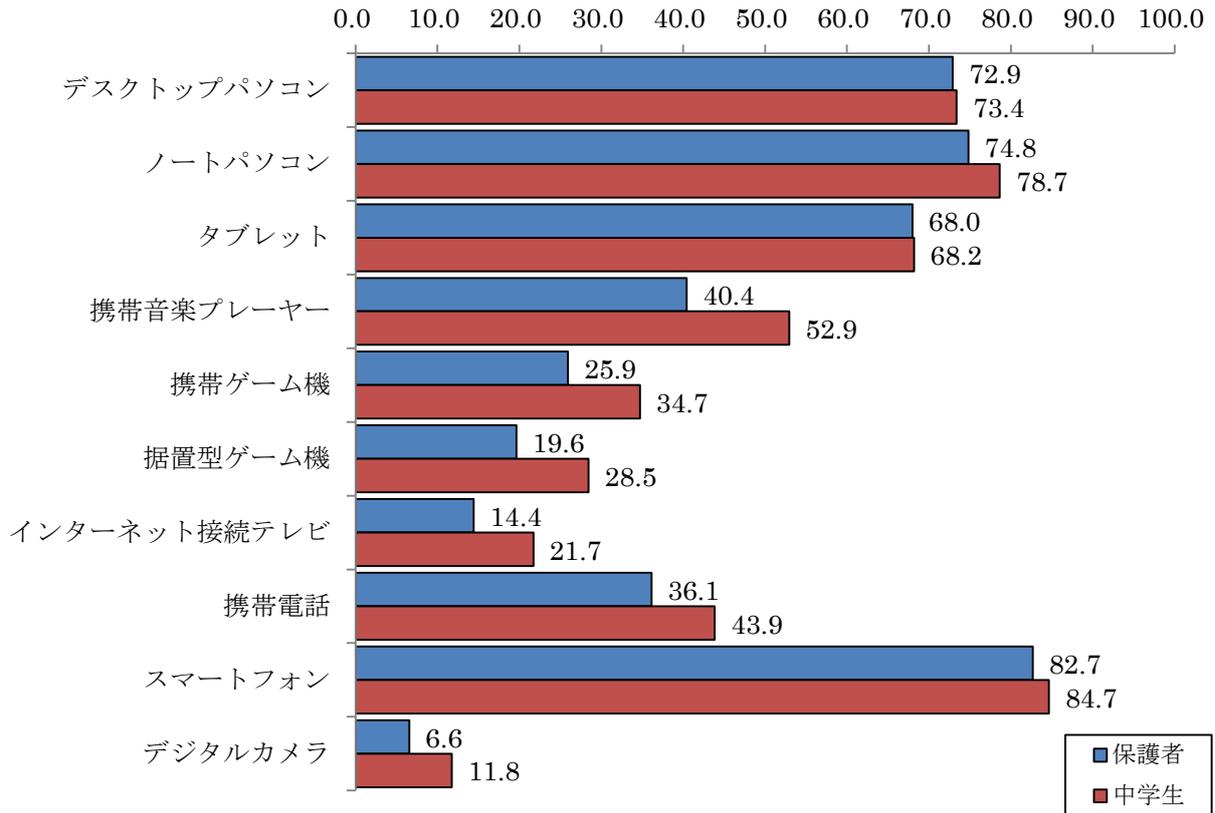
図表 3-12 小学生の機器ごとのインターネット利用状況の認識



(2) 中学生の機器ごとのインターネット利用状況に関する認識

中学生のインターネット利用の状況に関する保護者の認識と、実際の利用状況とを比較すると、携帯音楽プレーヤーやゲーム機での乖離が大きい。携帯音楽プレーヤーで12.5ポイント、据置型ゲーム機で8.9ポイント、携帯ゲーム機で8.8ポイントの差がある。いずれの危機においても、保護者が考えているよりも、中学生によるインターネットの利用率は高くなっていた。

図表 3-13 中学生の機器ごとのインターネット利用状況の認識

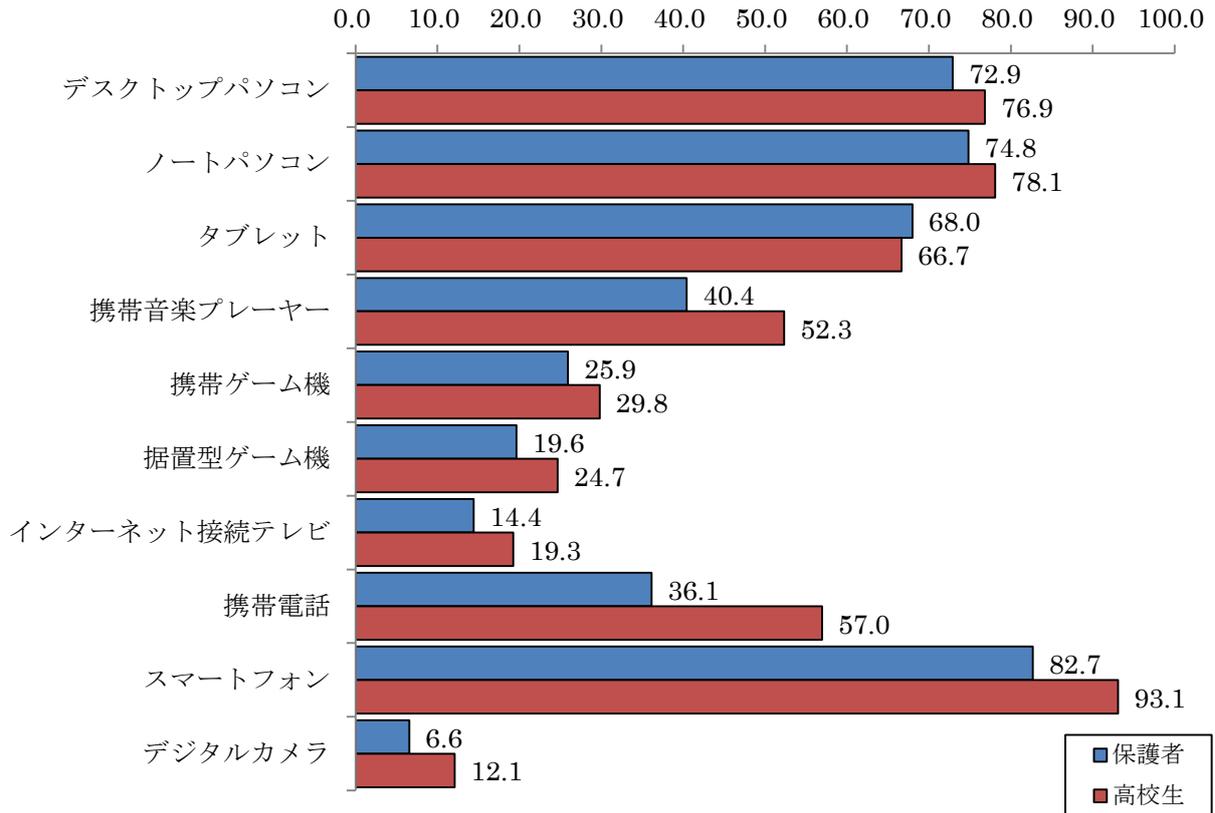


(3) 高校生の機器ごとのインターネット利用状況に関する認識

高校生のインターネット利用の状況に関する保護者の認識と、実際の利用状況とを比較すると、携帯電話やスマートフォン、携帯音楽プレーヤーで乖離がみられる。

携帯電話では20.9ポイント、スマートフォンでは10.4ポイント、携帯音楽プレーヤーで11.9ポイントの差がある。一方、パソコンやタブレットでの利用状況に関しては、大きな差は見られなかった。

図表 3-14 高校生の機器ごとのインターネット利用状況の認識

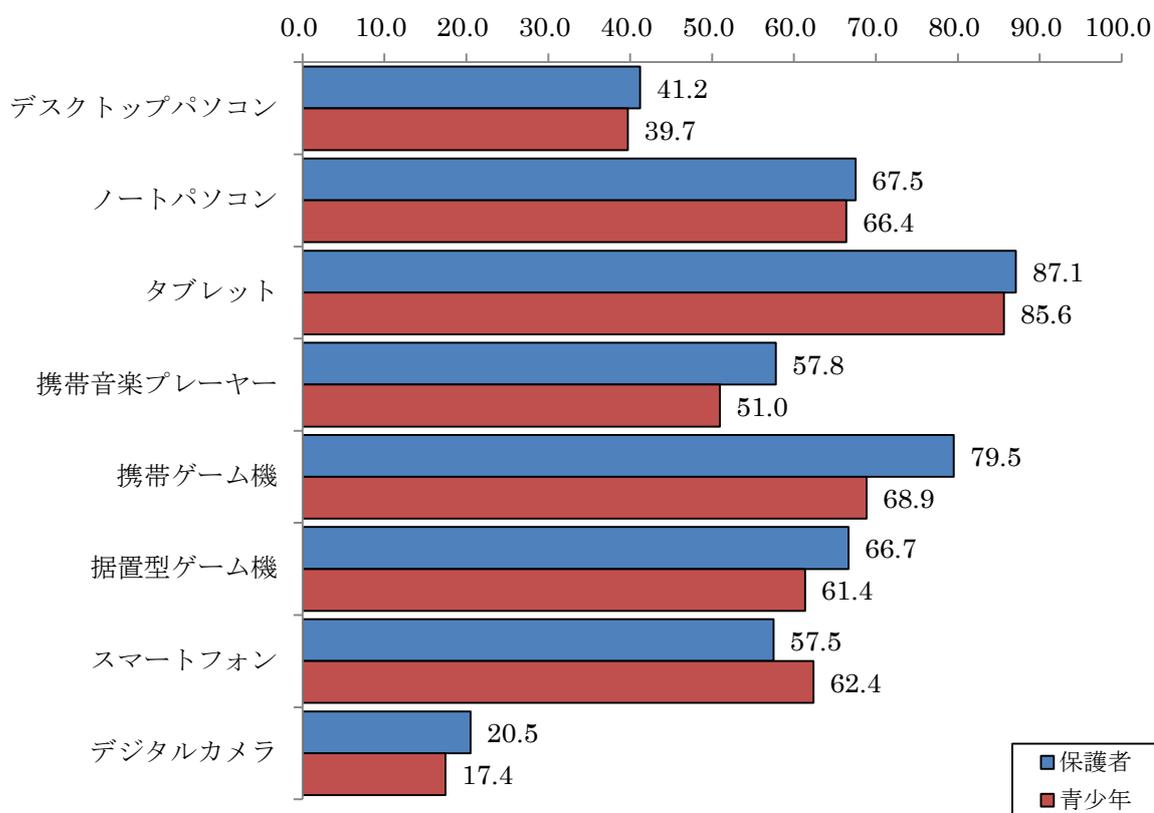


3-2-3 青少年による無線 LAN の利用に関する把握状況

青少年の無線 LAN を介したインターネットの利用状況について、保護者に調査したところ、全体の傾向は青少年とほぼ同様であった。

個別の機器についてみると、ノートパソコン、タブレットは、青少年と保護者で、ほぼ同じ数値となっており、正確に状況が把握されている。携帯音楽プレーヤー、ゲーム機に関しては、保護者の方が無線 LAN を利用していると回答している比率が、青少年による回答よりも高くなっている。またスマートフォンについてのみ、保護者の認識よりも青少年の利用の方が上回っていた。

図表 3-15 青少年の無線 LAN を介したインターネットの利用率に関する保護者の把握状況



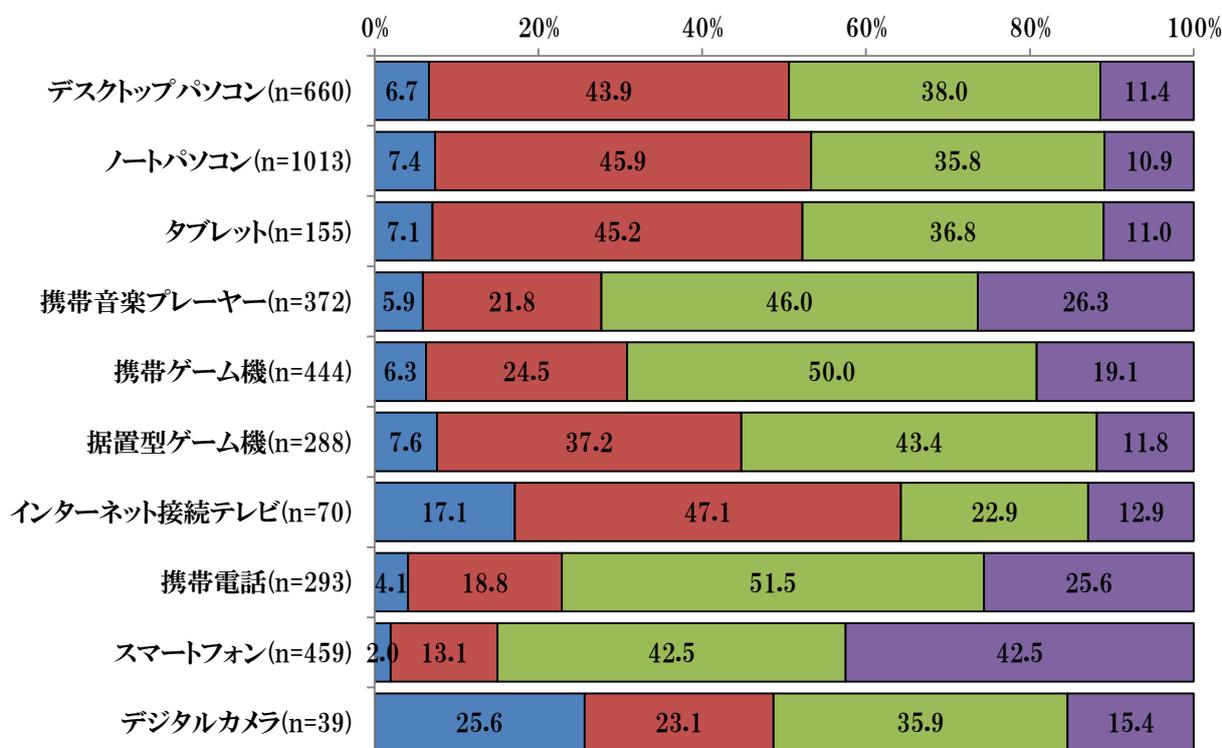
3-3 青少年のインターネット利用に関する確認状況

3-3-1 青少年のインターネット利用に関する確認状況

青少年のインターネットの利用状況を保護者がどの程度確認しているか調査したところ、デスクトップパソコン、ノートパソコン、タブレット、インターネット接続テレビに関しては半数以上の保護者が「子どものそばにいて、常に確認している」「子どものそばにいて確認していることが多い」と回答している。

一方、携帯電話、スマートフォンでは「子供だけで利用しており、確認していない」、「子供だけで利用することが多く、あまり確認していない」が7割以上となっており、子供のそばで確認しているのは2割程度となっている。

図表 3-16 保護者による青少年のインターネット利用に関する確認状況

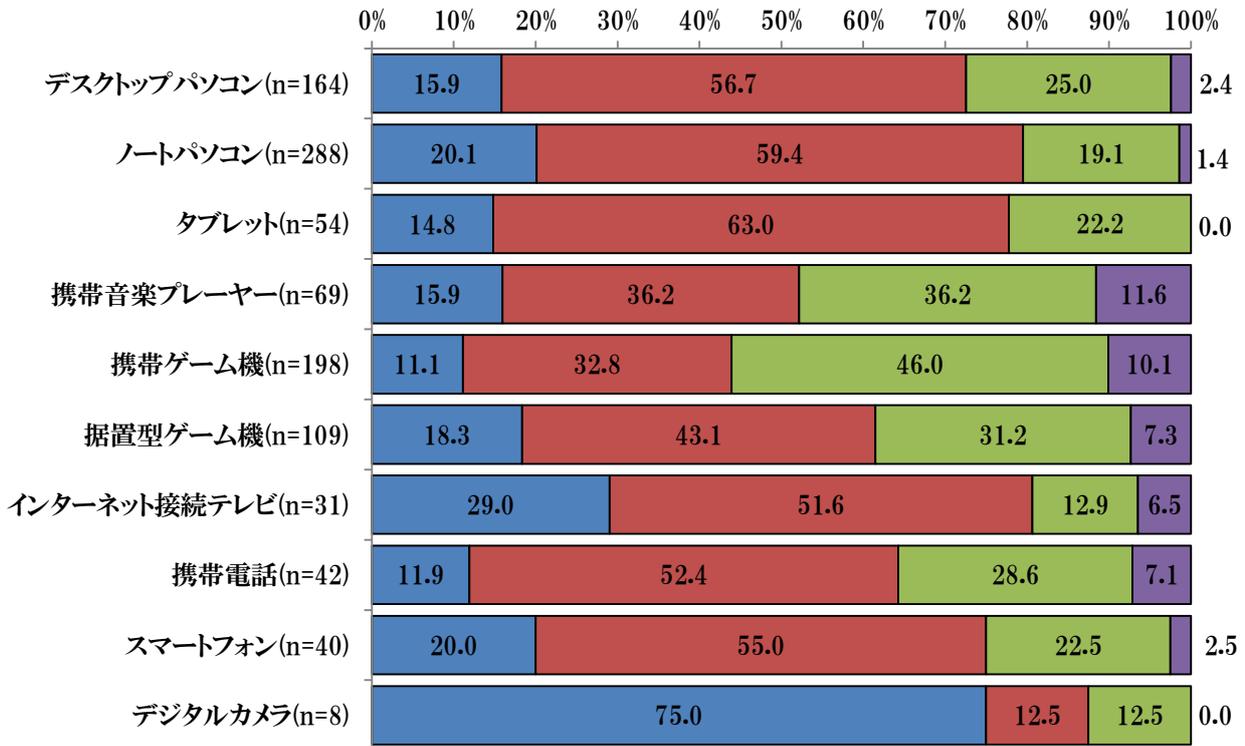


- 子どものそばにいて、常に確認している
- 子どものそばにいて確認していることが多い
- 子どもだけで利用することが多く、あまり確認していない
- 子どもだけで利用しており、確認していない

(1) 小学生のインターネット利用に関する確認状況

「子供だけで利用しており、確認していない」、「子供だけで利用することが多く、あまり確認していない」との回答比率が50%以上を占めるのは、携帯ゲーム機のみである。

図表 3-17 保護者による小学生のインターネット利用に関する確認状況

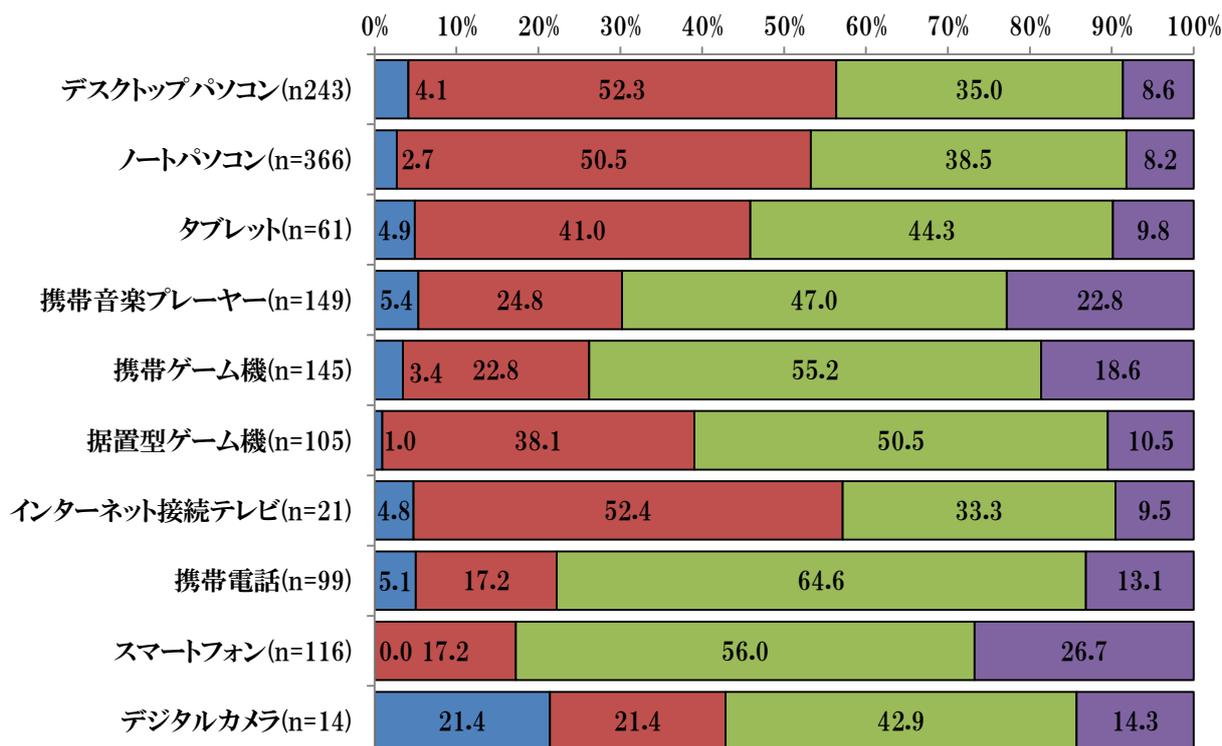


- 子どものそばにいて、常に確認している
- 子どものそばにいて確認していることが多い
- 子どもだけで利用することが多く、あまり確認していない
- 子どもだけで利用しており、確認していない

(2) 中学生のインターネット利用に関する確認状況

「子供だけで利用しており、確認していない」、「子供だけで利用することが多く、あまり確認していない」の回答比率が高いのは、スマートフォンや携帯電話、携帯ゲーム機、携帯音楽プレーヤーといった携帯可能な機器であった。デスクトップパソコンやノートパソコン、インターネット接続テレビなどは、5割未満であり、他の機器よりも低くなっている。

図表 3-18 保護者による中学生のインターネット利用に関する確認状況

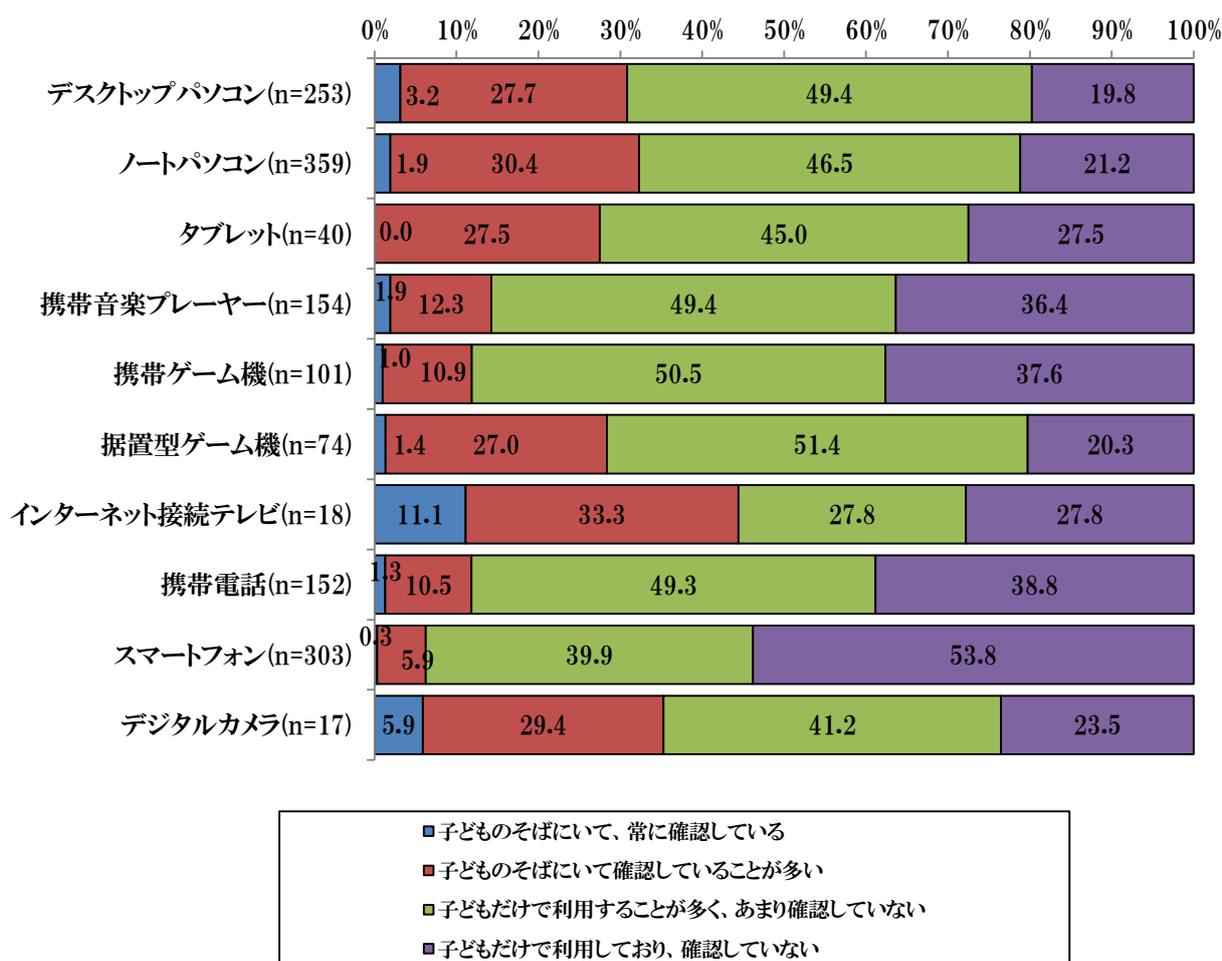


- 子どものそばにいて、常に確認している
- 子どものそばにいて確認していることが多い
- 子どもだけで利用することが多く、あまり確認していない
- 子どもだけで利用しており、確認していない

(3) 高校生のインターネット利用に関する確認状況

全体的に「子供だけで利用しており、確認していない」、「子供だけで利用することが多く、あまり確認していない」の回答比率が高かった。その中でも、スマートフォンや携帯電話、携帯ゲーム機、携帯音楽プレーヤーといった携帯可能な機器が特に高かった。インターネット接続テレビは、「子供だけで利用しており、確認していない」、「子供だけで利用することが多く、あまり確認していない」という回答は5割程度であり、他の機器よりも低くなっている。

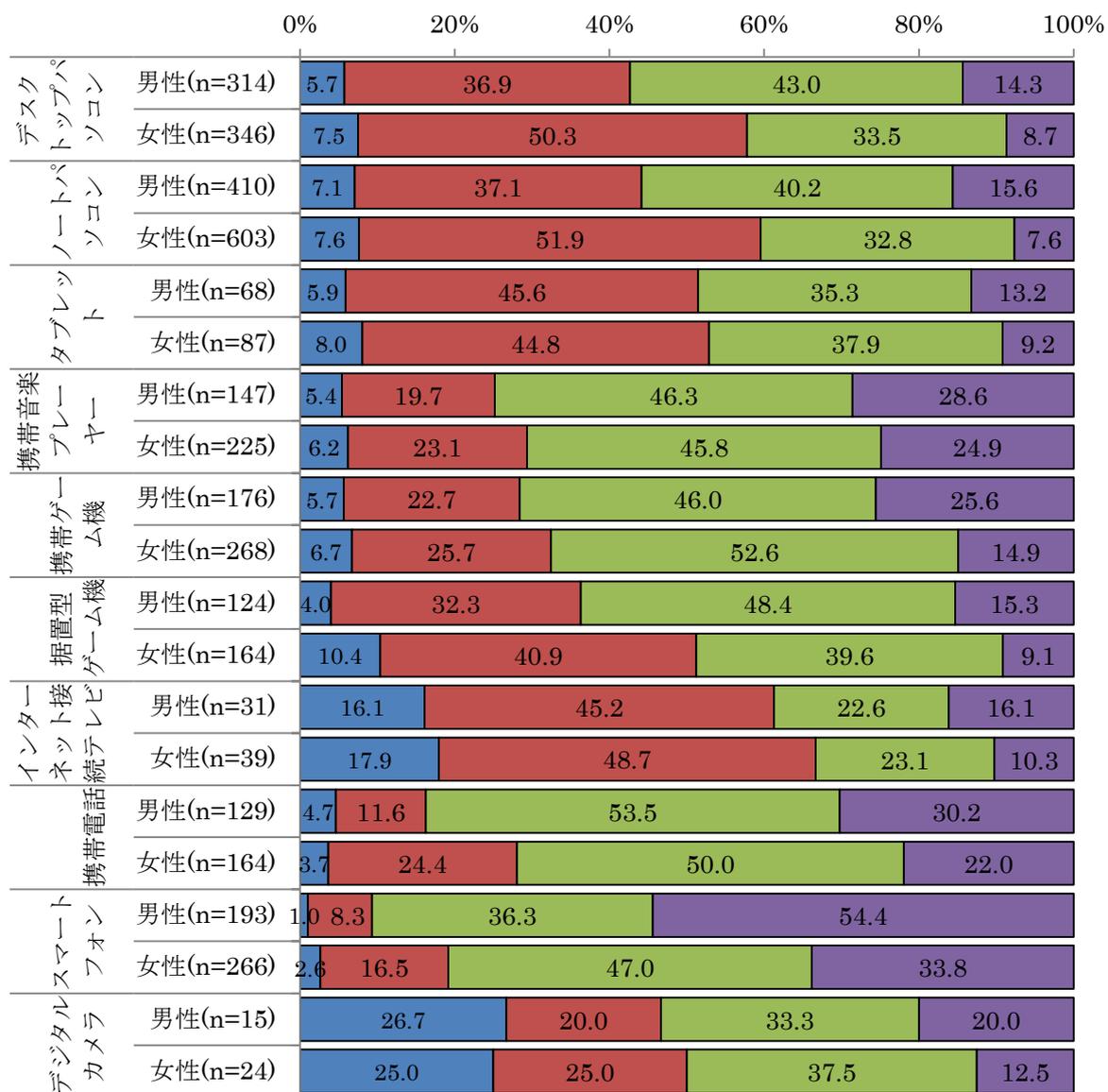
図表 3-19 保護者による高校生のインターネット利用に関する確認状況



(4) 保護者の性別による青少年のインターネット利用に関する確認状況

青少年のインターネット利用に関する確認状況を、保護者の性別ごとにみると、女性の保護者の方が、男性の保護者よりも青少年のそばにいて確認している比率が全般的に高くなっている。タブレットは、保護者の性別による確認状況の差が少ない。

図表 3-20 保護者の性別による青少年のインターネット利用に関する確認状況



- 子どものそばにいて、常に確認している
- 子どものそばにいて確認していることが多い
- 子どもだけで利用することが多く、あまり確認していない
- 子どもだけで利用しており、確認していない

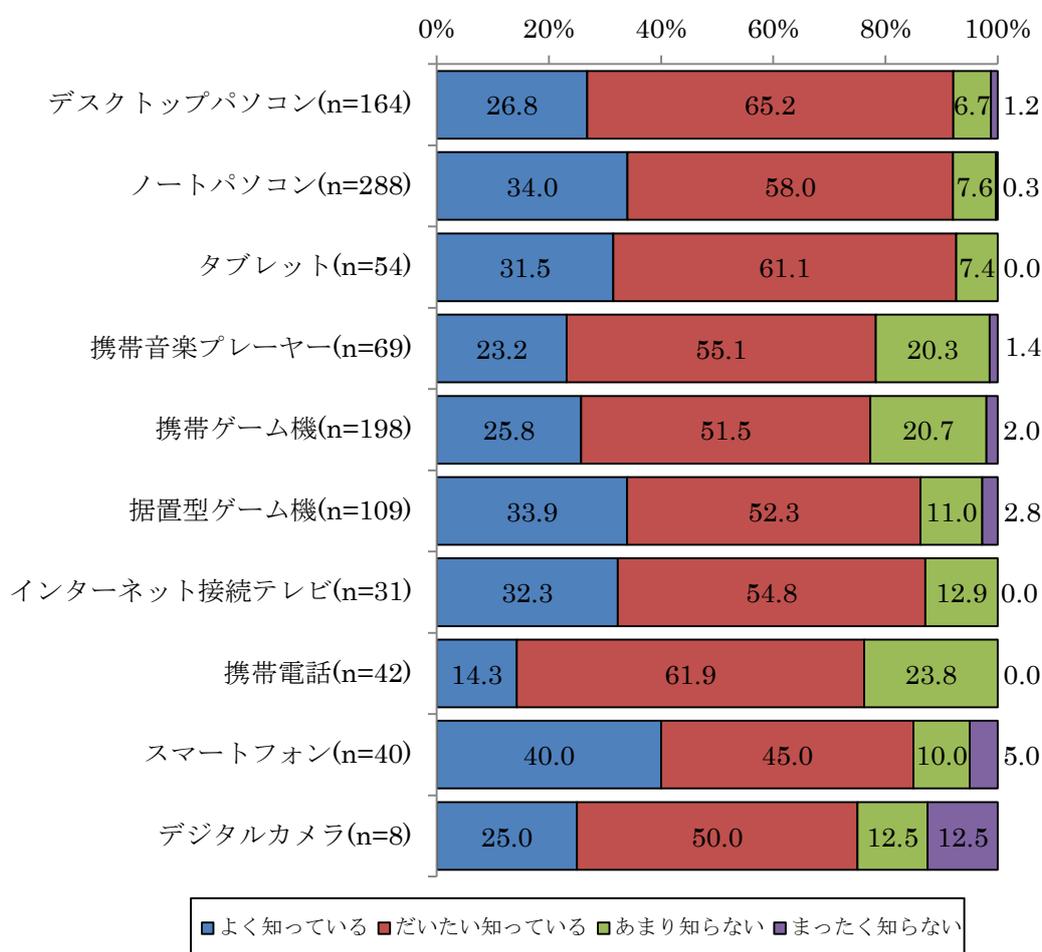
3-3-2 青少年のインターネット利用状況の把握状況

青少年がどのようなインターネットのサイトを使っているのか、どのくらいの時間インターネットを使っているのかなどについて、保護者がどの程度把握しているか調査したところ、青少年が小学生であるか、中学生であるか、高校生であるのかによって違いがみられた。

(1) 小学生のインターネット利用状況の把握状況

小学生のインターネット利用状況について「よく知っている」「だいたい知っている」と回答している保護者の比率は、ほとんどの機器で8割を超えている。ただし、携帯音楽プレーヤー(78.3%)、携帯ゲーム機(77.3%)、携帯電話(76.2%)、デジタルカメラ(75.0%)では8割を切っている。

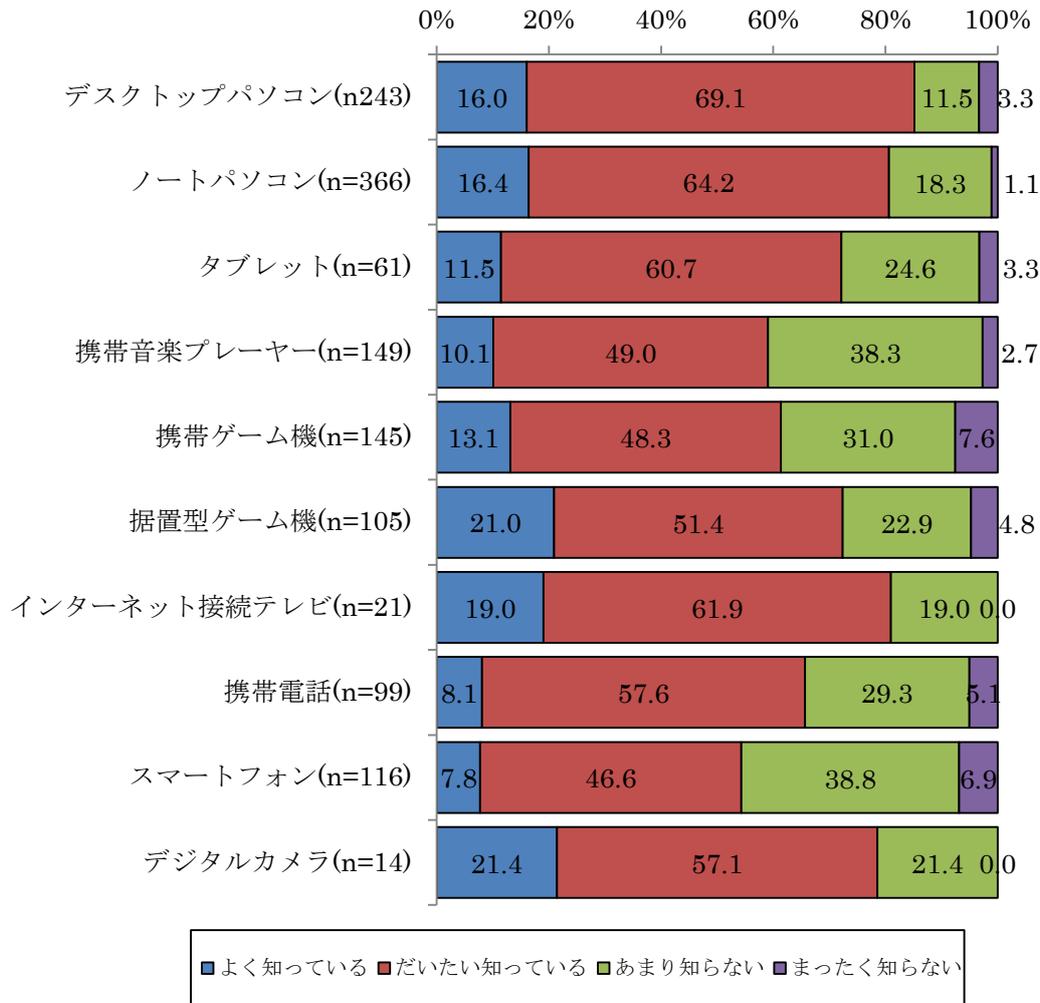
図表 3-21 小学生のインターネット利用に関する把握状況



(2) 中学生のインターネット利用状況の把握状況

中学生のインターネット利用状況について「よく知っている」「だいたい知っている」と回答している保護者の比率は、小学生と比較すると少なくなっている。特に携帯型の機器での比率が低くなっており、携帯音楽プレーヤーが59.1%、スマートフォンが54.4%、となっている。

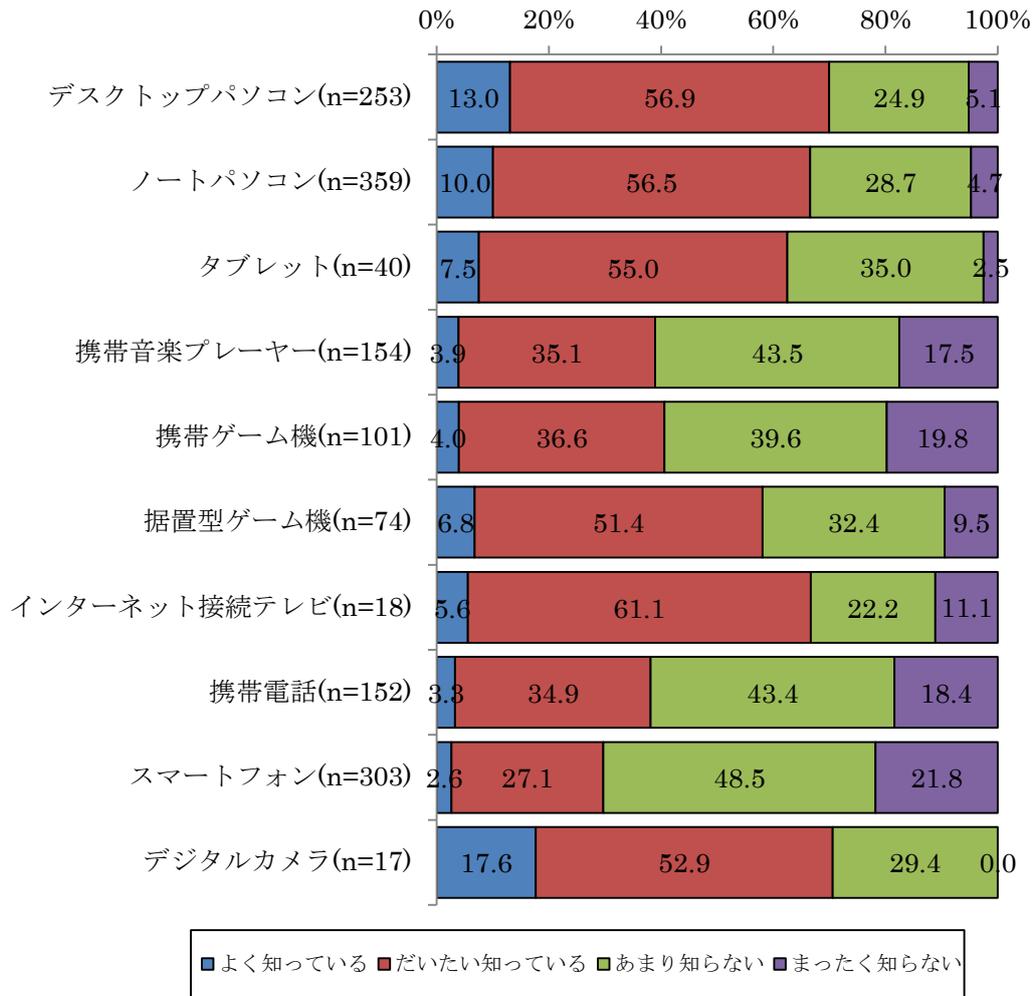
図表 3-22 中学生のインターネット利用に関する把握状況



(3) 高校生のインターネット利用状況の把握状況

高校生のインターネット利用状況について「よく知っている」「だいたい知っている」と回答している保護者の比率は、小中学生と比較すると少なくなっている。「まったく知らない」とする回答もスマートフォン、携帯電話、携帯音楽プレーヤー、携帯ゲーム機では2割程度を占めている。

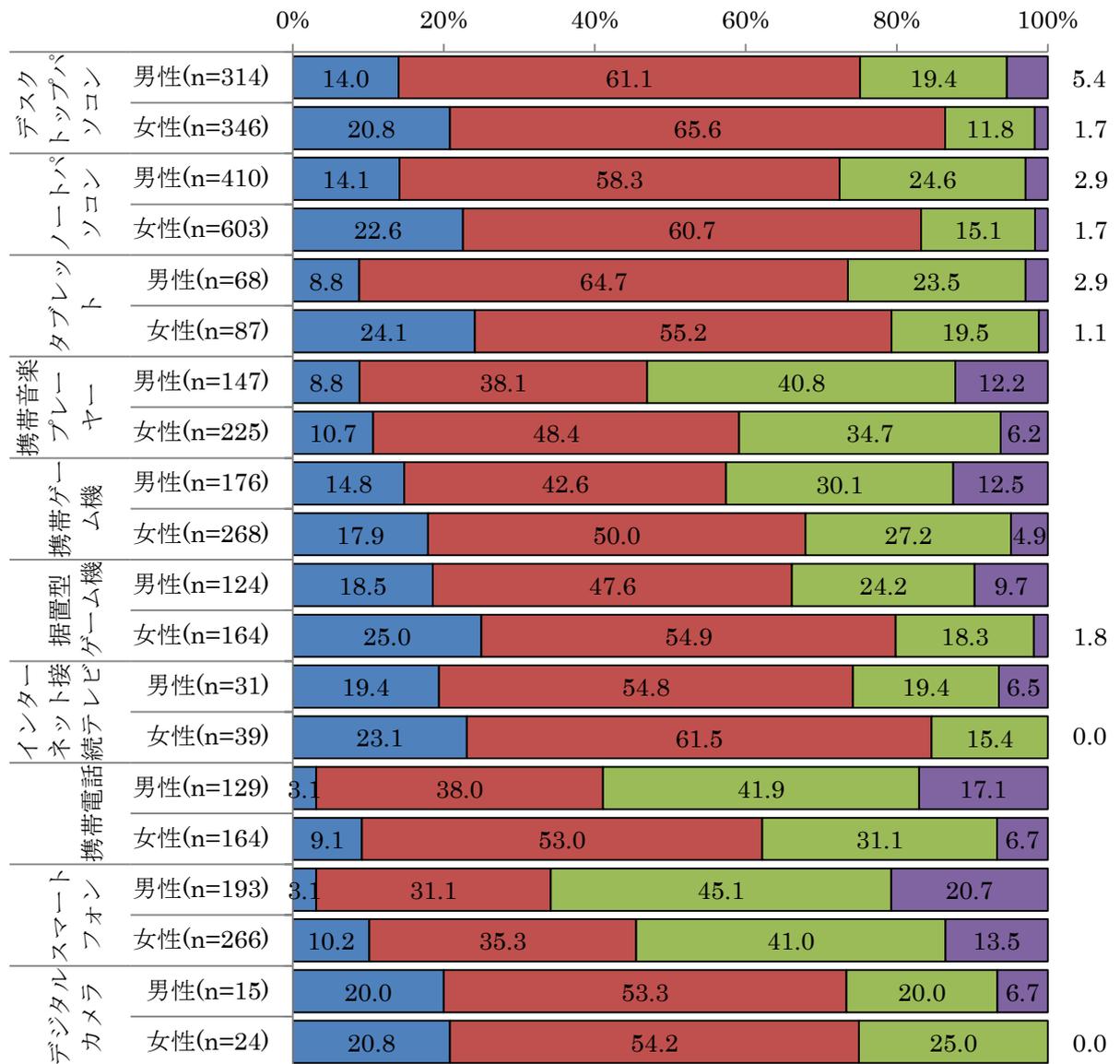
図表 3-23 高校生のインターネット利用に関する把握状況



(4) 保護者の性別による青少年のインターネット利用状況の把握状況

青少年のインターネットの利用状況については、青少年がインターネットを利用する際にそばにいて確認していることの多い女性の保護者の方が、男性の保護者よりも、よく把握している。デジタルカメラは女性と男性による差が少ない。

図表 3-24 保護者の性別による青少年のインターネット利用に関する把握状況



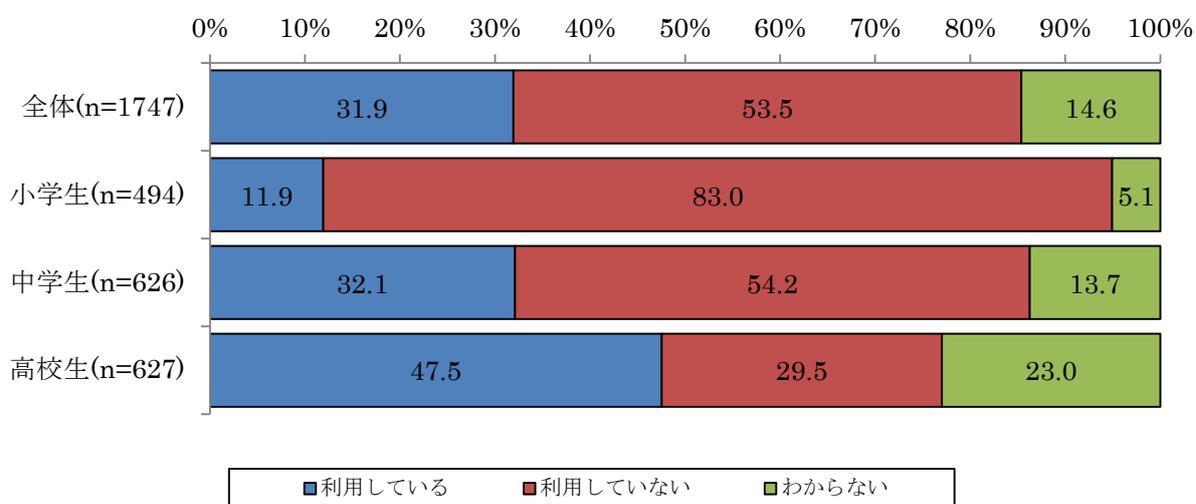
3-4 青少年のコミュニティサイトの利用状況

3-4-1 コミュニティサイトの利用状況

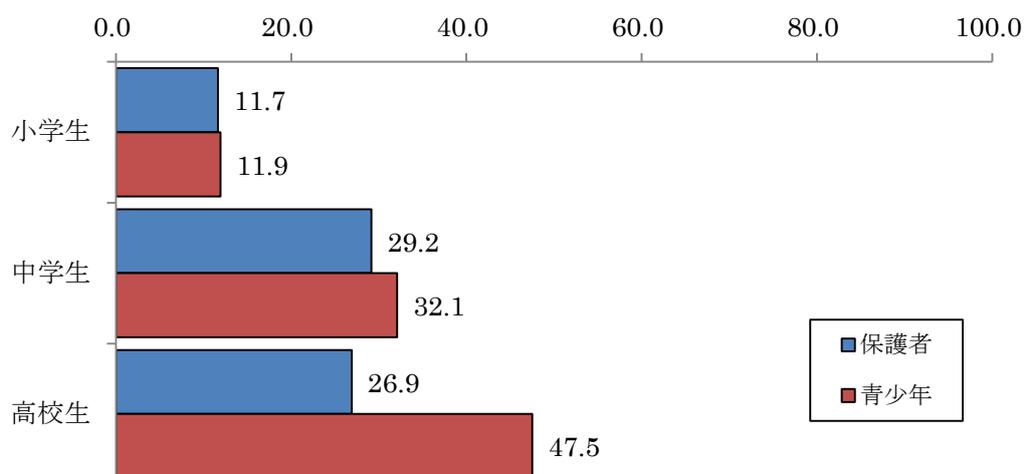
コミュニティサイトの利用に関して、「利用している」と回答した青少年の比率は、全体で31.9%であった。年齢が上がるに従って利用者も増加する結果となったが、中でも小学生と中学生の差が大きく、20%以上の開きが見られた。

保護者による把握状況については、小学生では0.2%であるのに対し、中学生では2.9%、高校生では20.6%と、年齢が上がるに従って利用状況の把握が難しくなっている様子が見受けられた。

図表 3-25 青少年のコミュニティサイトの利用状況



図表 3-26 インターネットを利用している人のうちの青少年のコミュニティサイトの利用状況と保護者の把握状況の比較

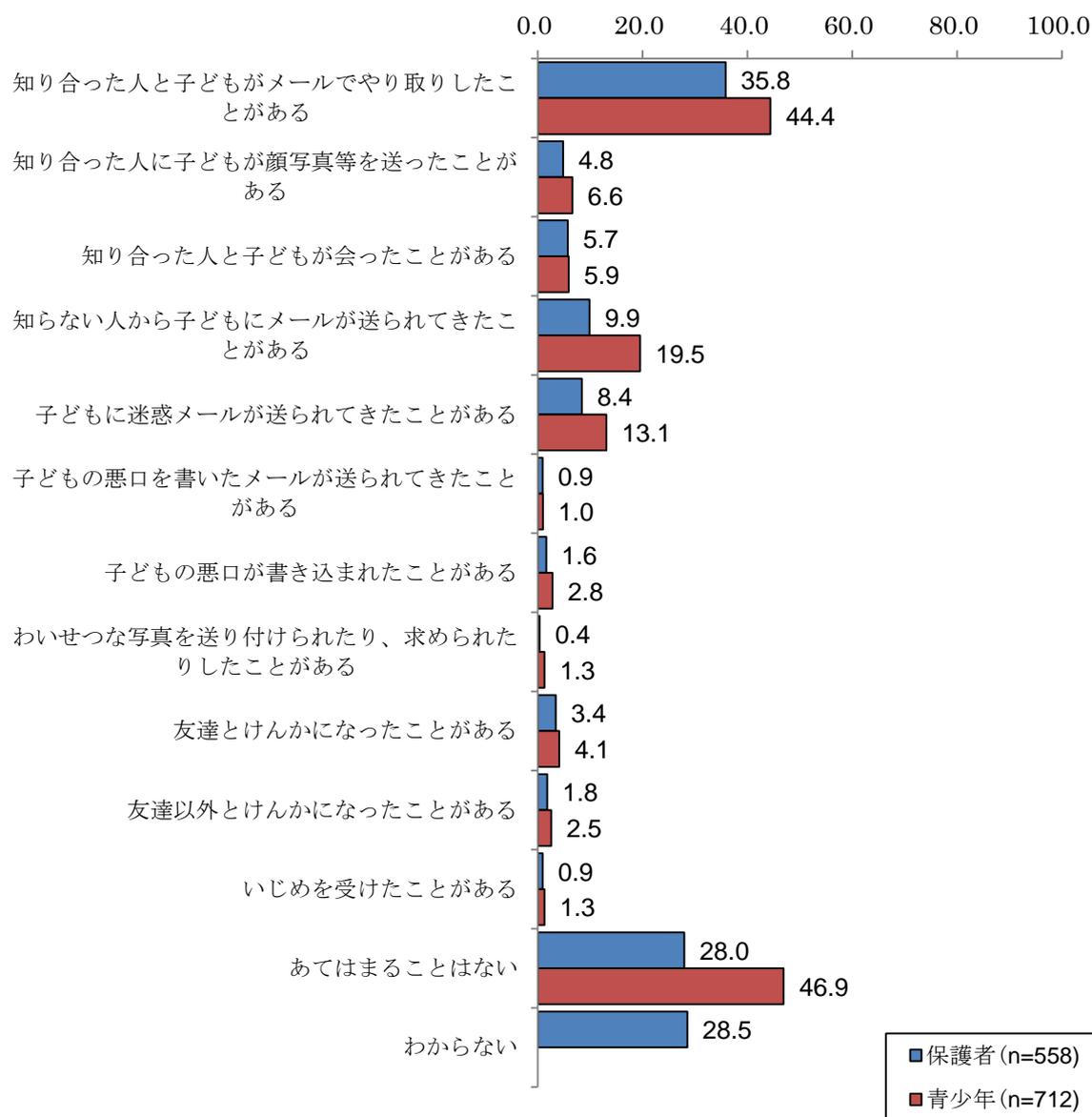


(注) 集計対象は青少年がコミュニティサイトを利用していると回答した保護者、コミュニティサイトを利用していると回答した青少年

3-4-2 コミュニティサイトを通じたトラブル経験等

コミュニティサイトを通じたトラブル経験について、保護者と青少年との回答状況を比較すると、コミュニティサイトで知り合った人とのメールのやり取り、知らない人からのメール、迷惑メール等に関して、一部把握しきれていない状況がわかる。特に、知らない人からメールが送られてきたことについては、青少年の回答の約半分の数値となっている。

図表 3-27 青少年のコミュニティサイトを通じたトラブル経験の比較



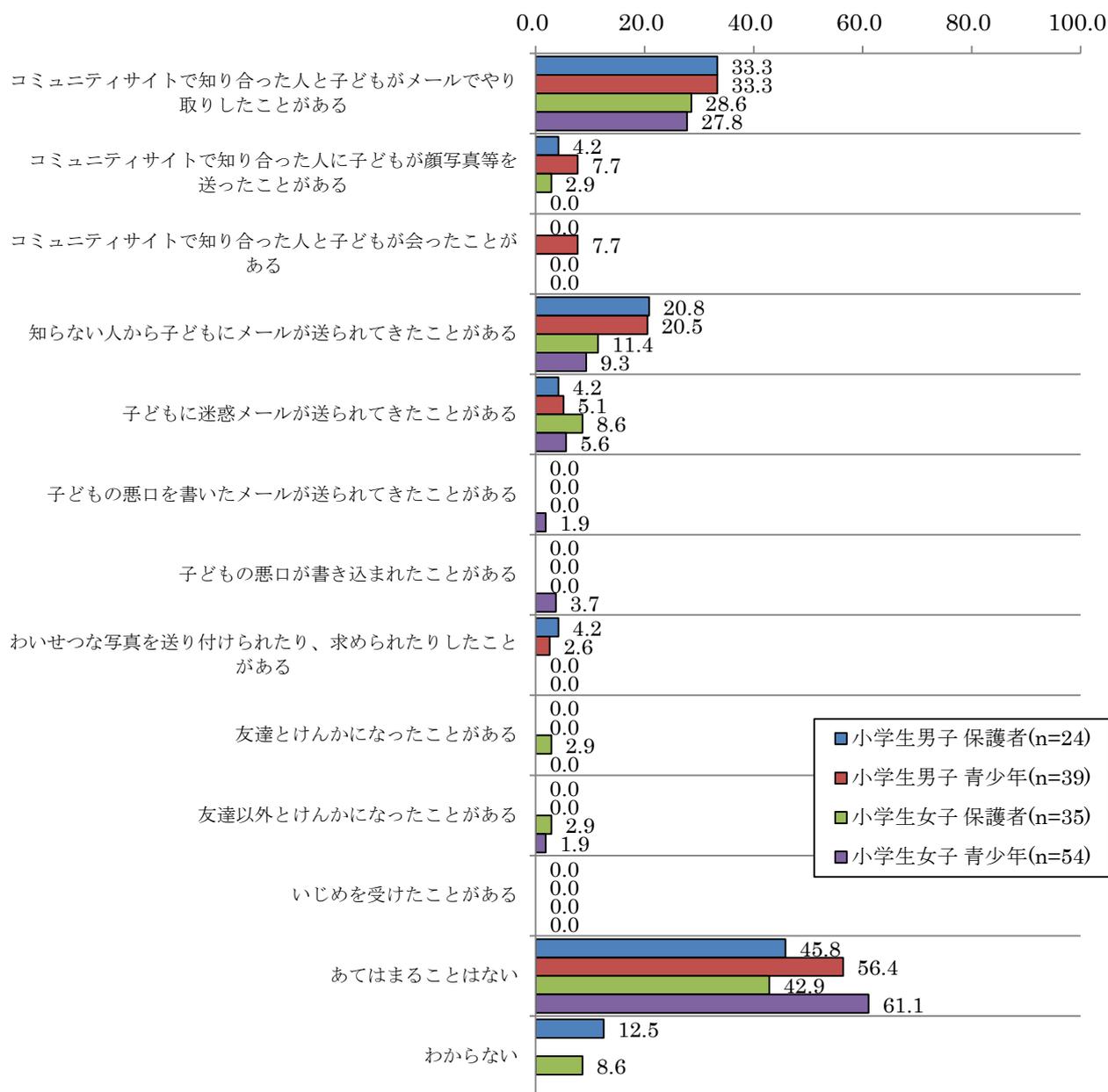
(注) 青少年の集計対象は、コミュニティサイトを青少年が利用していると回答した青少年。保護者の集計対象は、コミュニティサイトを青少年が利用していると回答した保護者。

(1) 小学生のコミュニティサイトを通じたトラブル経験等

小学生がコミュニティサイトを通じてトラブル等を経験した状況に関しては、保護者と青少年の回答が比較的一致しているが、顔写真の送付、コミュニティサイトで知り合った人と会う等については、保護者が把握しきれていない部分がある。

また、女子の保護者では「わからない」と回答する比率が 8.6%と、男子の保護者の 12.5%と比べて低かった。

図表 3-28 小学生のコミュニティサイトを通じたトラブル等に関する保護者と小学生の回答の比較

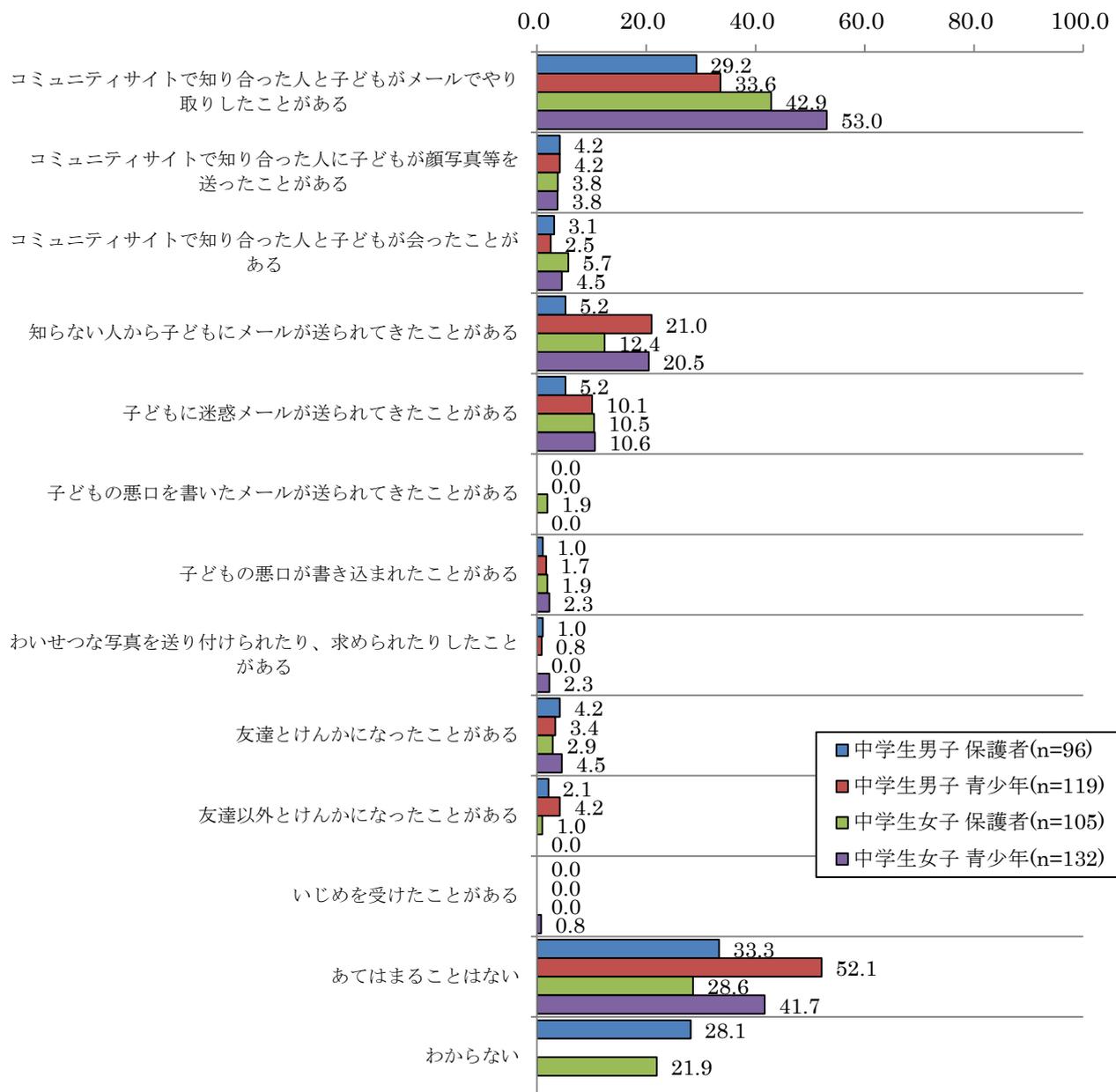


(2) 中学生のコミュニティサイトを通じたトラブル経験等

中学生がコミュニティサイトを通じてトラブル等を経験した状況に関して、保護者が把握しきれていない状況がうかがえる。

またトラブル経験等の有無に関して「わからない」とする回答が、小学生よりも増えている。

図表 3-29 中学生のコミュニティサイトを通じたトラブル等に関する保護者と中学生の回答の比較

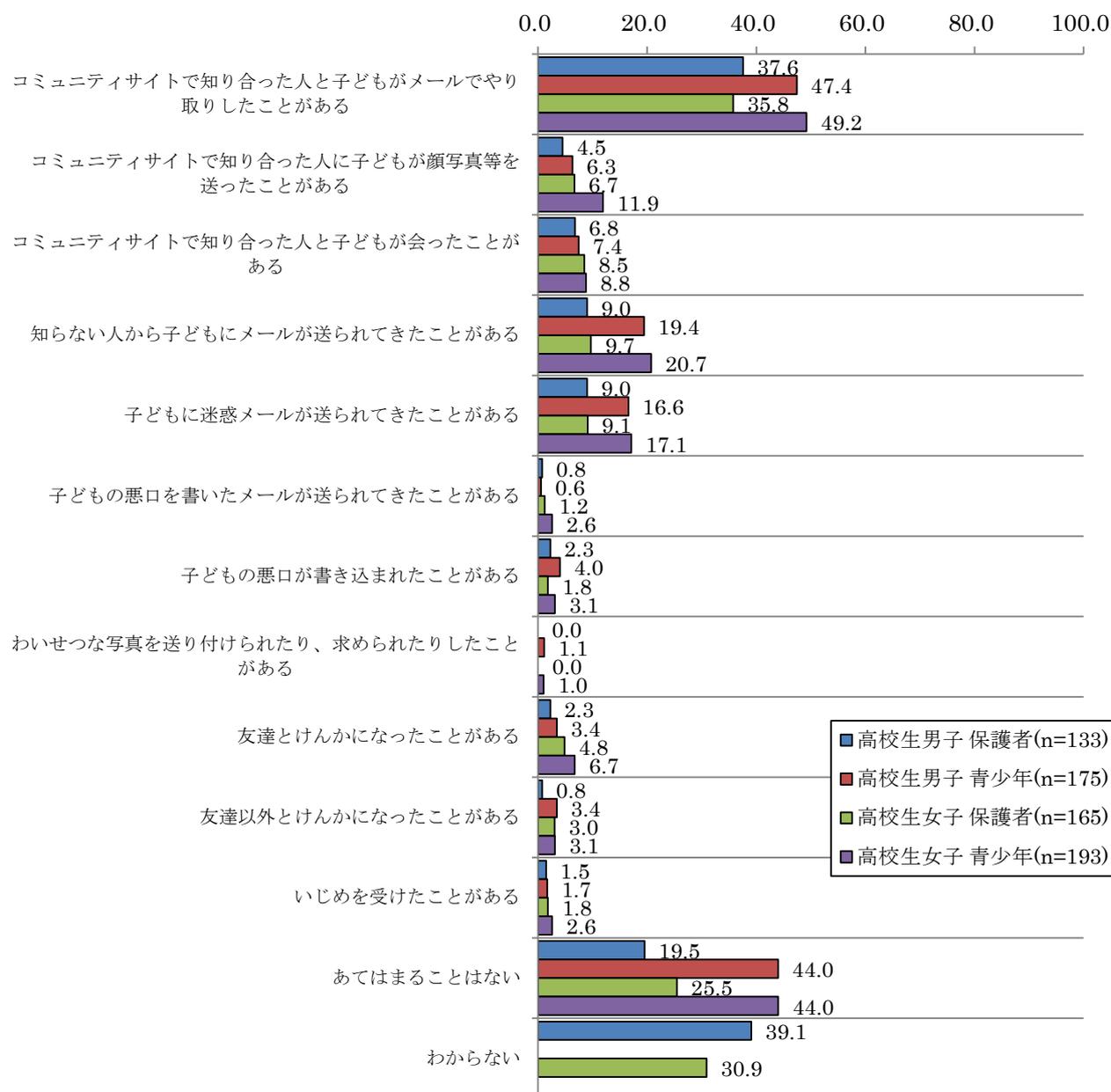


(3) 高校生のコミュニティサイトを通じたトラブル経験等

高校生がコミュニティサイトを通じてトラブル等を経験した状況に関して、3割以上の保護者が「わからない」と回答していることからわかるように、小中学生と比較して高校生の状況に関する保護者の把握は十分ではない。

悪口のメール、書込に関しては、保護者と青少年との間に大きな差はないが、コミュニティサイトで知り合った人とのメール、知らない人からのメール、迷惑メール等は、男女ともに保護者がすべてを把握しきれていない状況がわかる。

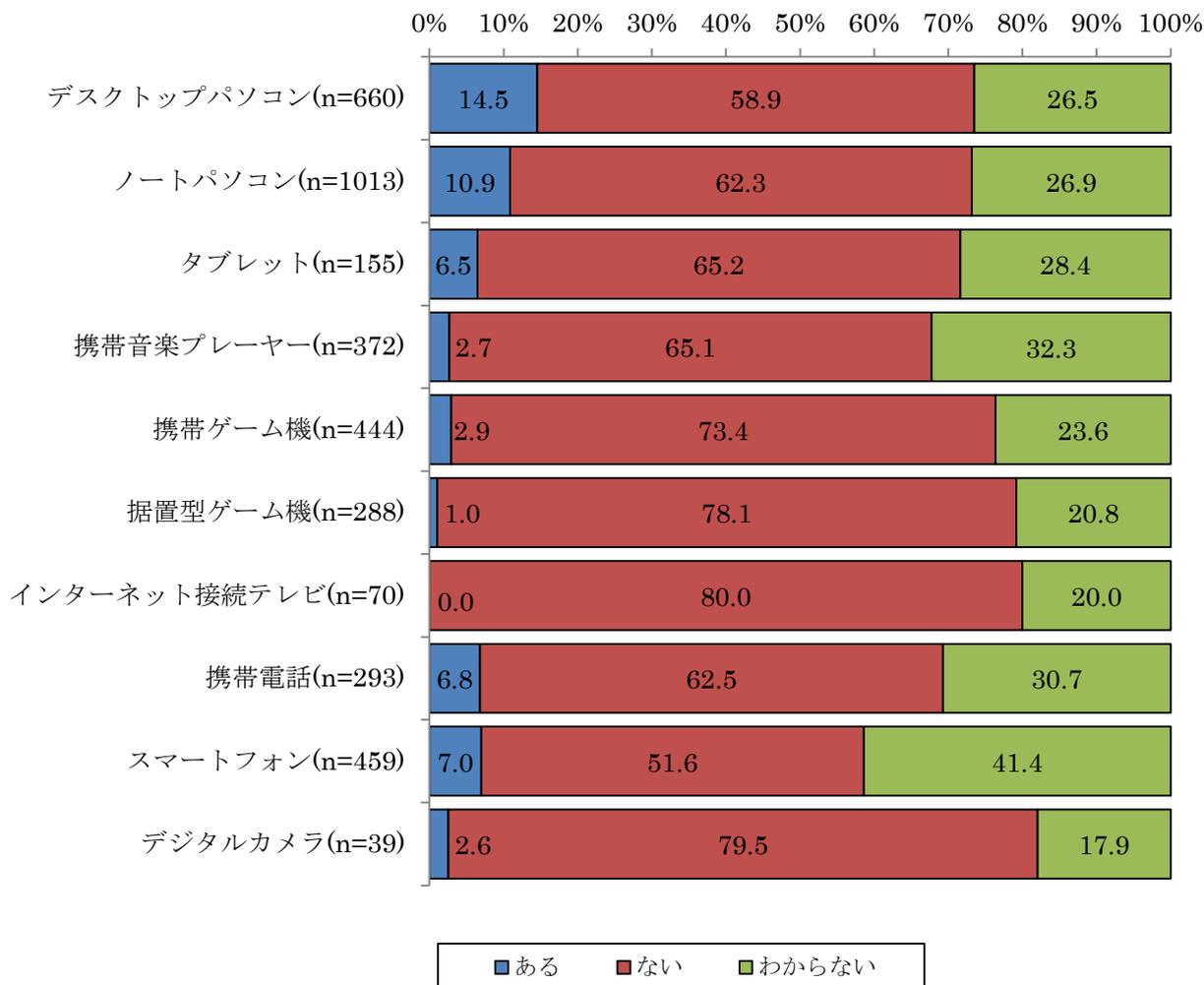
図表 3-30 高校生のコミュニティサイトを通じたトラブル等に関する保護者と高校生の回答の比較



3-5 青少年の違法・有害情報への遭遇状況

青少年がインターネットを利用している時に、わいせつな画像や気持ちの悪い画像、自殺や家出、麻薬等の情報等を、思いがけず見てしまうといったトラブルを経験した状況について、保護者に調査したところ、「わからない」という回答が2~4割に達している。特に、携帯電話、スマートフォン、携帯音楽プレーヤー、タブレットで、「わからない」の回答が多くなっている。

図表 3-31 青少年の違法・有害情報への遭遇状況に関する保護者の回答

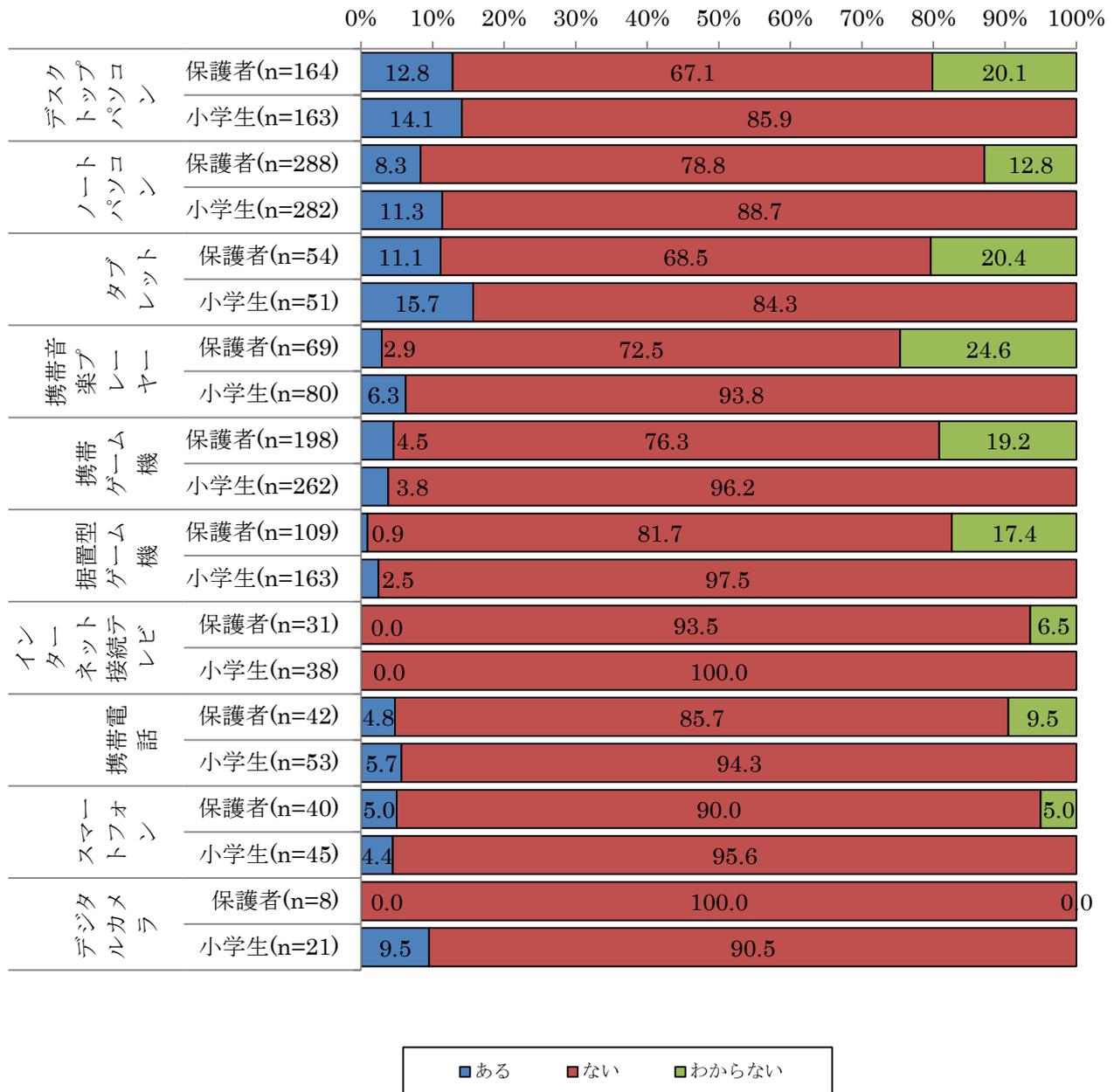


(注) 集計対象は、各機器で青少年がインターネットを利用していると回答した保護者、

(1) 小学生の違法・有害情報への遭遇状況

小学生の違法・有害情報に対する遭遇状況に関する回答は、概ね保護者と小学生で同じレベルになっている。

図表 3-32 小学生の違法・有害情報への遭遇状況に関する保護者と小学生の回答の比較

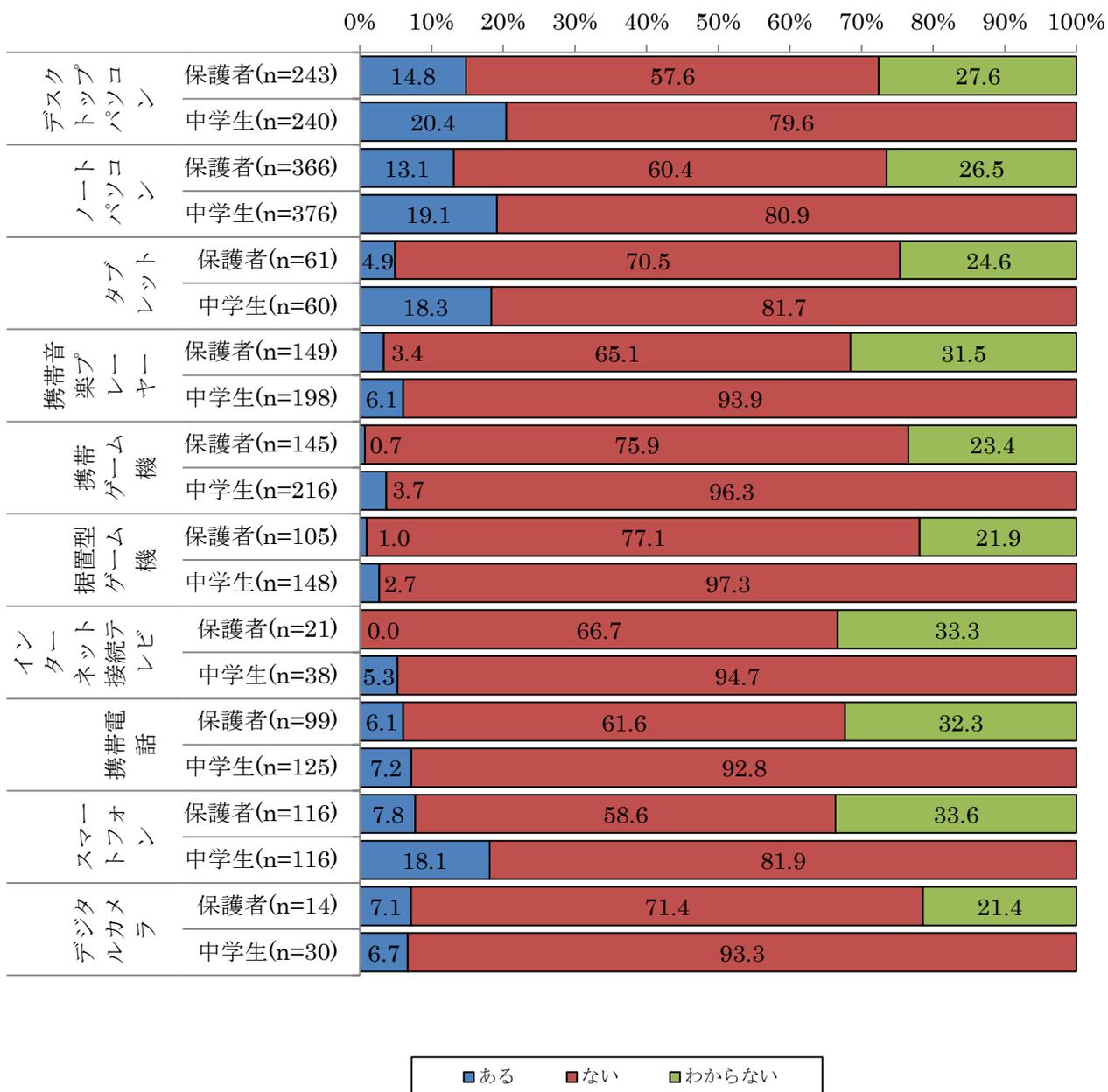


(注) 集計対象は各機器で青少年がインターネットを利用していると回答した保護者、各機器でインターネットを利用していると回答した青少年

(2) 中学生の違法・有害情報への遭遇状況

中学生の違法・有害情報に対する遭遇状況に関する回答では、タブレット、スマートフォンで保護者と中学生とで差が大きくなっている。

図表 3-33 中学生の違法・有害情報への遭遇状況に関する保護者と中学生の回答の比較

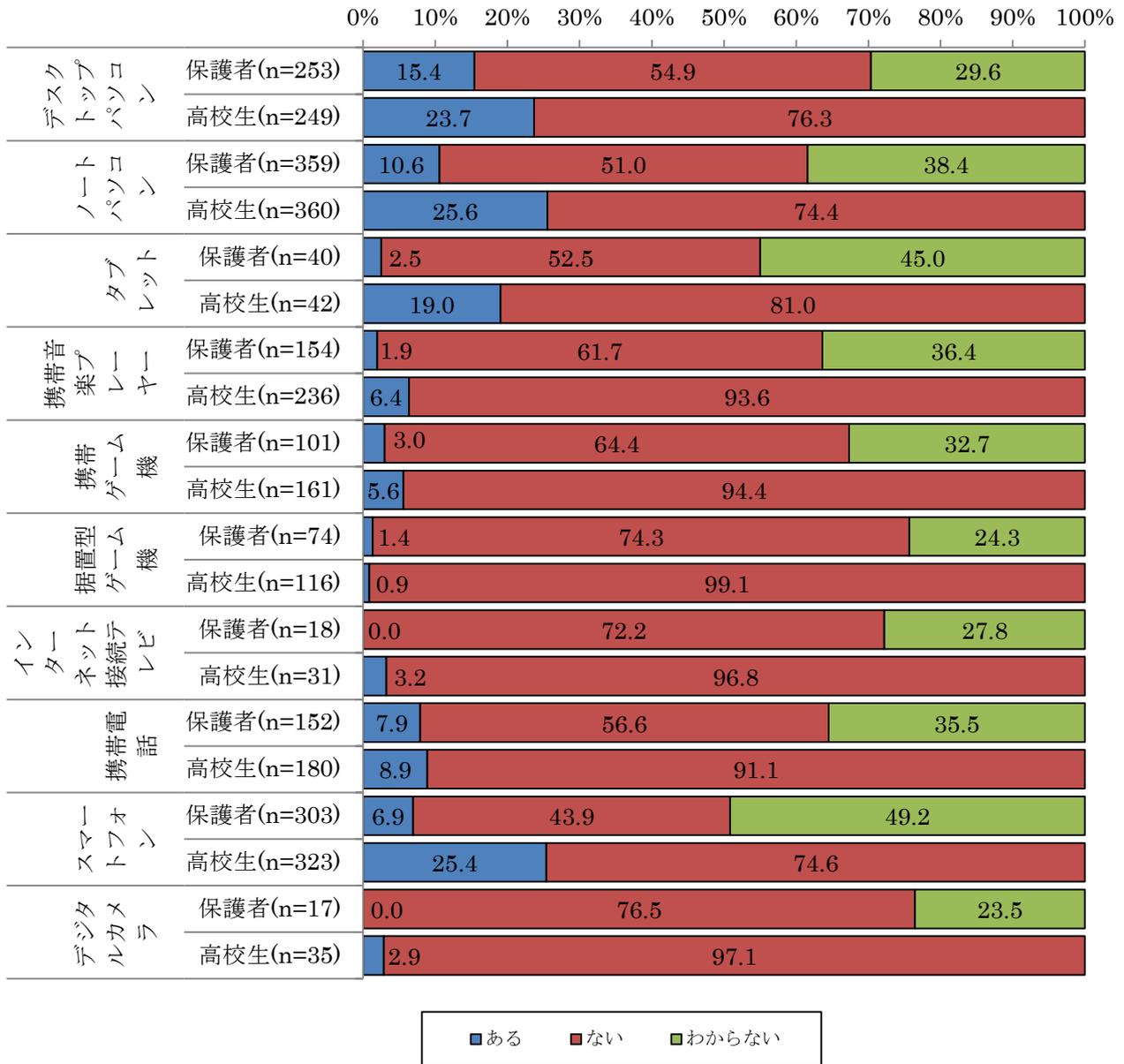


(注)集計対象は各機器で青少年がインターネットを利用していると回答した保護者、各機器でインターネットを利用していると回答した青少年

(3) 高校生の違法・有害情報への遭遇状況

高校生では「わからない」とする比率が高くなっている。タブレット、スマートフォンでは、4割以上の保護者が「わからない」と回答している。保護者と高校生の回答状況をみると、スマートフォン、タブレット、ノートパソコン、デスクトップパソコンで差が大きくなっている。

図表 3-34 高校生の違法・有害情報への遭遇状況に関する保護者と高校生の回答の比較



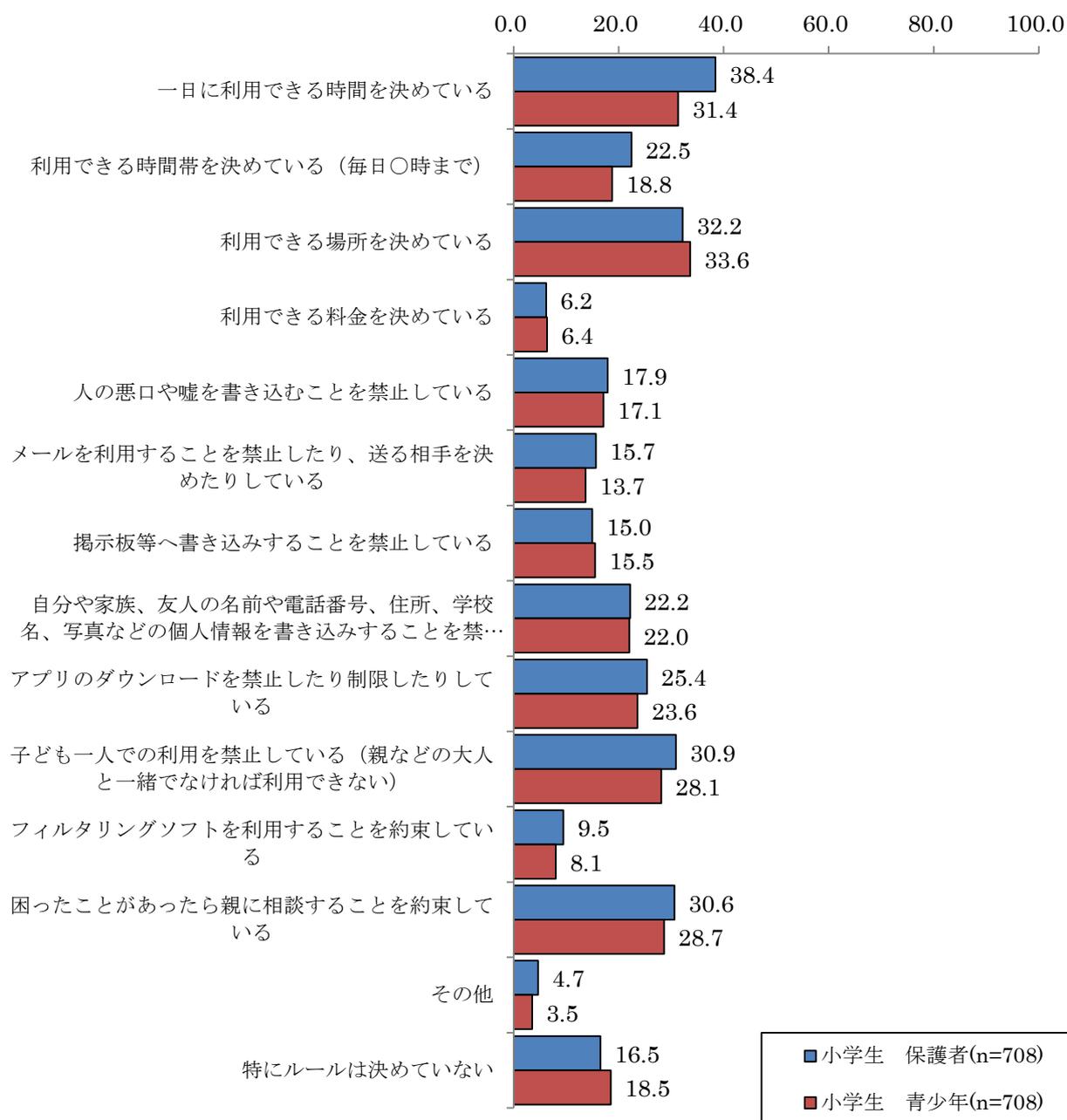
(注) 集計対象は各機器で青少年がインターネットを利用していると回答した保護者、各機器でインターネットを利用していると回答した青少年

3-6 インターネットを利用する際のルール

(1) 小学生がインターネットを利用するにあたっての家庭内のルール

小学生がインターネットを利用する際の家庭内のルールについてみると、全体的に保護者の数値の方が青少年の数値よりも高くなっており、保護者がルールとして設定していると考えていても、青少年がそれを認識していない場合があることを示唆している。特に差が大きいのは、「一日に利用できる時間」であり、保護者と青少年との間には7ポイントの差があった。

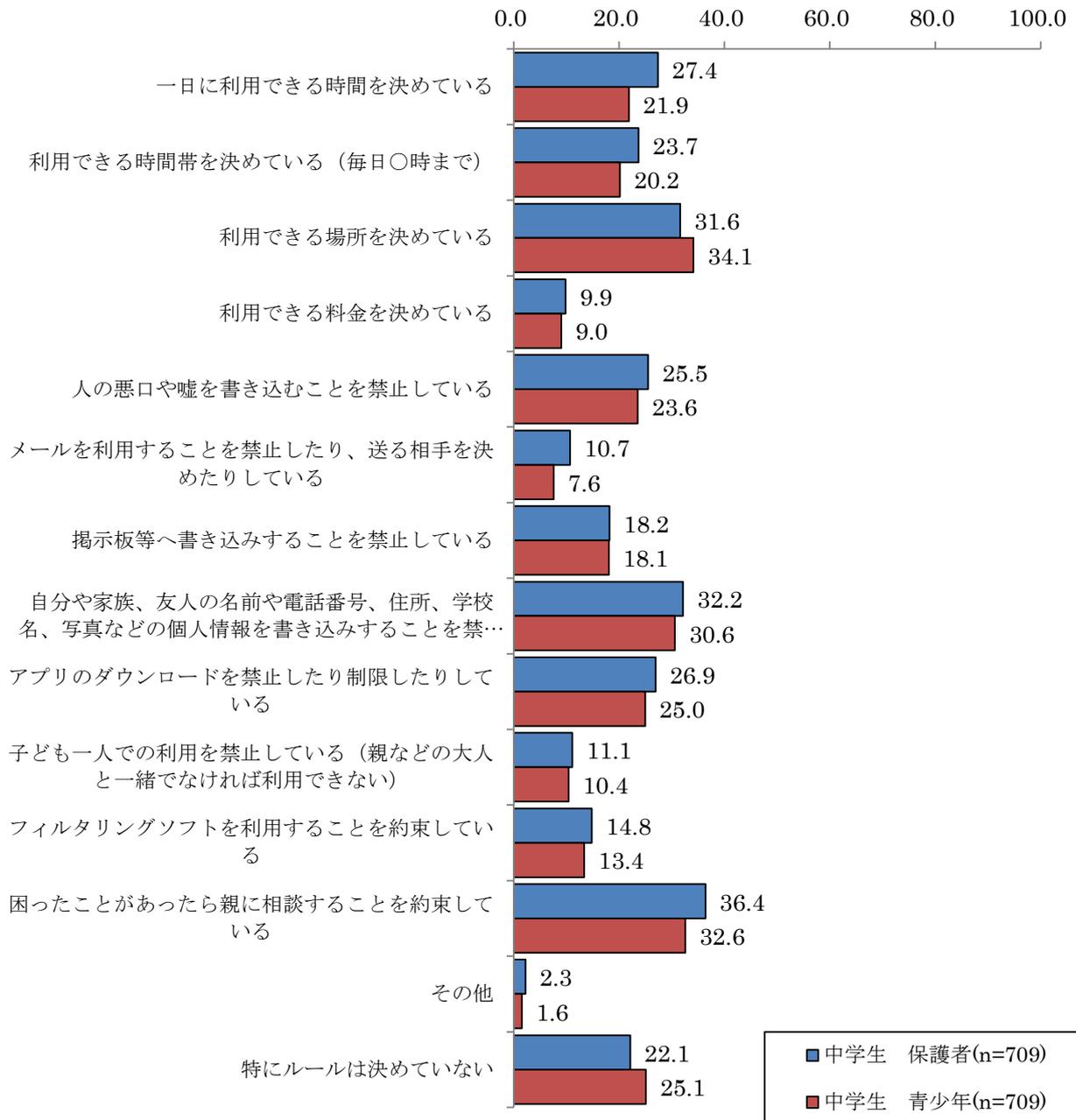
図表 3-35 小学生のインターネット利用にあたってのルールの設定状況



(2) 中学生がインターネットを利用するにあたっての家庭内のルール

中学生がインターネットを利用する際の家庭内のルールについてみると、保護者と青少年とで、「一日に利用できる時間」「困ったことがあった際の親への相談」で若干差が出ている。

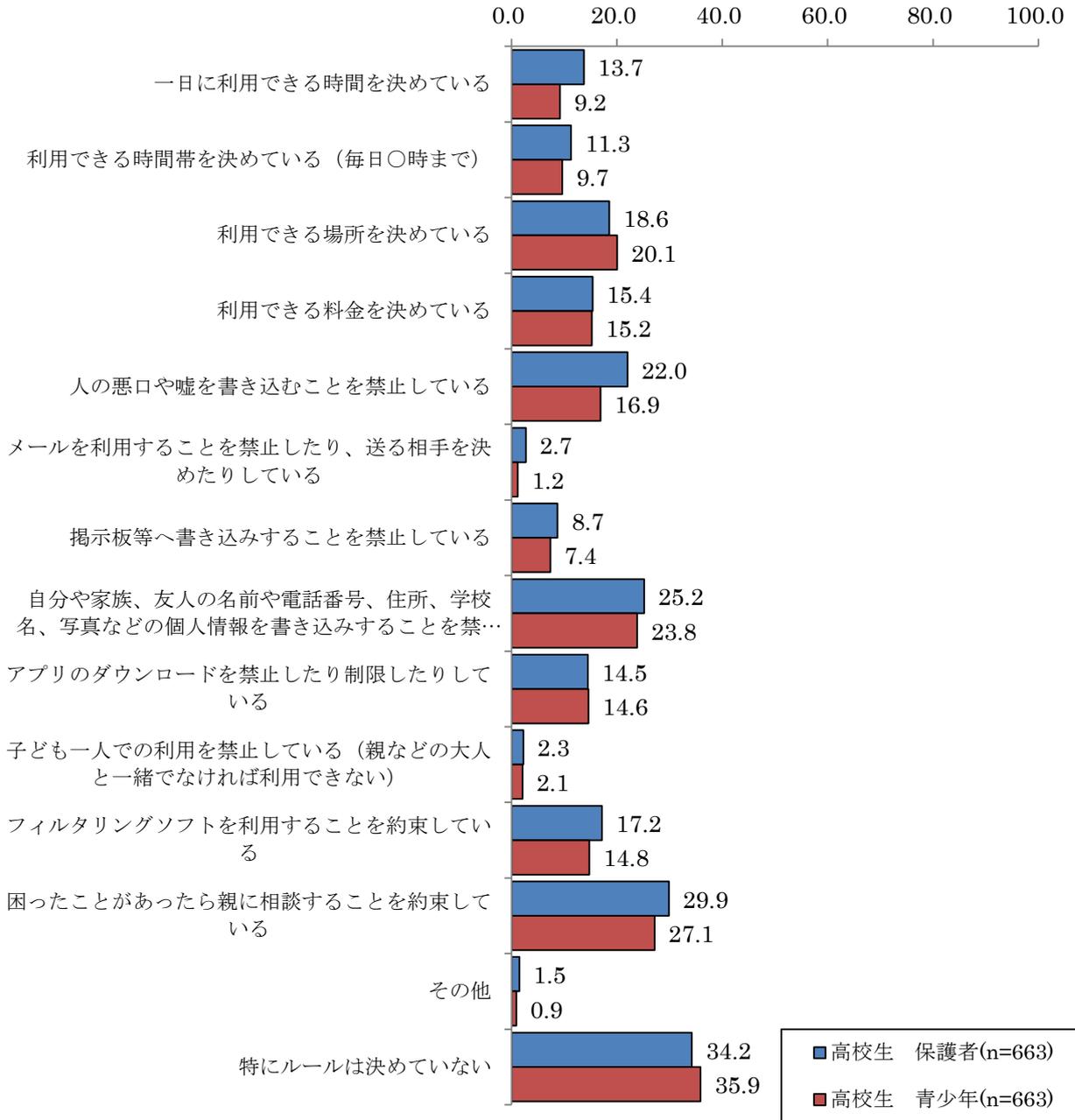
図表 3-36 中学生のインターネット利用にあたってのルールの設定状況



(3) 高校生がインターネットを利用するにあたっての家庭内のルール

高校生がインターネットを利用する際の家庭内のルールについてみると、保護者と青少年とで、全般的な傾向は似ているが、「悪口や嘘の書き込み禁止」「一日に利用できる時間」で若干差が出ている。

図表 3-37 高校生のインターネット利用にあたってのルールの設定状況

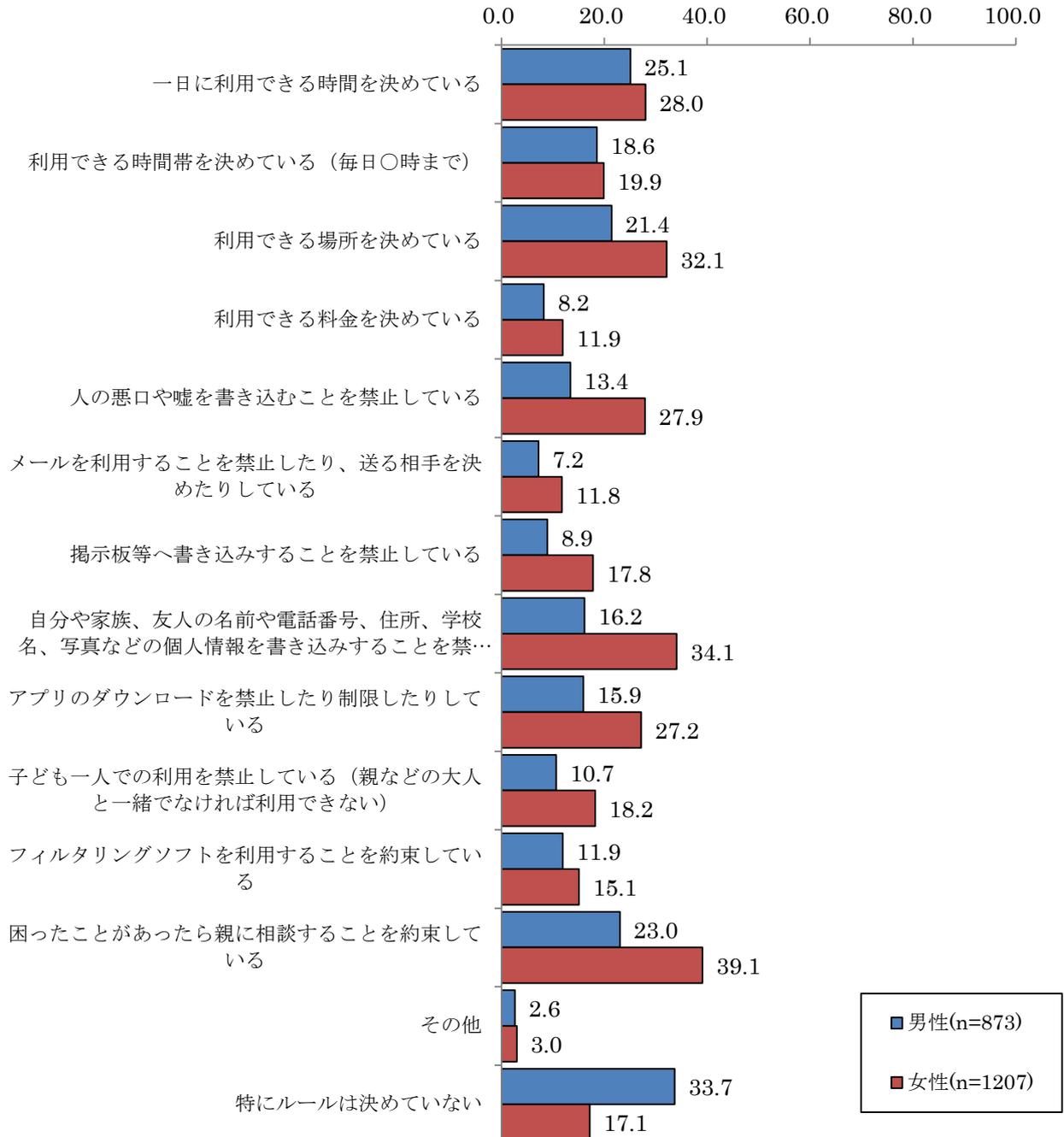


(4) 保護者の性別によるインターネット利用に関する家庭内のルールの設定状況

インターネット利用に関する家庭内でのルールの設定状況について、保護者の性別による違いをみると、女性の保護者の方が全ての項目について設定していると回答する比率が高くなっている。一方、男性の保護者は、特にルールは決めていないとする回答が女性の1.9倍となっている。

その他の内容としては、「有料サイトは使わない」「許可を得てから使う」等の回答が見られた。

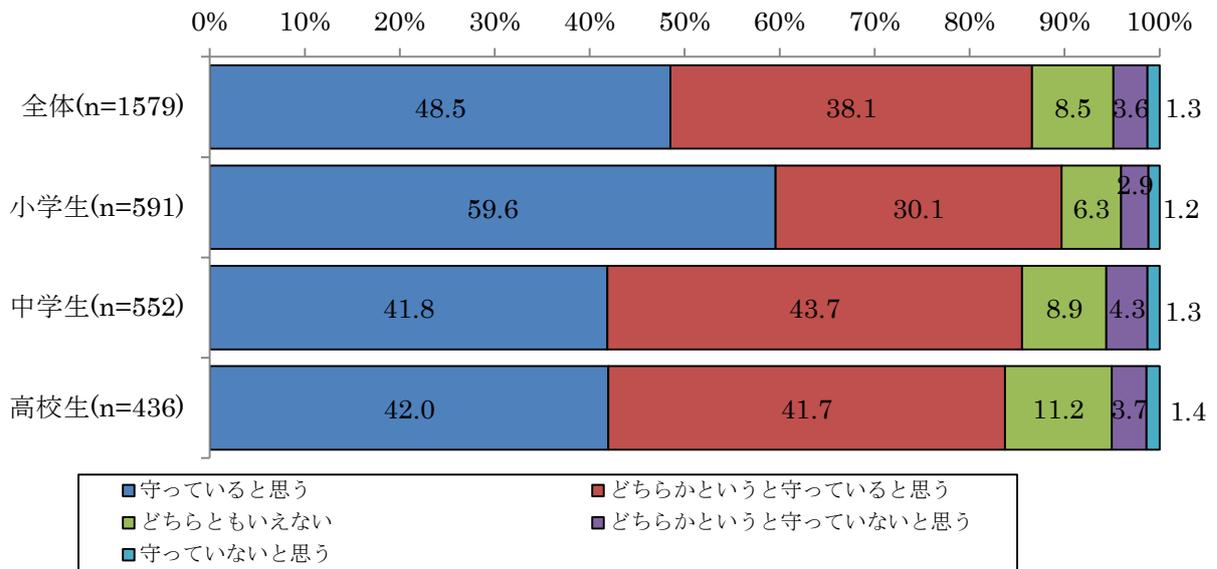
図表 3-38 保護者の性別によるインターネット利用に関する家庭内のルールの設定状況



(5) インターネット利用に関する家庭内のルールの遵守状況

インターネット利用に関する家庭でのルールの遵守状況について保護者に聞いたところ、小学生が最も高い評価となっているが、「守っている」「どちらかというを守っている」を合わせた数値は、小学生で89.7%、中学生で85.5%、高校生が83.7%と、いずれも高くなっている。

図表 3-39 インターネット利用に関する家庭内のルールの遵守状況



(注) 集計対象は、家庭内のルールを設定している保護者

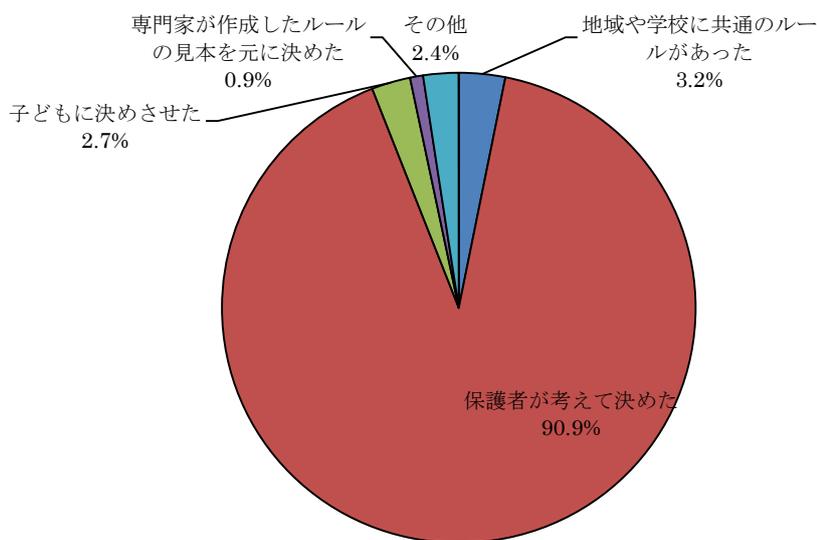
(6) インターネット利用に関する家庭内のルールの設定方法

青少年がインターネットを使うときのルールは、「保護者が考えて決めた」が90.9%となった。専門家が作成したルールの手本を元に決めたという回答が最も低く0.9%だった。

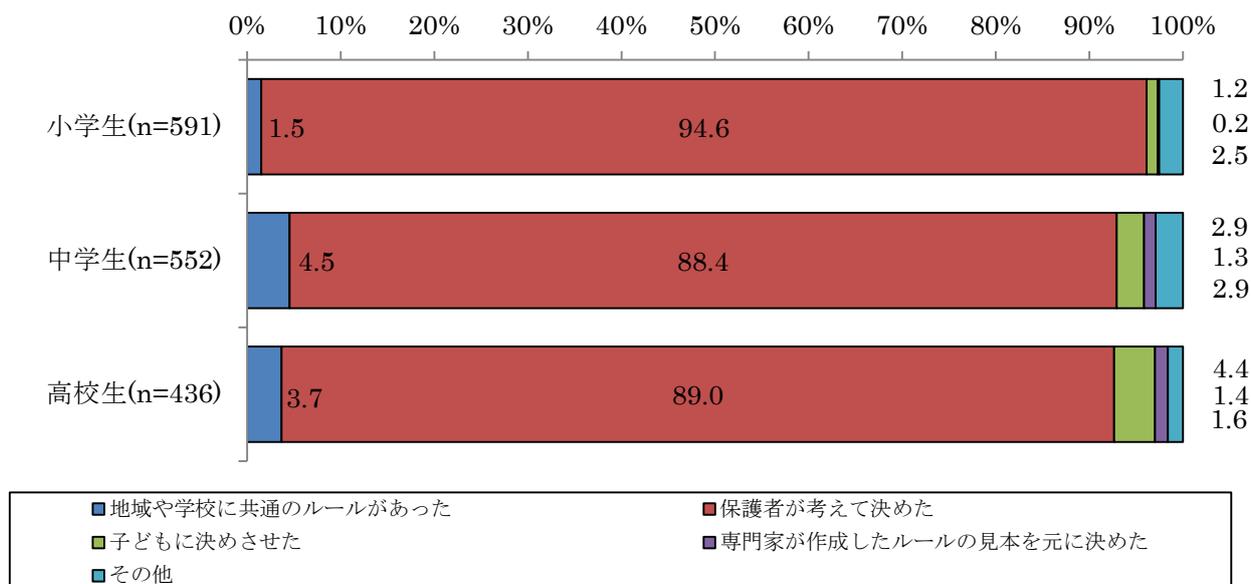
その他の内容としては、「自然と決まった」「話し合っで決めた」等の回答が見られた。

学校種別ごとにみると、学年があがるごとに「子どもに決めさせた」の割合が増加していたが、それ以外では大きな差異は見られなかった。

図表 3-40 インターネット利用に関する家庭内のルールの設定方法



図表 3-41 学校種別ごとのインターネット利用に関する家庭内のルールの設定方法

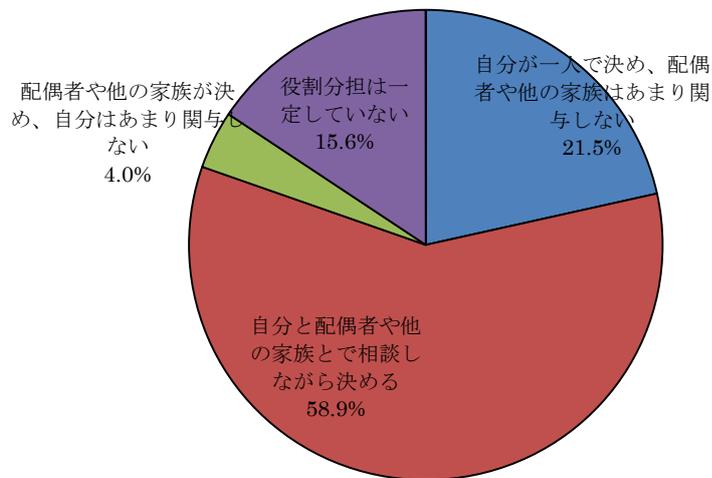


(7) インターネット利用に関する家庭内のルール作りの役割分担

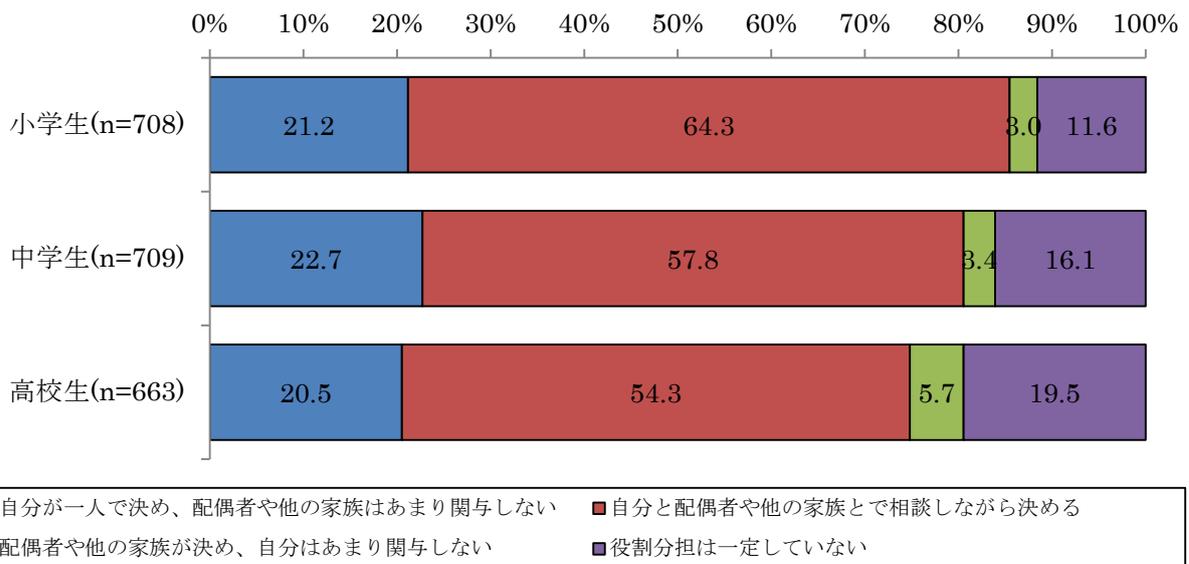
家庭内でのルール作りの役割分担については、「自分と配偶者やほかの家族とで相談しながら決める」が58.9%となった。

学校種別ごとにみると、学年があがるごとに「自分と配偶者やほかの家族とで相談しながら決める」の割合が低下する一方で、「配偶者やほかの家族が決め、自分はあまり関与しない」「役割分担は一定していない」の割合が増加している。

図表 3-42 インターネット利用に関する家庭内のルール作りの役割分担状況



図表 3-43 学校種別ごとのインターネット利用に関する家庭内のルール作りの役割分担状況

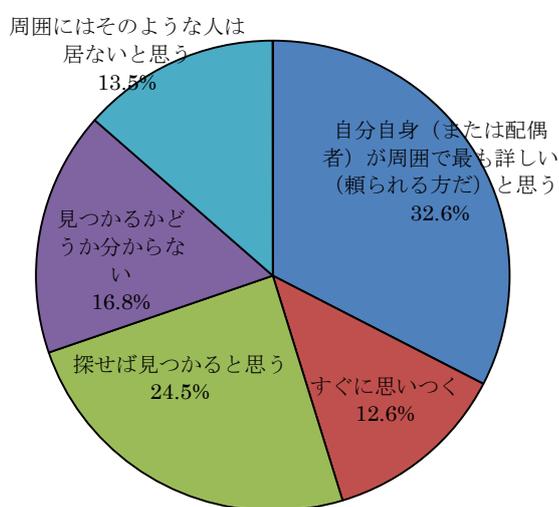


(8) インターネット利用に関して相談する人の存在

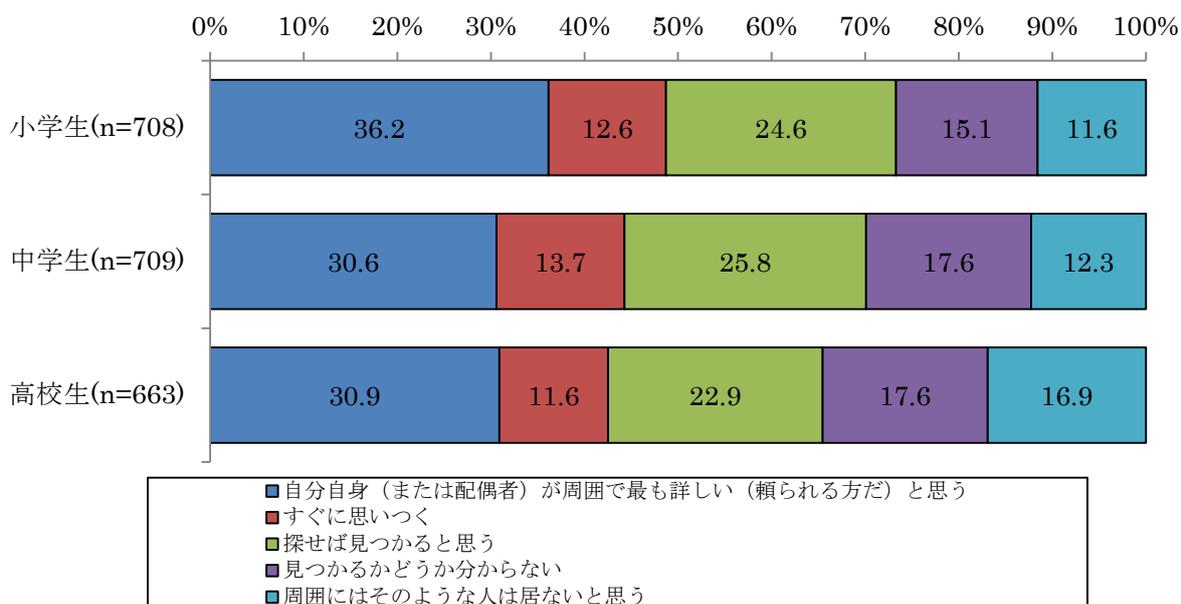
「自分自身(または配偶者)が周囲で最も詳しい」が 32.6%、「すぐに思いつく」が 12.6%であった。一方で、「探せば見つかると思う」(24.5%)、「見つかるかどうか分からない」(16.8%)、「周囲にはそのような人は居ないと思う」(13.5%)と回答しており、5割以上の保護者がすぐには詳しい人や頼れる人が思いつかないと回答している。

学校種別ごとにみると「自分自身が周囲で最も詳しいと思う」という回答がどの学校種別においても3割以上を占めている。その一方で、学年があがるごとに「周囲にはそのような人は居ないと思う」の割合が増加している。

図表 3-44 インターネット利用に関して相談する人の存在状況



図表 3-45 学校種別ごとのインターネット利用に関して相談する人の存在状況

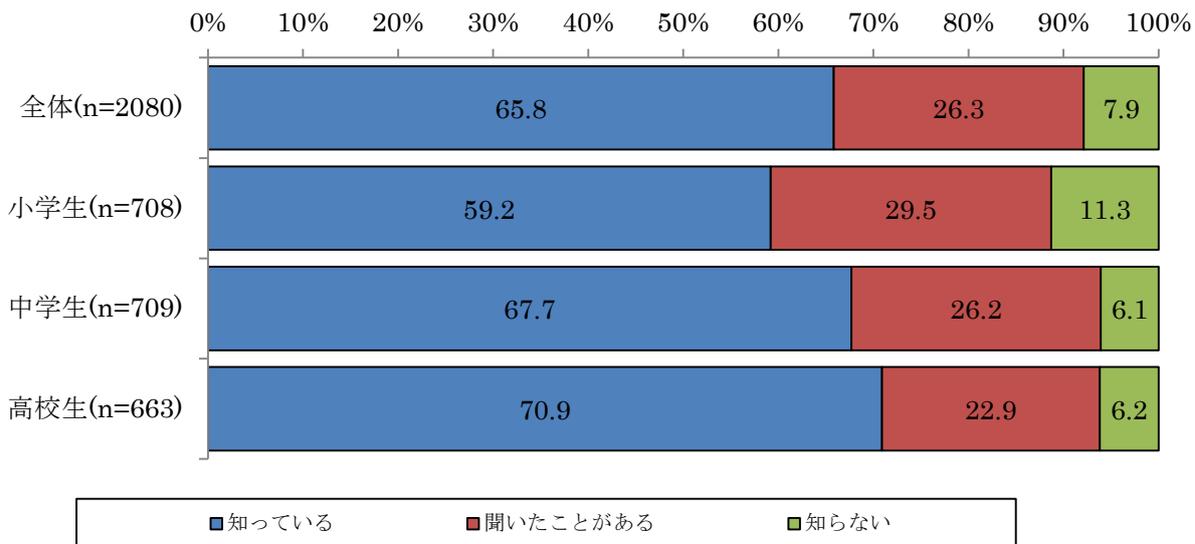


3-7 フィルタリングソフト

3-7-1 フィルタリングソフトの認知状況

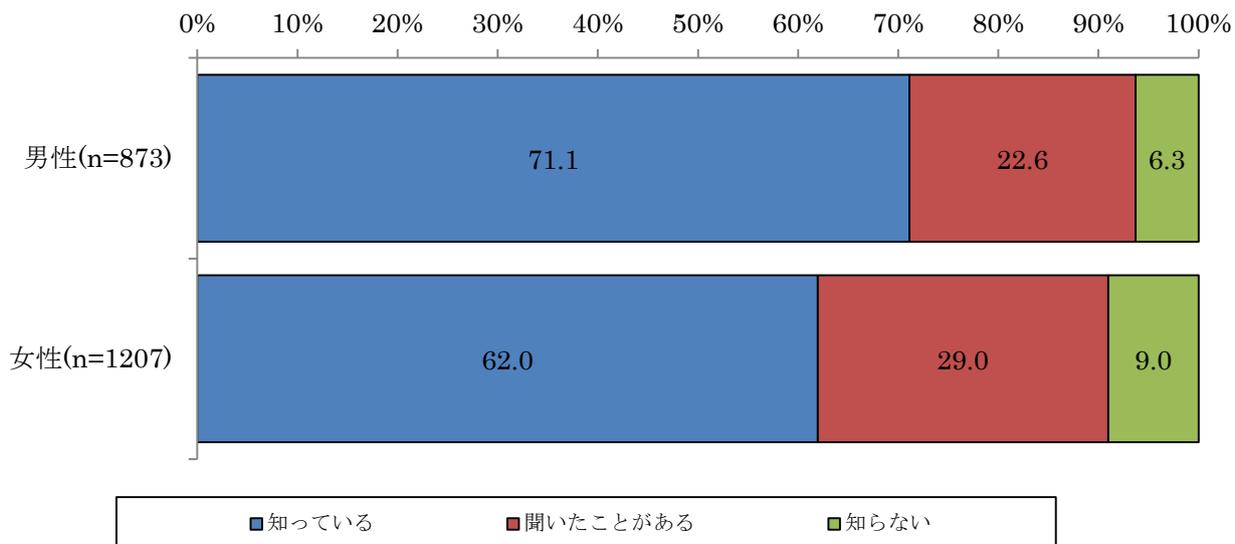
保護者のフィルタリングソフトの認知状況は 65.8%である。フィルタリングソフトを知らないという保護者は 7.9%に留まる。青少年の学校種別にみると、高校生の保護者の認知度が最も高く 70.9%となっている。

図表 3-46 フィルタリングソフトの認知状況



保護者の性別でみると、男性の保護者の認知度が 71.1%であるのに対し、女性の保護者の認知度は 62.0%に留まっている。

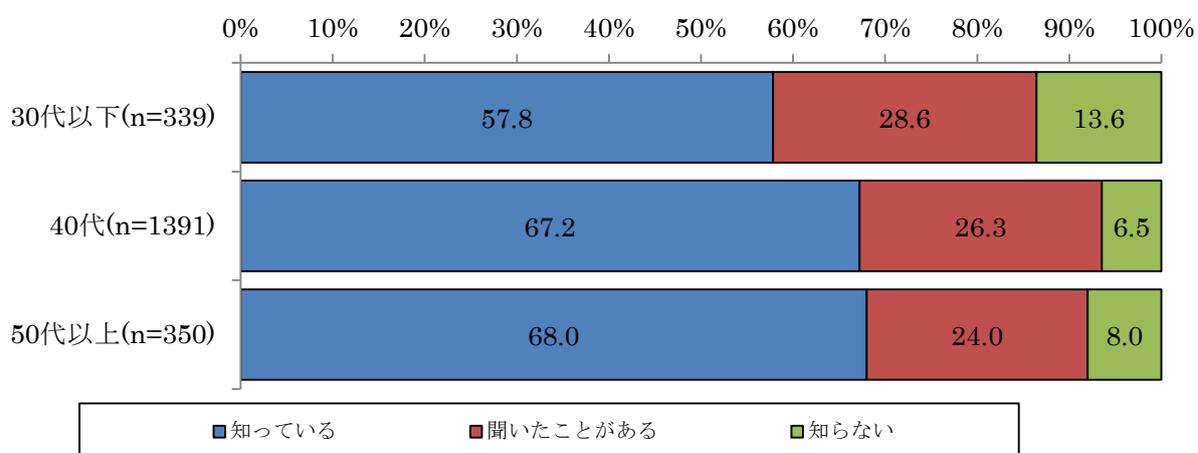
図表 3-47 保護者の性別によるフィルタリングソフトの認知状況



保護者の年代別にみると、年代が高くなるほど認知度は高い。30代以下の保護者の認知度が

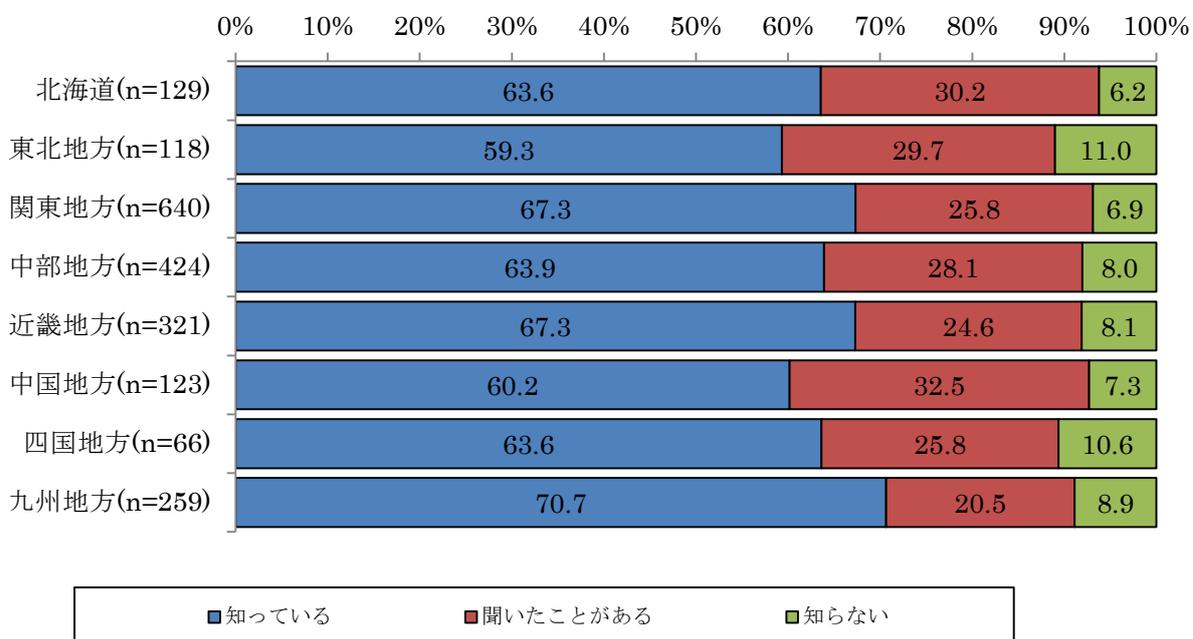
57.8%に留まっているのに対し、40代では67.2%、50代では68.0%となっている。

図表 3-48 保護者の年代別によるフィルタリングソフトの認知状況



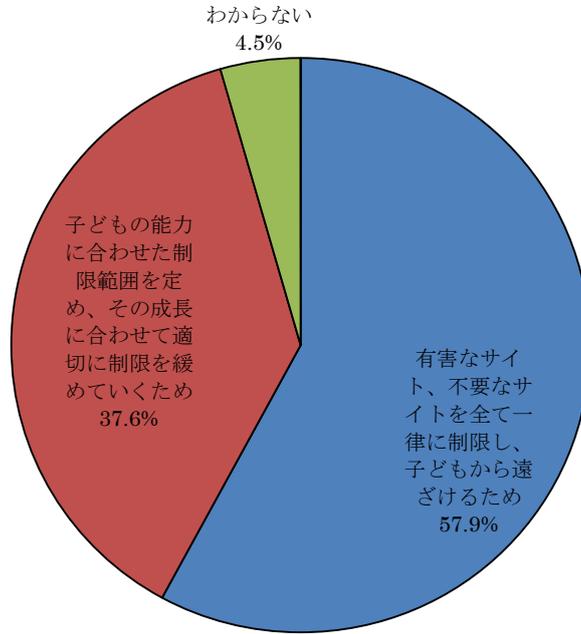
保護者の居住地域別にみると、関東・近畿・九州地方での認知度が他の地域よりも若干、高めとなっている。

図表 3-49 保護者の居住地域別によるフィルタリングソフトの認知状況



フィルタリングの利用目的について調査をしたところ、「有害なサイト、不要なサイトを全て一律に制限し、子どもから遠ざけるため」という回答が6割近くだった。

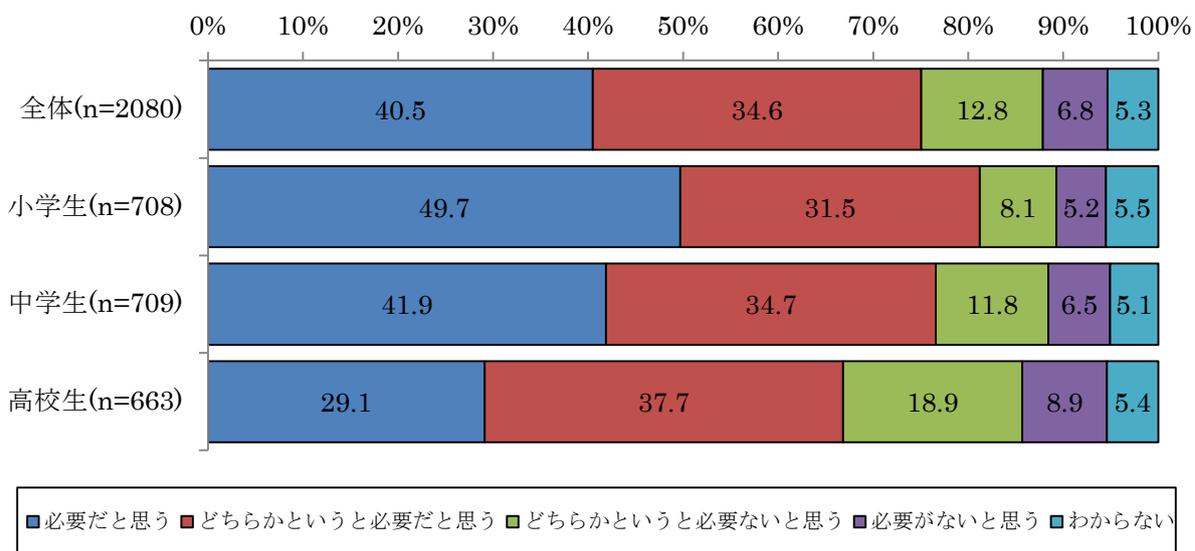
図表 3-50 フィルタリングの利用目的



3-7-2 フィルタリングソフトの必要性に関する認識

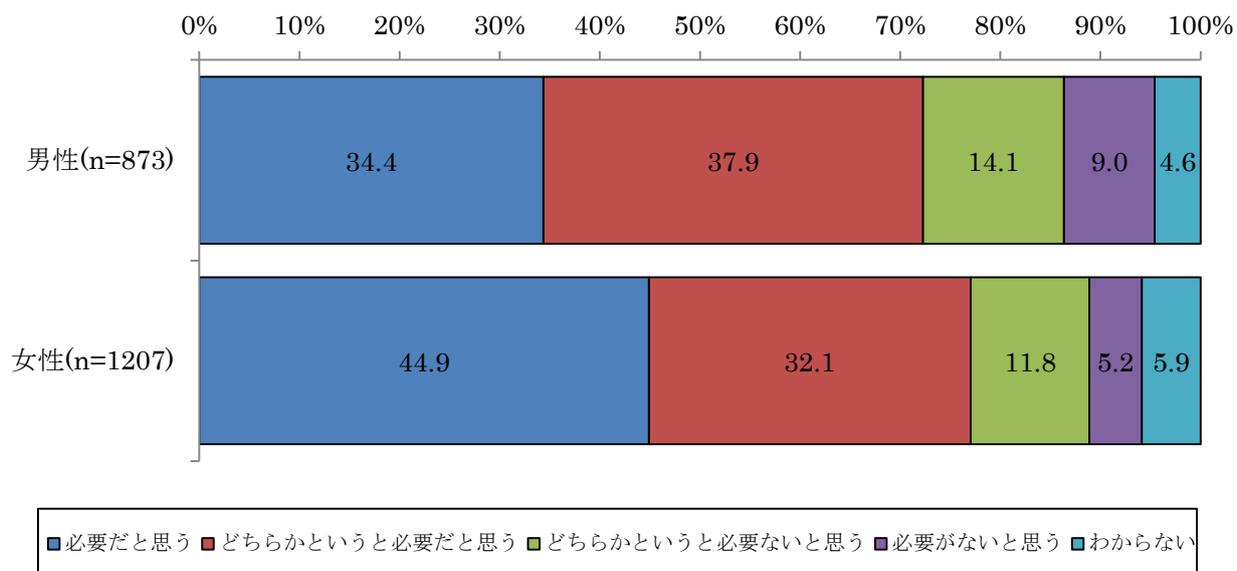
保護者の 40.5%が、フィルタリングソフトが「必要」と回答し、「どちらかという必要」を加えると 75.1%が必要と考えている。小学生の保護者ほど、フィルタリングソフトを必要であると回答する傾向が高い。

図表 3-51 フィルタリングソフトの必要性に関する認識



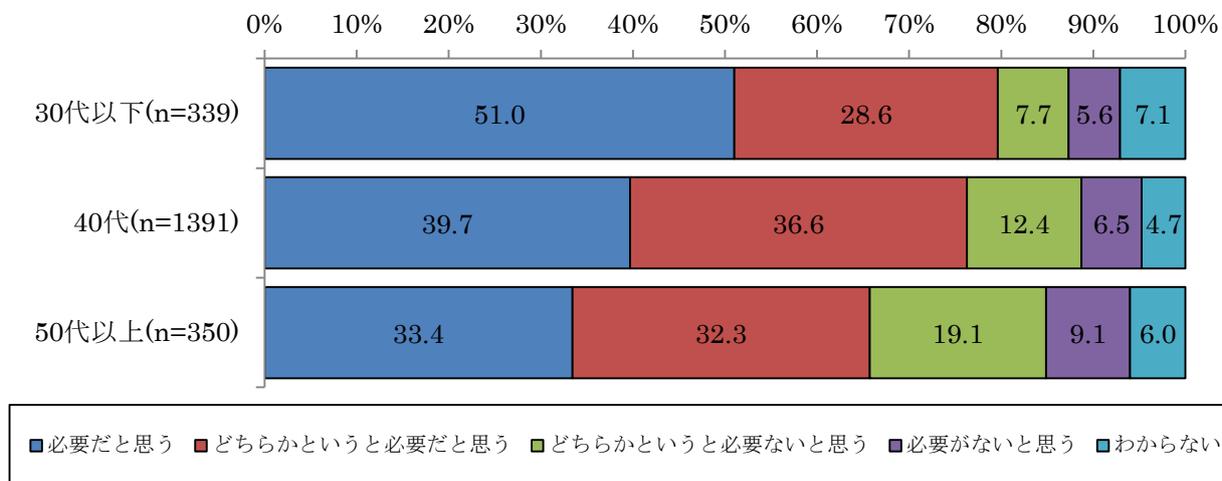
フィルタリングソフトの認知度は、女性の保護者の方が低くなっていたのに対し、フィルタリングソフトの必要性は、女性の保護者の方が男性の保護者よりも高くなっている。

図表 3-52 保護者の性別によるフィルタリングソフトの必要性に関する認識



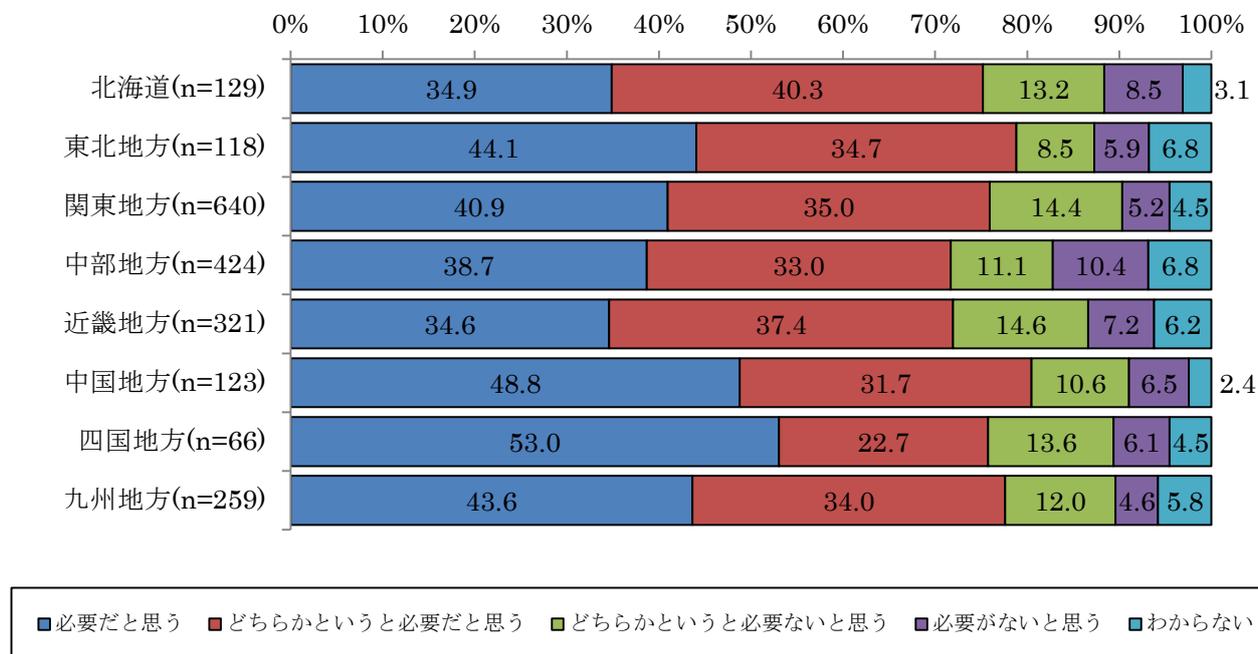
保護者の年代別にみると、年代が低いほど必要とする者が多い。年代の低い保護者の方が子供の年齢も低いことが多いことが影響しているものと考えられる。

図表 3-53 保護者の年代別によるフィルタリングソフトの必要性に関する認識



保護者の居住地域別による差はあまり大きくないが「必要」「どちらかという必要」と回答した者の比率は、中部、近畿が70%程度となり、他の地域と比較すると、若干低くなっている。

図表 3-54 保護者の居住地域別によるフィルタリングソフトの必要性に関する認識

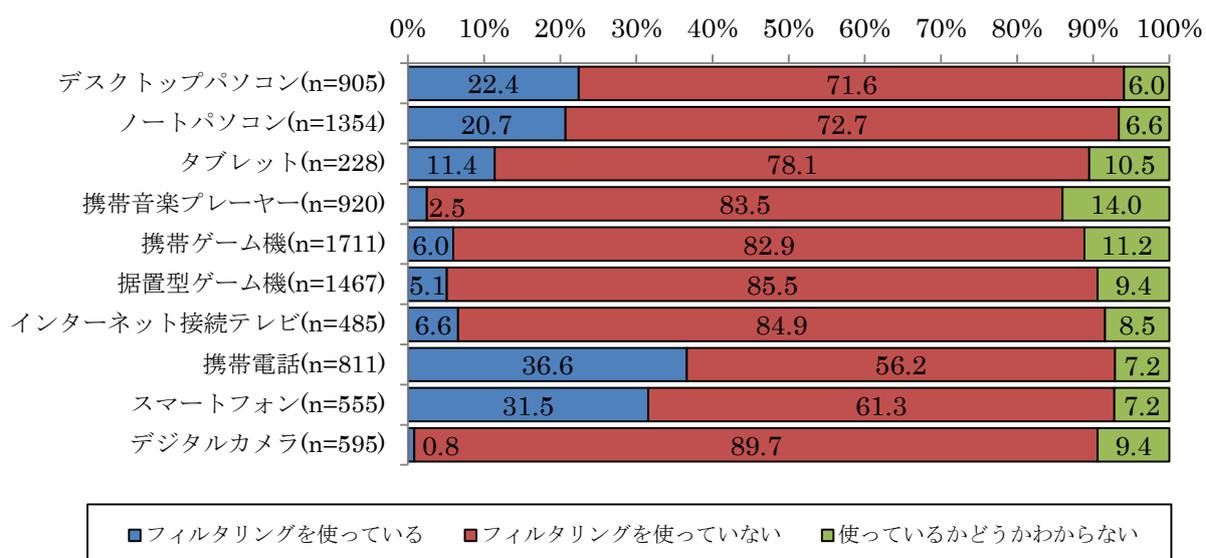


3-7-3 フィルタリングソフトの利用状況

(1) フィルタリングソフトの利用率

フィルタリングソフトについて「知っている」「聞いたことがある」と回答した保護者に、青少年がインターネットの利用している機器にフィルタリングソフトを利用しているかどうかを調査したところ、利用率は携帯電話が36.6%、スマートフォンが31.5%、デスクトップパソコンが22.4%、ノートパソコンが20.7%となっている。

図表 3-55 機器ごとのフィルタリングソフトの利用状況

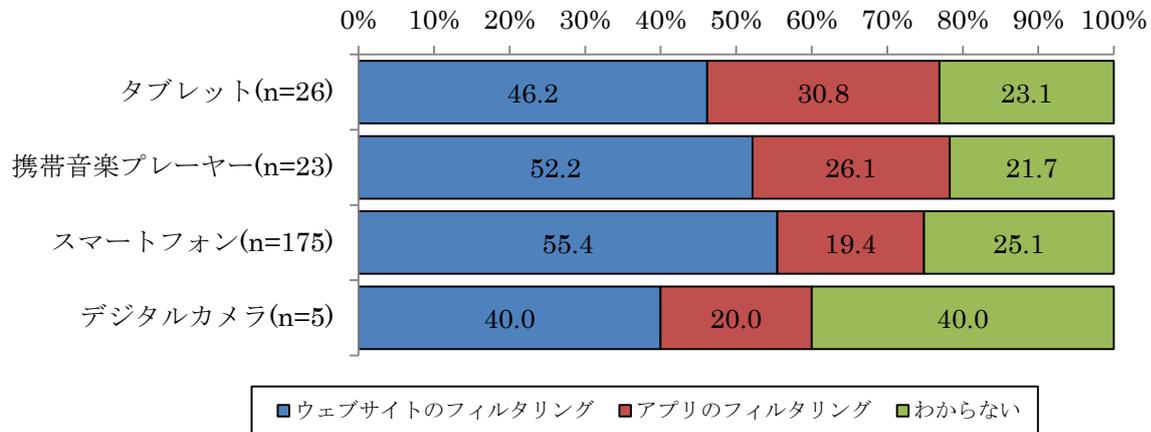


図表 3-56 機器ごとのフィルタリングソフトの利用率

	全体	小学生	中学生	高校生
デスクトップパソコン	22.4	18.6	30.1	18.0
ノートパソコン	20.7	19.5	21.7	20.7
タブレット	11.4	13.8	14.0	4.8
携帯音楽プレーヤー	2.5	3.9	3.5	1.0
携帯ゲーム機	6.0	10.4	5.0	2.1
据置型ゲーム機	5.1	8.0	4.7	2.4
インターネット接続テレビ	6.6	11.0	5.7	3.0
携帯電話	36.6	28.8	38.3	40.6
スマートフォン	31.5	12.0	37.9	33.2
デジタルカメラ	0.8	1.4	0.5	0.8

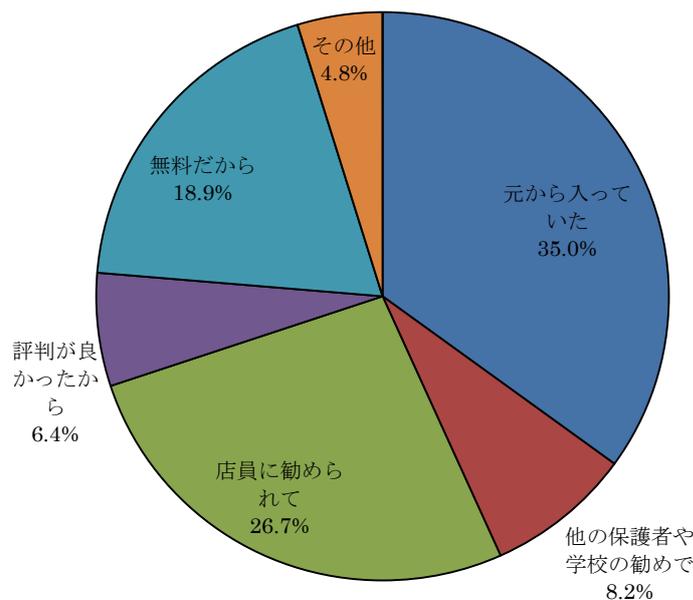
利用しているフィルタリングの種類がウェブサイトのフィルタリングか、アプリフィルタリングか調査したところ、ウェブサイトのフィルタリングが、タブレットでは46.2%、携帯音楽プレーヤーでは52.2%、スマートフォンでは55.4%、デジタルカメラでは40.0%となった。

図表 3-57 機器ごとのフィルタリングソフトの種類



使用しているフィルタリングを選んだ理由は「元から入っていた」が35.0%と最も多く、次いで販売店の「店員に進められて」(26.7%)、「無料だから」(18.9%)、となった。「その他」としては、「配偶者が選んだので詳細な理由までは把握していない」という回答が目立った。また、「購入したセキュリティ(ウイルス駆除)ソフトに付属していた」という回答も見られた。

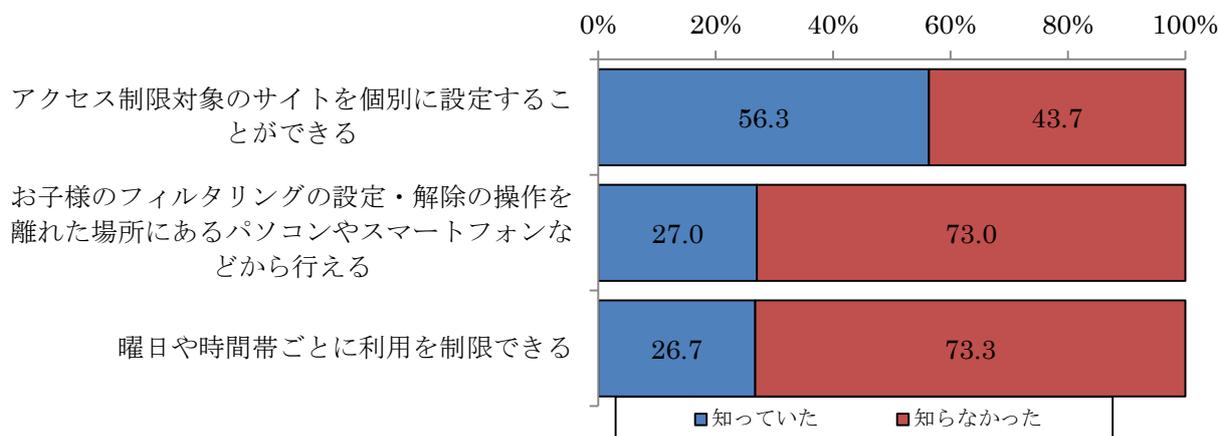
図表 3-58 使用しているフィルタリングソフトを選んだ理由(n=774)



(注) 集計対象は、フィルタリングを使用している保護者

フィルタリングの機能に関する認知状況について確認したところ、アクセス制限対象のサイトを個別に設定することができるということを知っていた保護者は56.3%だったが、フィルタリングの操作をパソコン等から行えることや、曜日や時間帯ごとに利用を制限できるということを知っていたと答えた保護者は3割に満たなかった。

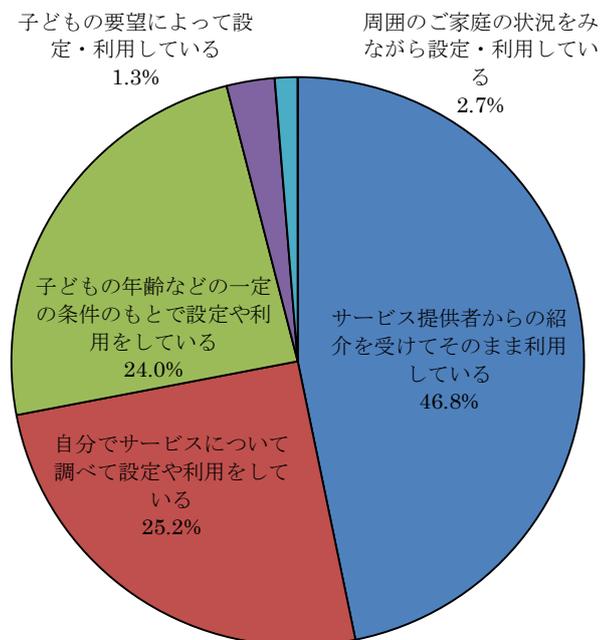
図表 3-59 フィルタリングの機能に関する認知状況 (n=1916)



(注) 集計対象は、フィルタリングについて「知っている」「聞いたことがある」と回答した保護者

フィルタリングの設定条件について調査したところ、「サービス提供者からの紹介を受けてそのまま利用している」が最も多く、46.8%であった。

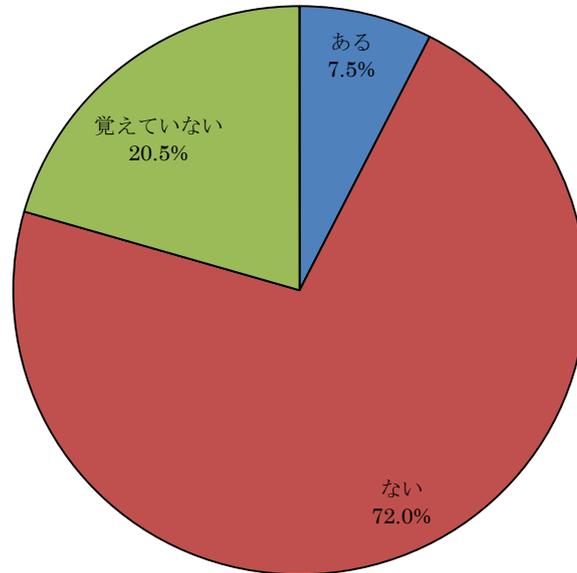
図表 3-60 フィルタリングの設定状況 (n=774)



(注) 集計対象は、フィルタリングを使用している保護者

現在使用しているもののほかに検討したフィルタリングがあるか調査したところ、「ない」が72.0%、「覚えていない」が20.5%、「ある」が7.5%であった。

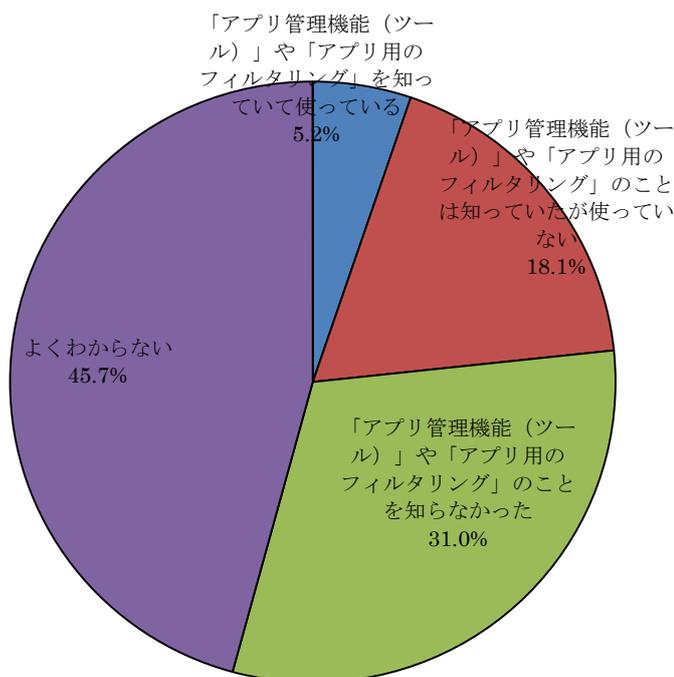
図表 3-61 現在使用しているもの以外に検討したフィルタリングの有無(n=774)



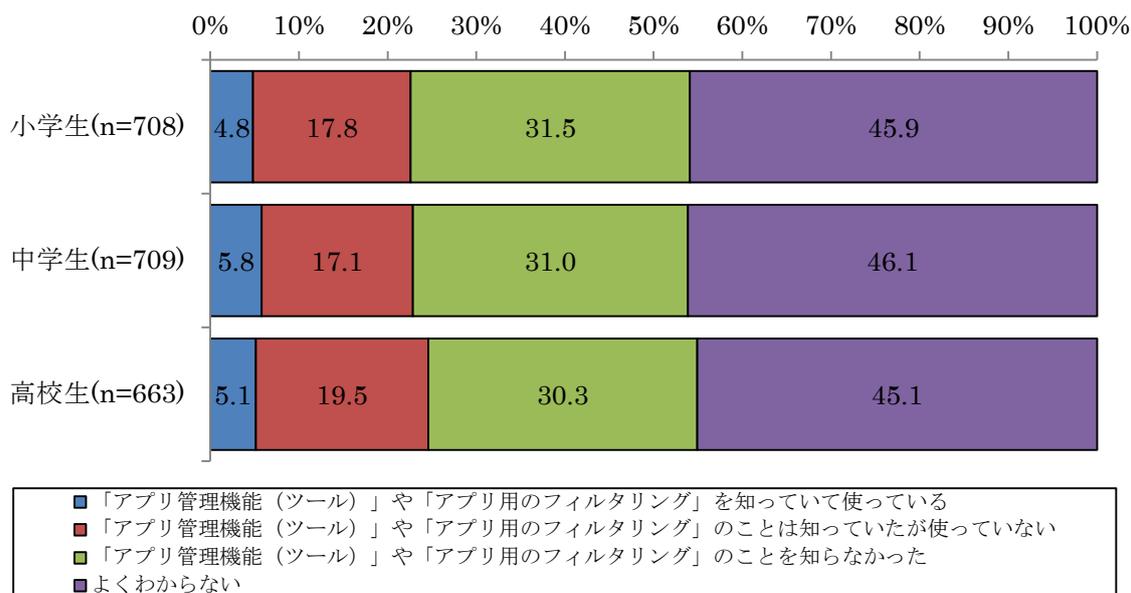
(注)集計対象は、フィルタリングを使用している保護者

ウェブサイト用のフィルタリングを使っている場合でも、スマートフォンやタブレット(スレートパソコン)、一部の携帯音楽プレーヤーでは、アプリのダウンロードや起動を制限するための管理機能としての「アプリ管理機能(ツール)」や「アプリ用のフィルタリング」を併用しなければ、不適切なサイトやサービスが制限できない場合があることについて認知状況を調査したところ、「よくわからない」45.7%と最も多かった。学校種別ごとにみても認知状況に差異はほとんど見られなかった。

図表 3-62 アプリ管理機能等の併用に関する認知状況(n=2080)



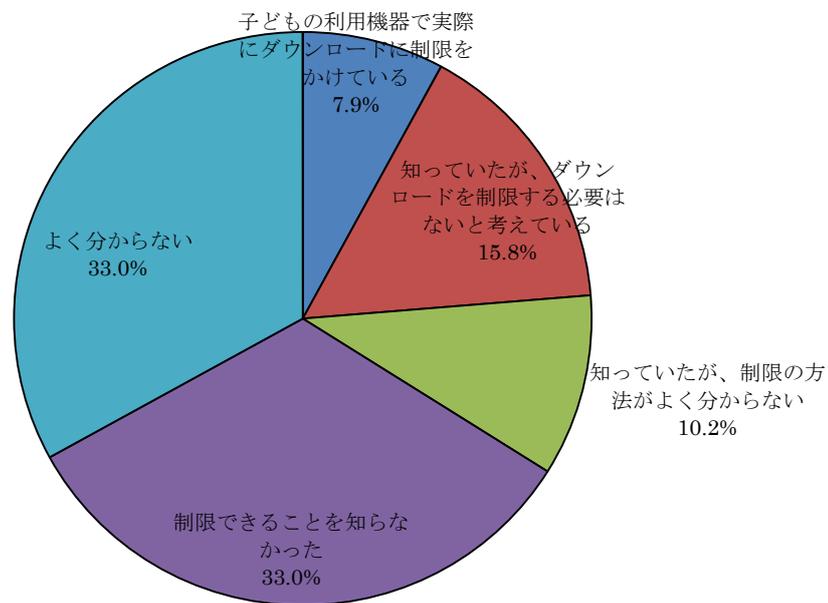
図表 3-63 アプリ管理機能等の併用に関する認知状況(学校種別)



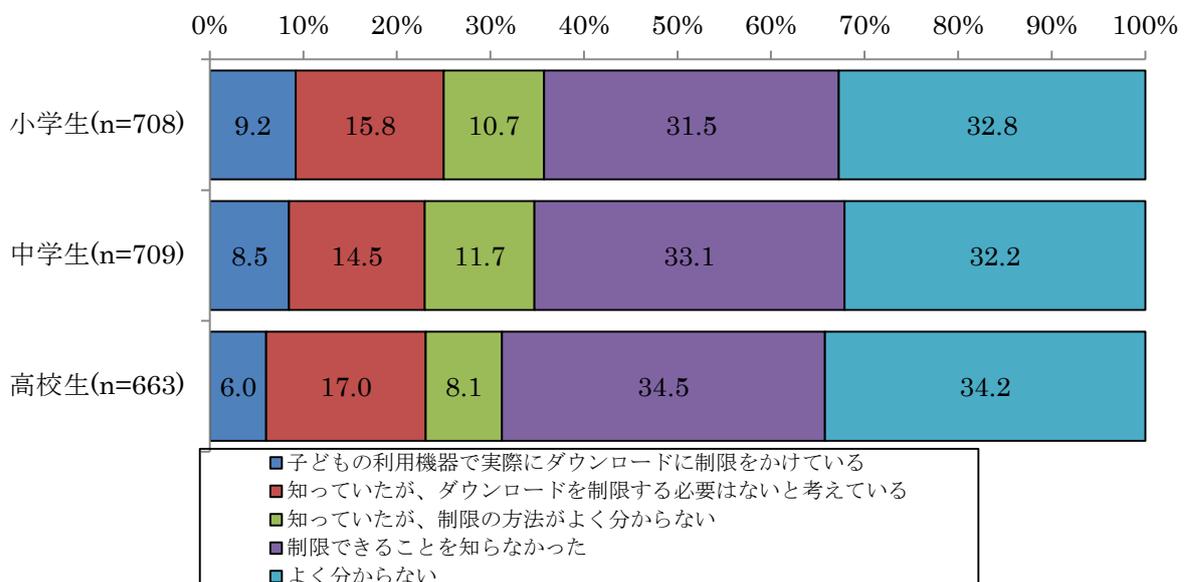
スマートフォンやタブレット、一部の携帯音楽プレーヤーでは、公式マーケット上で提供される全てのアプリに開発者による自己評価情報が付与されており、利用者の年齢や成熟度に合わせて、アプリのダウンロードを制限することができることを知っているかどうか調査したところ、「制限できることを知らなかった」「よく分からない」が共に3割程度だった。一方で、「知っていたが、制限の方法がよく分からない」が10.2%だった。

学校種別ごとにみると小学生と中学生の保護者では検出傾向にほとんど差異は見られなかった。高校生の保護者においては「ダウンロードに制限をかけている」「制限の方法がよくわからない」の割合が減少し、「ダウンロードを制限する必要はないと考えている」の割合が増加した。

図表 3-64 アプリのダウンロード制限に関する認知状況



図表 3-65 アプリのダウンロード制限に関する認知状況(学校種別)

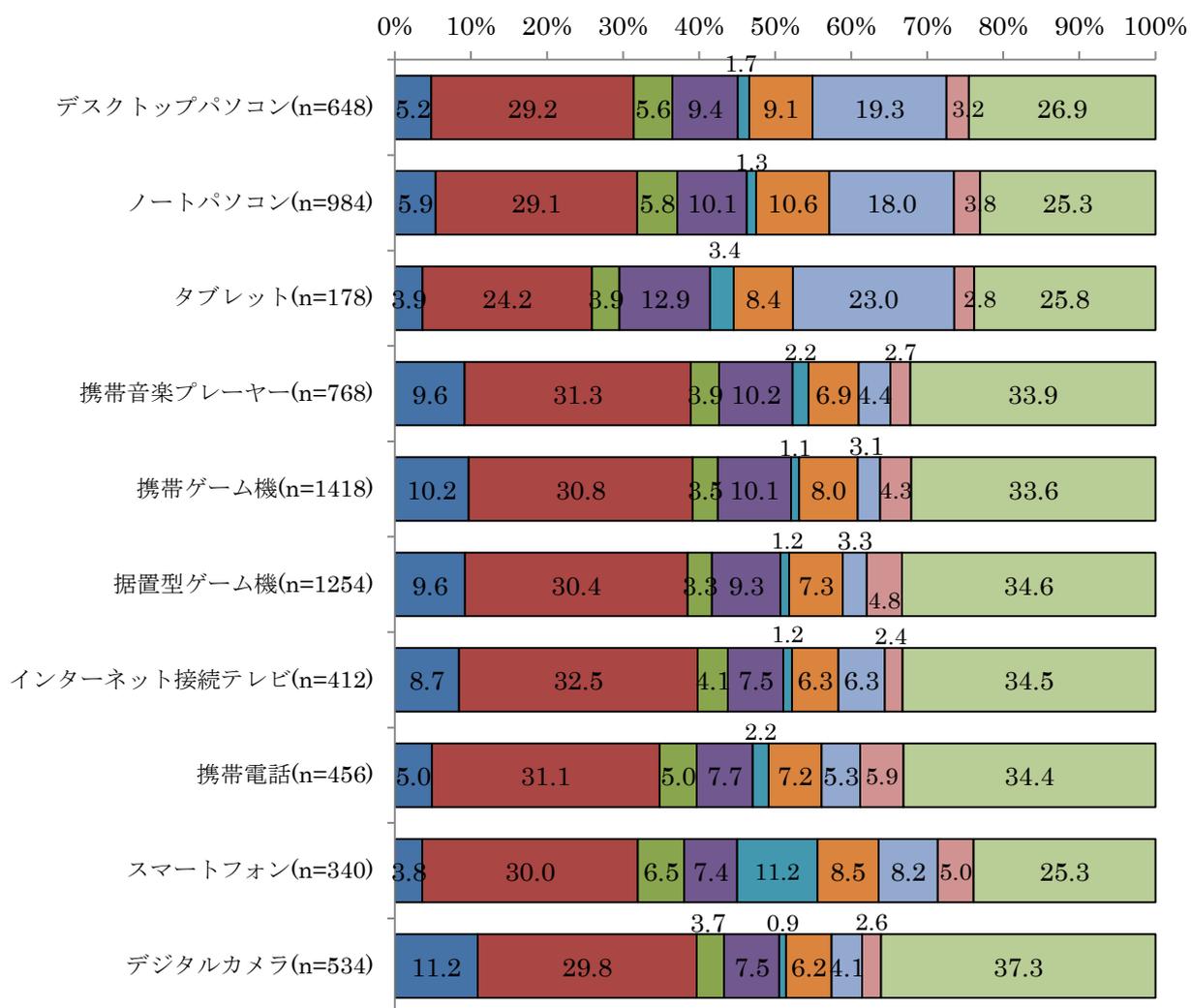


(2) フィルタリングソフトを利用していない理由

フィルタリングを利用していない理由としては、特にデスクトップパソコン、ノートパソコン、タブレットにおいて、「自分が利用するときに不便になると思うため」という回答割合が2割前後だった。スマートフォンにおいては、他の機器よりも「フィルタリングの利用を子どもが嫌がるため」という回答割合が11.2%と目立っていた。

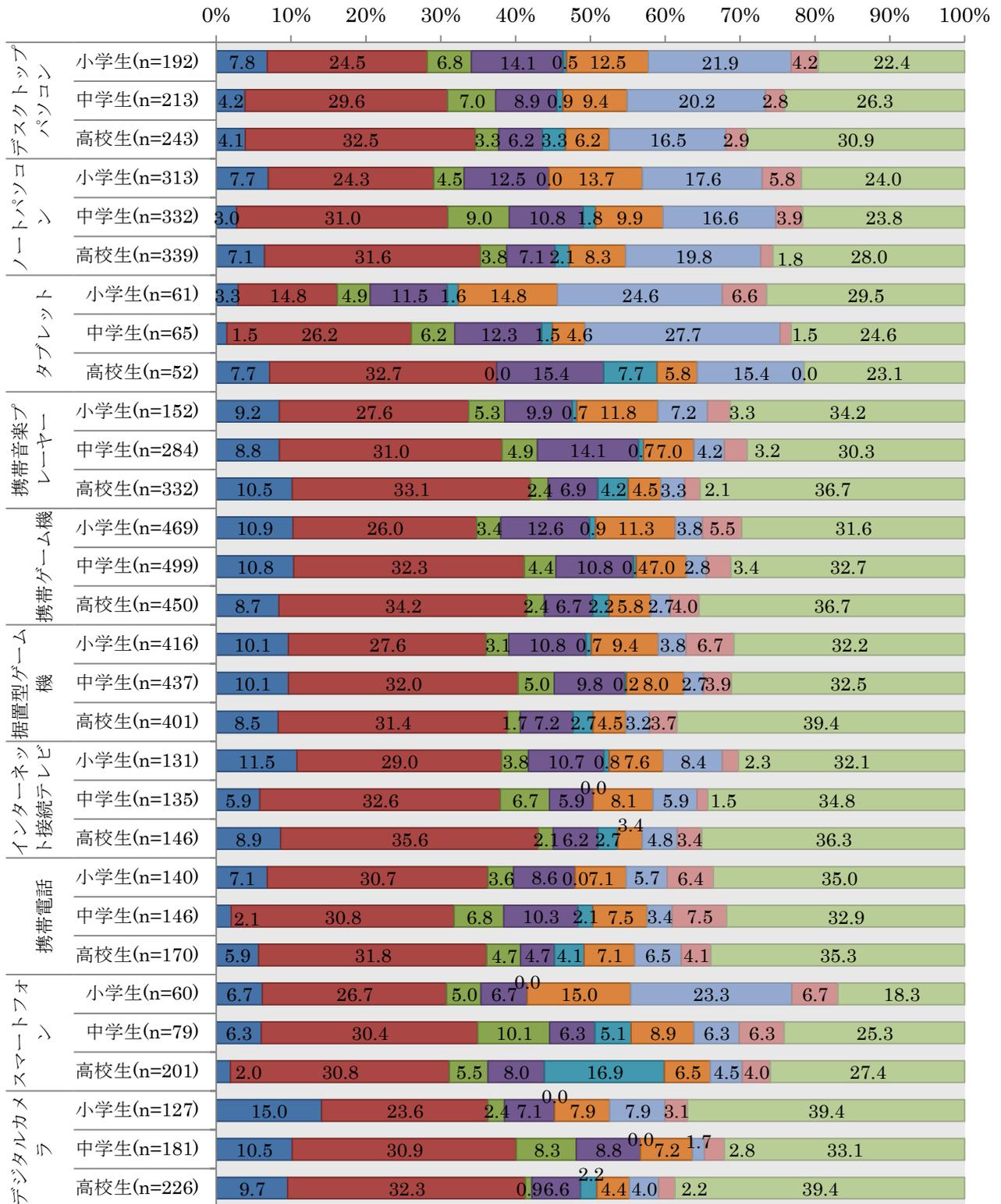
青少年の学校種別にもみても全体的な傾向にあまり違いはないが、小学生の保護者は「フィルタリングソフトの利用の仕方がわからないため」「どのフィルタリングソフトを利用したらよいかわからないため」を理由として挙げている比率が、他よりも高くなっている。

図表 3-66 機器ごとのフィルタリングソフトを利用していない理由



- フィルタリングについて知らなかった
- フィルタリングの利用の必要性を感じないため
- フィルタリングの利用にお金がかかるため
- フィルタリングの利用の仕方がわからないため
- フィルタリングの利用を子どもが嫌がるため
- どのフィルタリングを利用したらよいかわからないため
- 自分が利用するときに不便になると思うため
- その他
- 特に理由はない

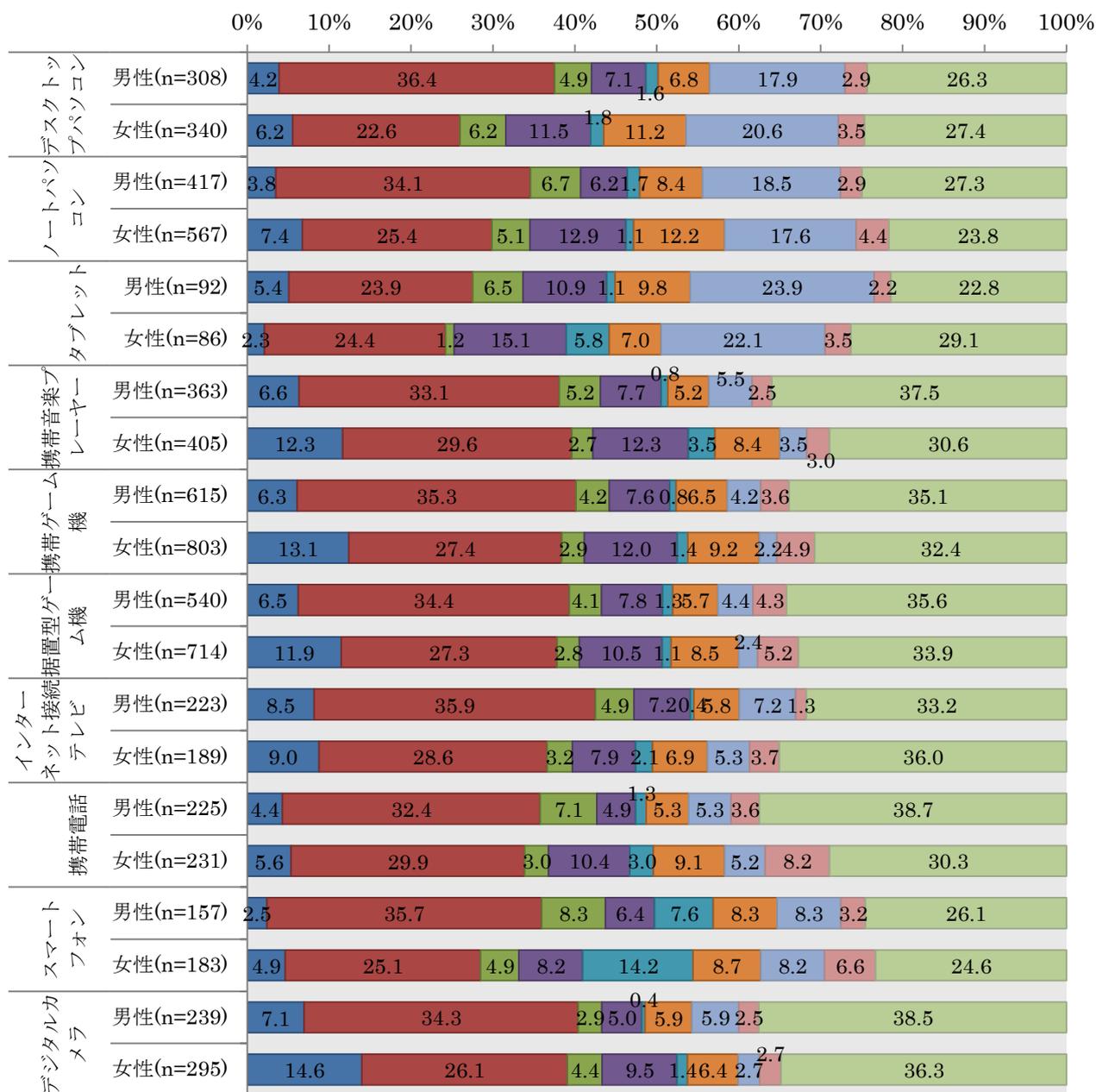
図表 3-67 機器と学校種別ごとのフィルタリングソフトを利用していない理由



- フィルタリングについて知らなかった
- フィルタリングの利用の必要性を感じないため
- フィルタリングの利用にお金がかかるため
- フィルタリングの利用の仕方がわからないため
- フィルタリングの利用を子どもが嫌がるため
- どのフィルタリングを利用したらよいかわからないため
- 自分が利用するときには不便になると思うため
- その他
- 特に理由はない

女性の保護者では「フィルタリングソフトの利用の仕方がわからない」「どのフィルタリングソフトを利用したらよいかわからない」「フィルタリングソフトについて知らなかった」といった回答が男性の保護者よりも多くなっており、フィルタリングソフトの利用には前向きなものの情報不足等によって利用できていない状況がうかがえる。一方、男性の保護者では「自分が利用するときに不便になると思うため」「フィルタリングソフトの利用にお金がかかるため」「特に理由はない」が女性よりも多い傾向がある。

図表 3-68 機器と性別ごとのフィルタリングソフトを利用していない理由



- フィルタリングについて知らなかった
- フィルタリングの利用の必要性を感じないため
- フィルタリングの利用にお金がかかるため
- フィルタリングの利用の仕方がわからないため
- フィルタリングの利用を子どもが嫌がるため
- どのフィルタリングを利用したらよいかわからないため
- 自分が利用するときに不便になると思うため
- その他
- 特に理由はない

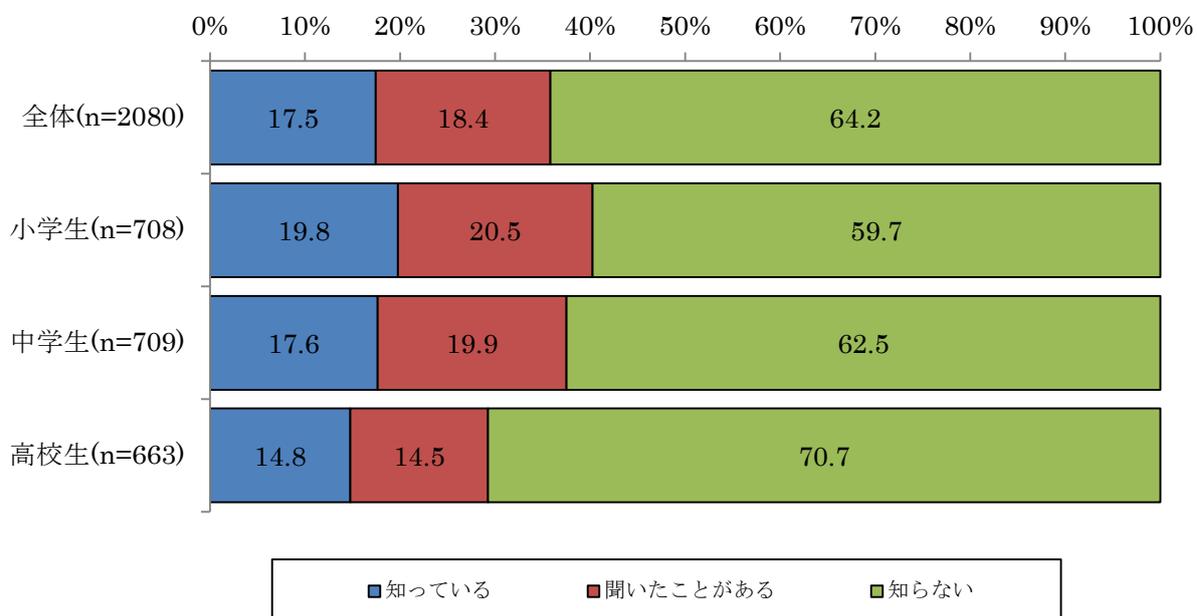
3-8 ペアレンタルコントロール

3-8-1 ペアレンタルコントロールの認知状況

ペアレンタルコントロールの認知状況について調査したところ、「知っている」(17.5%)、「聞いたことがある」(18.4%)、「知らない」(64.2%)となり、6割以上の保護者がペアレンタルコントロールを知らないと回答した。

小学生の保護者は「知っている」「聞いたことがある」の割合が最も高く40.3%だった。それに対して中学生の保護者は「知っている」「聞いたことがある」の割合が37.5%、高校生の保護者は29.3%となっており、年齢があがるごとに認知状況が低くなる傾向がある。

図表 3-69 ペアレンタルコントロールの認知状況

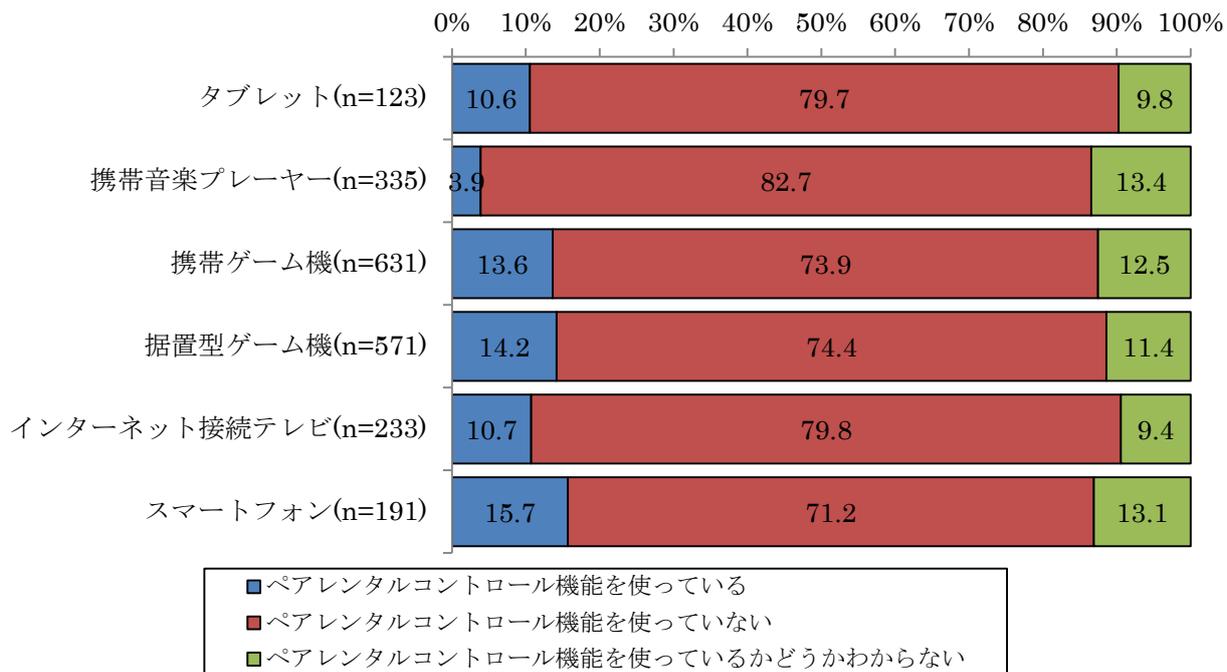


3-8-2 ペアレンタルコントロールの利用状況

ペアレンタルコントロール機能を利用しているか調査したところ、全ての機器について、「使っていない」との回答が7~8割であった。

スマートフォンで使っているという割合が最も高く15.7%だった。最も割合が低かったのは携帯音楽プレーヤーで3.9%だった。

図表 3-70 機器ごとのペアレンタルコントロールの利用状況

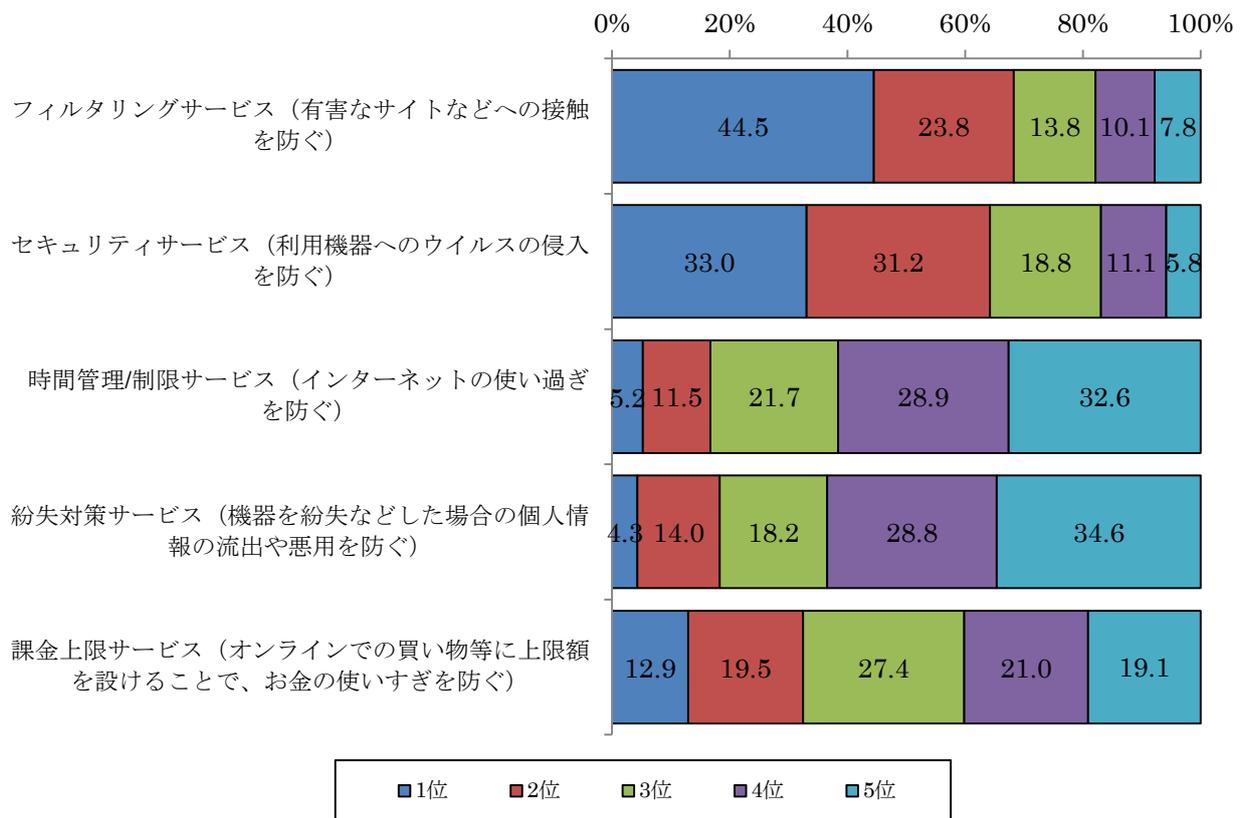


3-9 保護者の認識確認

3-9-1 安心安全利用のために必要だと考えるサービスの優先度

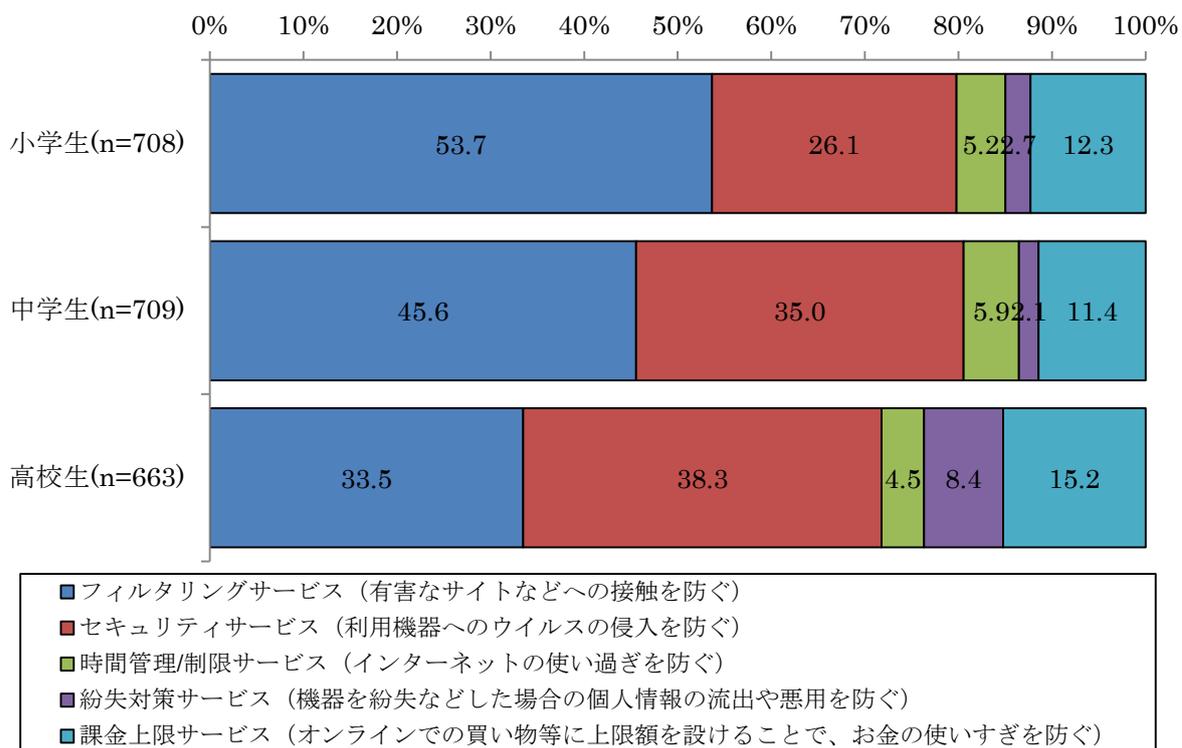
お子様にインターネットを安心して安全に使わせるために、必要と思うサービスの優先度について調査したところ、フィルタリングサービスが最も多く、ついで、ウイルス対策などのセキュリティサービスが多い結果となった。

図表 3-71 必要だと思うサービスの優先度



それぞれのサービスについて、優先度が1位であった回答を学校種別に見たところ、フィルタリングサービスの優先度を1位にした保護者は小学生が最も多く、年齢が上がるに従って減少していく傾向が見られた。逆に、セキュリティサービスについては、年齢が上がるに従って優先度が高くなっている様子が見られた。

図表 3-72 学校種別ごとの必要だと思うサービスの優先度(優先度1位のみ)

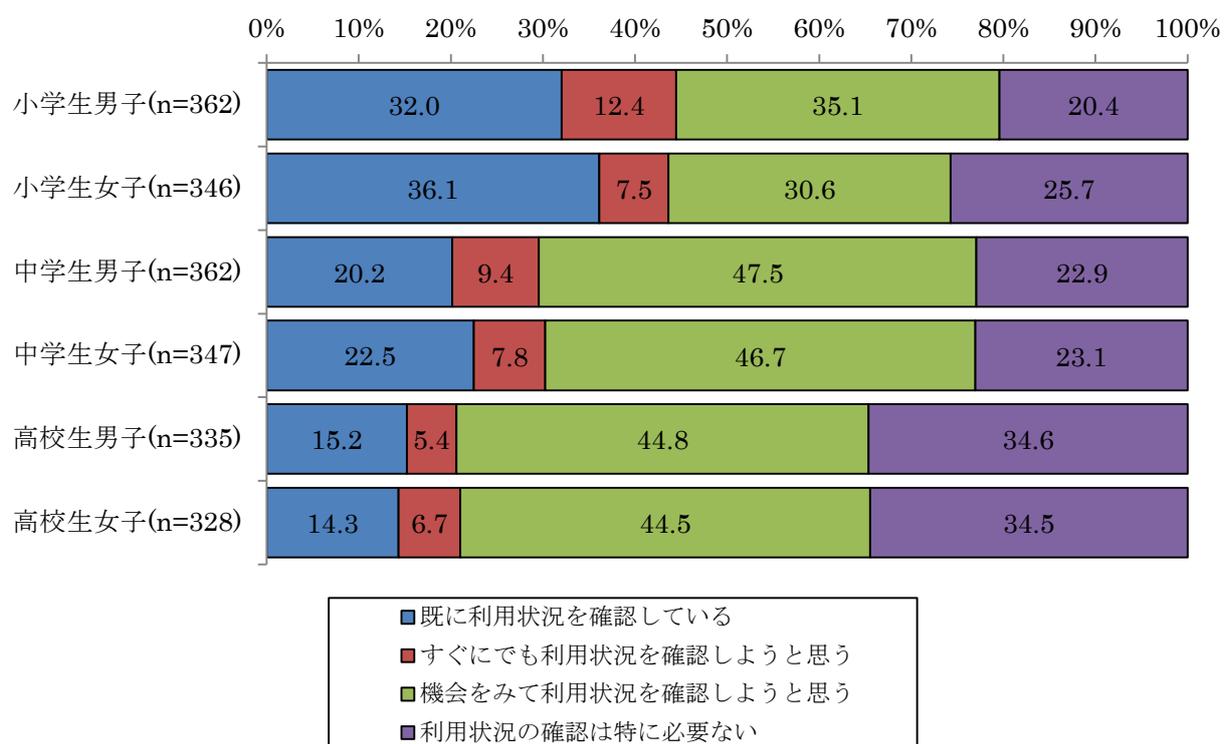


3-9-2 子どものインターネット利用状況の確認の必要性

子供のインターネット利用状況について、確認しようと思うかどうかについて調査したところ、小学生の保護者では男女共に「既に確認している」が30%を超えていた。また、年齢が上がるに従って減少し、高校生の保護者では、男女共に15%程度であった。逆に、「確認は必要ない」とする回答は高校生の保護者が最も多く、30%以上を占める結果となった。

また、「機会をみて確認しようと思う」とする回答は、全体的に高い比率を占めているが、特に中高生の保護者が高く、共に45%程度を占める結果となった。

図表 3-73 学校種別と性別ごとのインターネットの利用状況の確認意思

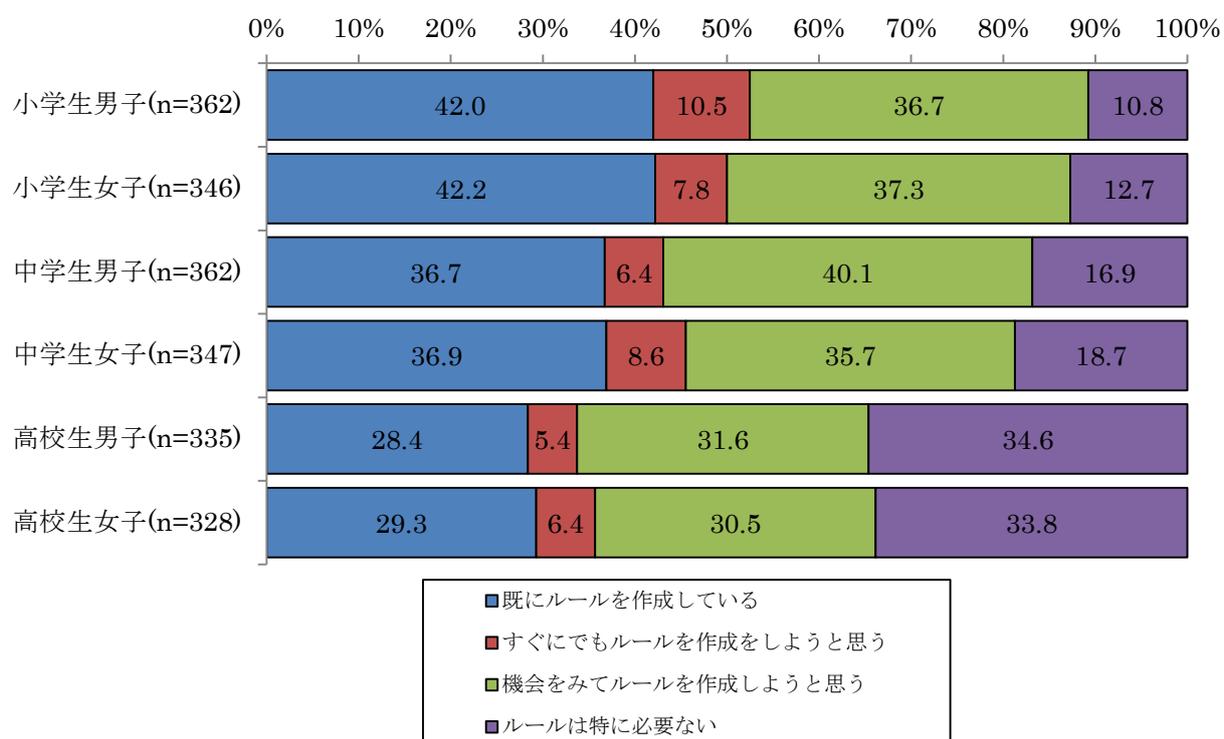


3-9-3 インターネット利用に関するルール作成の必要性

家庭内で子供のインターネット利用に関するルールを作成しようと思うかどうかについて調査したところ、利用状況の確認と同様、「既にルールを作成している」とする回答は、小学生の保護者が最も多く、40%以上を占める結果となった。逆に、「ルールは必要ない」とする回答は、高校生の保護者が最も多く、30%以上を占めた。

また、「機会をみて作成しようと思う」とする保護者も、年齢が上がるに従って占める割合が低くなる傾向が見られたが、中学生男子の保護者のみ、40.1%と最も高い割合を占めていた。

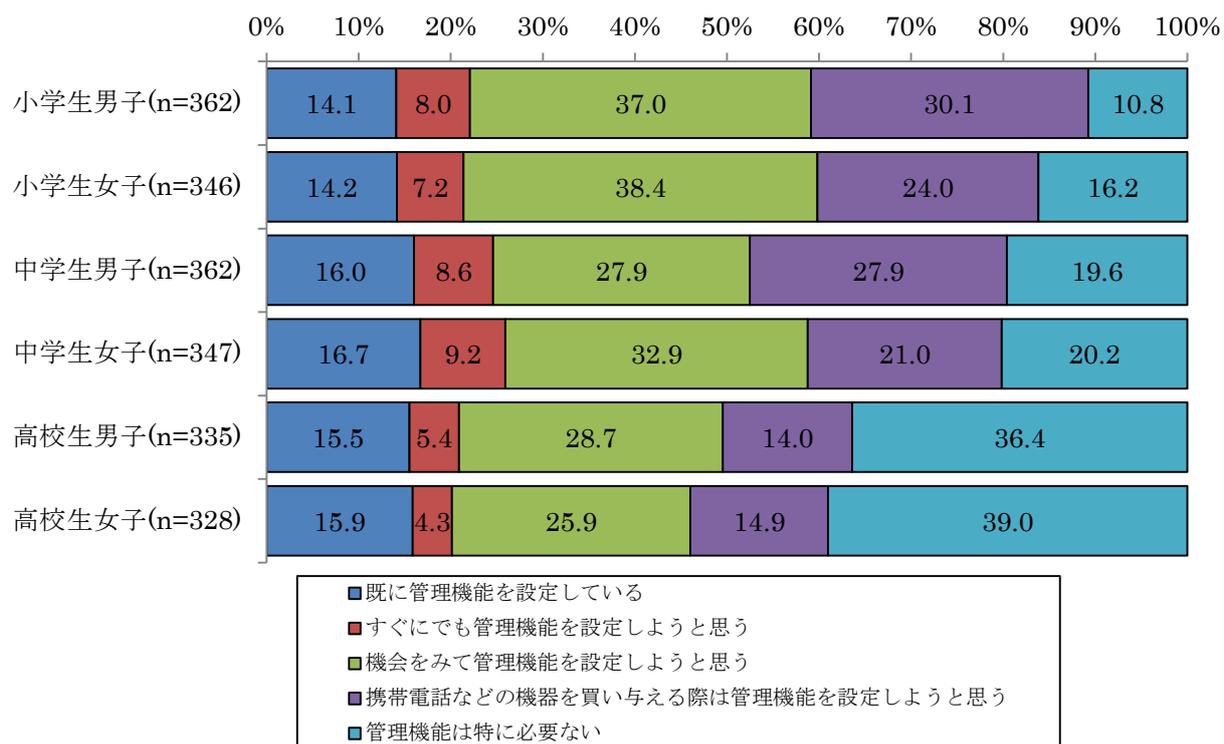
図表 3-74 学校種別と性別ごとのインターネット理由に関するルール作成の必要性



3-9-4 フィルタリング等の保護者管理機能設定の必要性

子供が利用する機器にフィルタリング等の保護者管理機能を設定する必要があると思うかどうかについて調査したところ、「既に管理機能を設定している」とする回答は、年齢による差があまりなく、いずれも15%程度を占める結果となった。しかしながら、「管理機能は必要ない」とする回答は、年齢が上がるに従って占める割合が多くなり、高校生の保護者では、40%弱を占める結果となった。

図表 3-75 学校種別と性別ごとのフィルタリング等の保護者管理機能設定の必要性

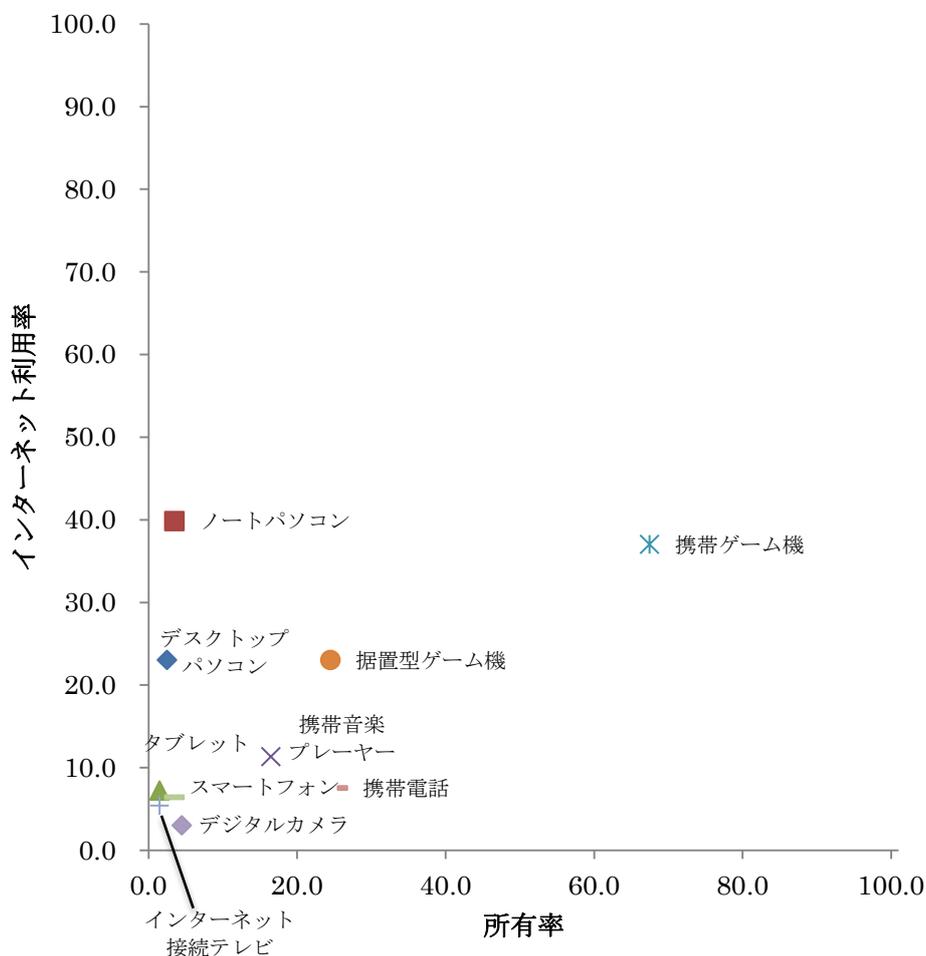


4. まとめ

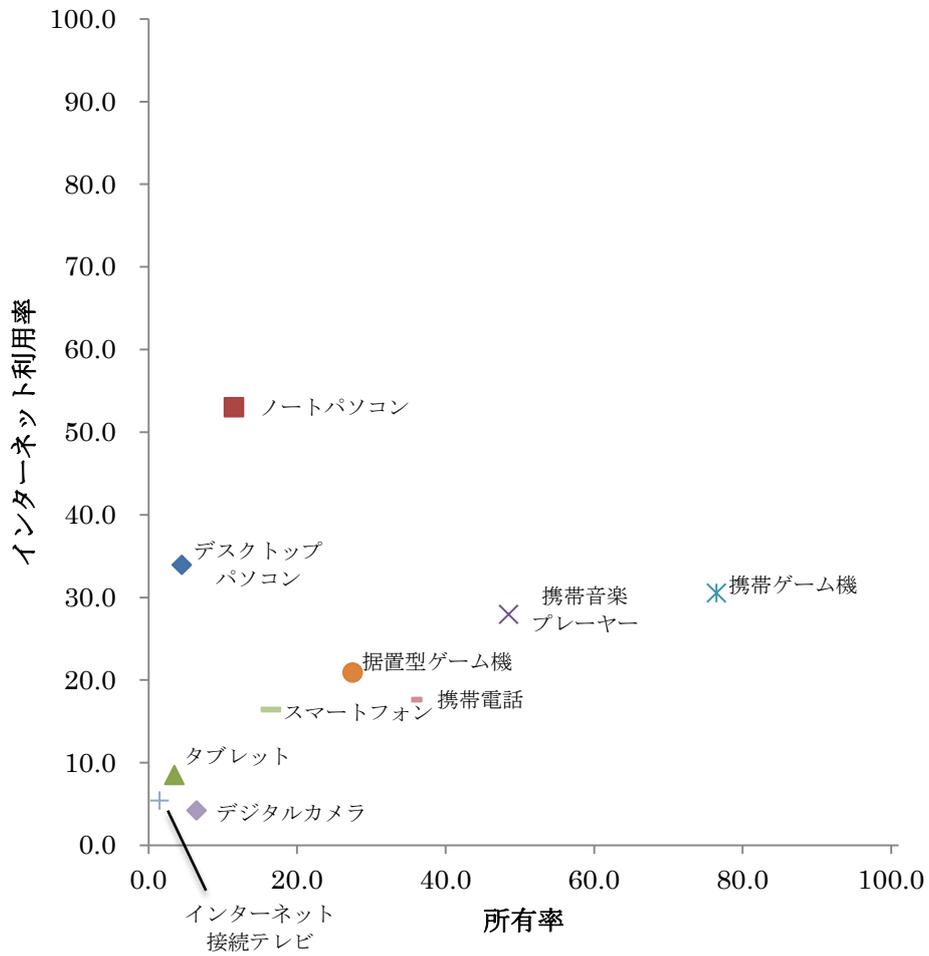
4-1 機器ごとの所有状況、インターネット利用状況

青少年において所有率及びインターネット利用率の両方が高い機器は、小学生では携帯ゲーム機が高い割合を占めた。高校生ではスマートフォンと携帯音楽プレーヤーが高い割合を占めた。中学生では両方の割合が高い機器は目立たない。小学生から中学生にかけては、特に携帯音楽プレーヤーの所持率が増え、中学生から高校生にかけては、特にスマートフォンの所持率とインターネット利用率が増えた。

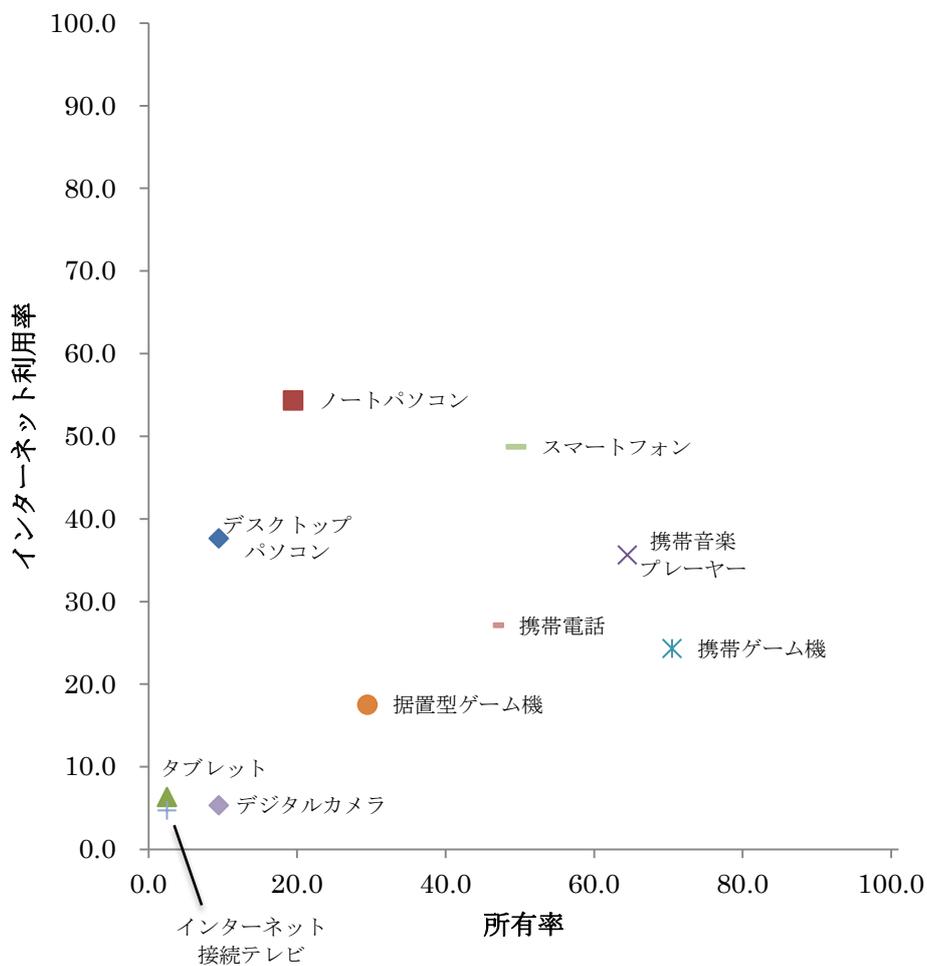
図表 4-1 小学生の機器ごとの所有率とインターネット利用率(n=708) (再掲)



図表 4-2 中学生の機器ごとの所有率とインターネット利用率(n=709) (再掲)



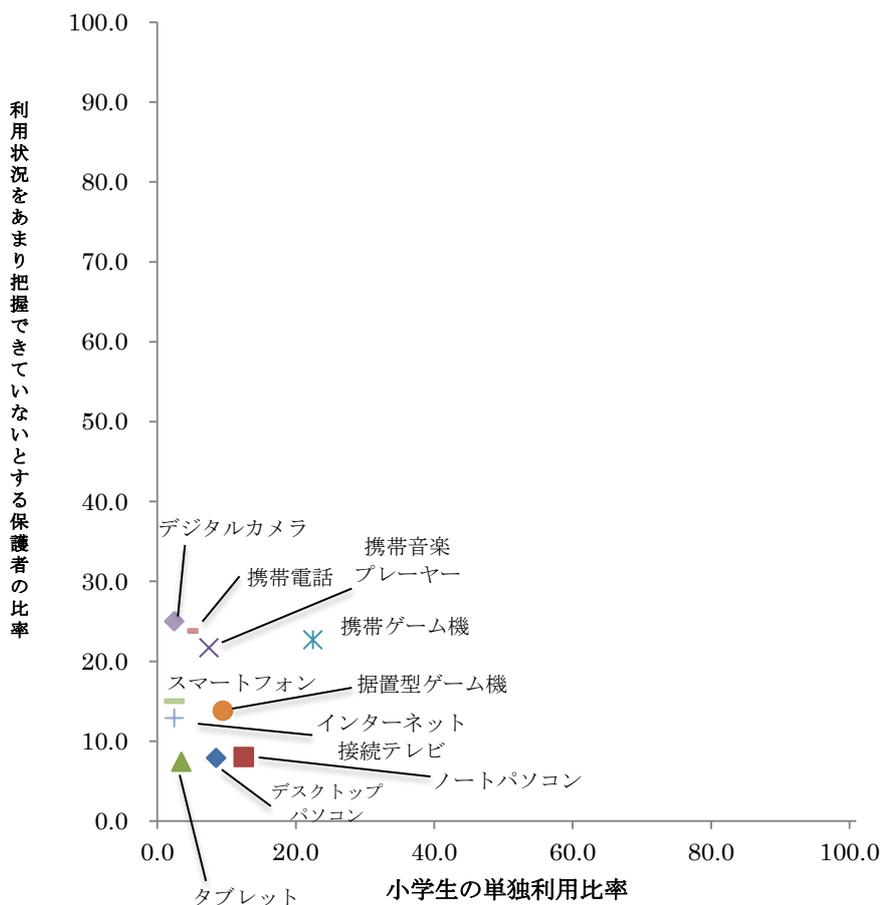
図表 4-3 高校生の機器ごとの所有率とインターネット利用率(n=663) (再掲)



4-2 青少年の単独利用の頻度

小学生がインターネットを単独利用することが比較的多い機器は、携帯ゲーム機であり、22.0%であった。携帯ゲーム機の利用状況について、保護者の約22.7%があまり把握できていないと回答している。

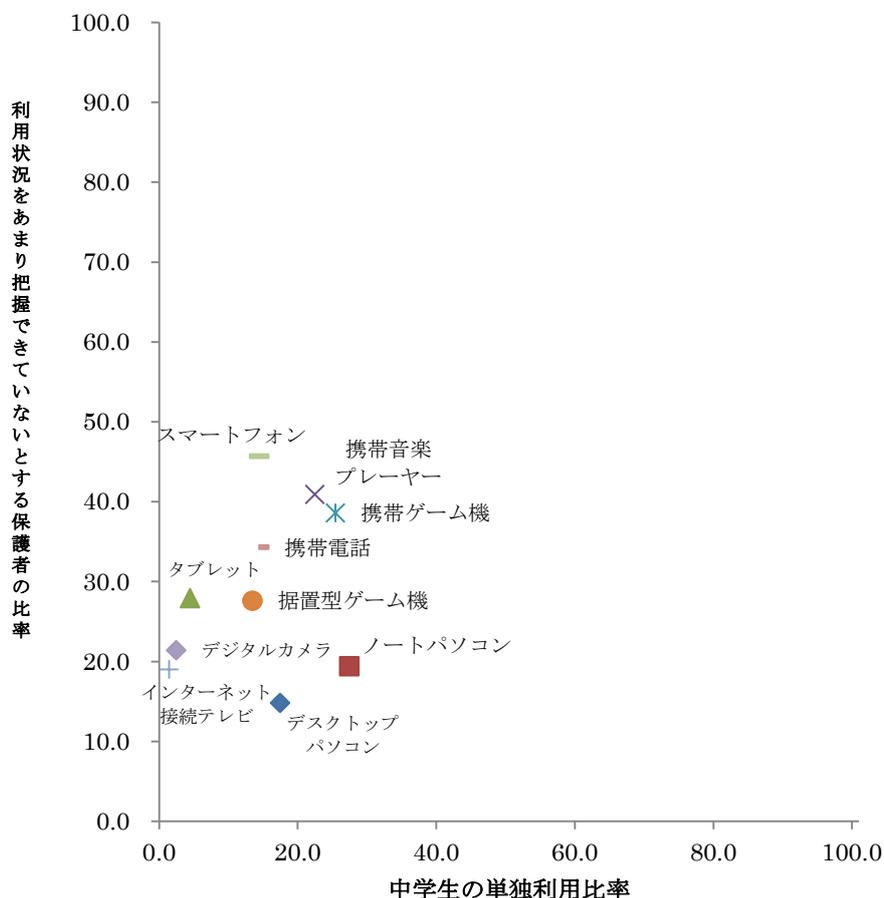
図表 4-4 小学生の単独利用率と利用状況をあまり把握できていないとする保護者の比率



(注) 単独利用率は「一人だけでしか使わない」「一人だけで使うことが多い」と回答した青少年の比率
 利用状況を把握できていないとする保護者の比率は青少年のインターネット利用状況について「まったく知らない」「あまり知らない」と回答した比率

中学生がインターネットを単独利用することが特に多い機器は、ノートパソコン、携帯ゲーム機、携帯音楽プレイヤーであり、何れも20%以上を占める。また、スマートフォン、携帯音楽プレイヤー、携帯ゲーム機の利用状況について保護者があまり把握できていないとする比率が高くなっている。

図表 4-5 中学生の単独利用率と利用状況をあまり把握できていないとする保護者の比率

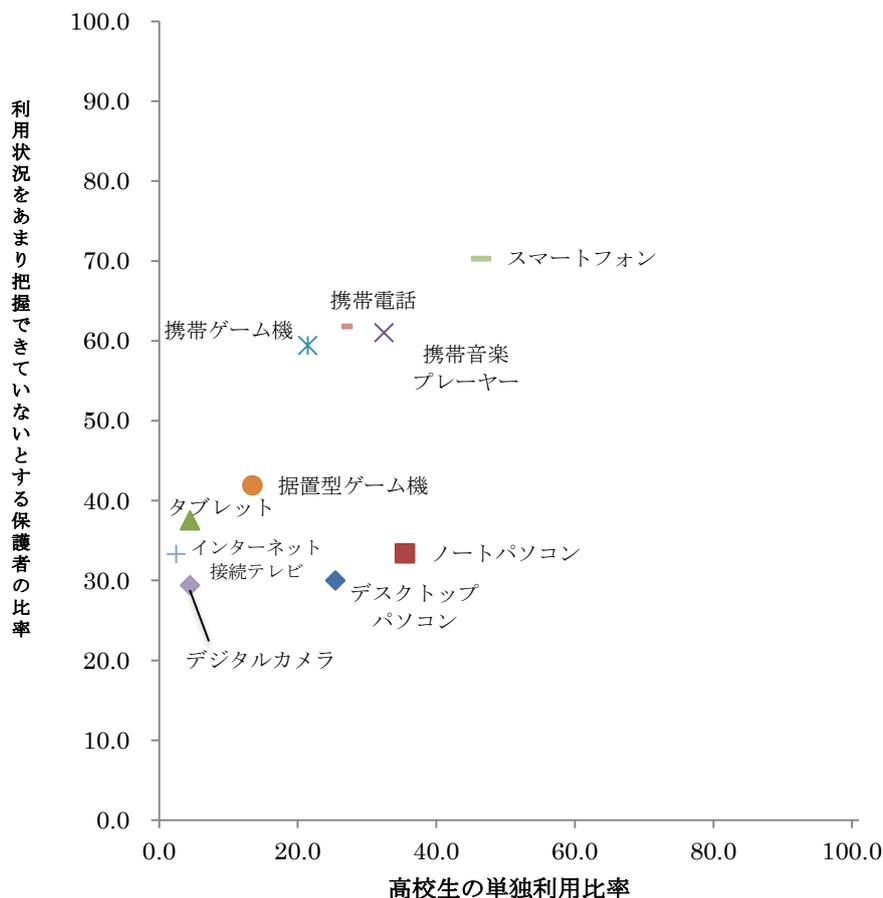


(注) 単独利用率は「一人だけでしか使わない」「一人だけで使うことが多い」と回答した青少年の比率
 利用状況を把握できていないとする保護者の比率は青少年のインターネット利用状況について「まったく知らない」「あまり知らない」と回答した比率

高校生がインターネットを単独利用することが特に多い機器は、スマートフォン、ノートパソコン、携帯音楽プレーヤーであり、何れも30%以上を占めている。

単独利用の多い機器のうちノートパソコン、デスクトップパソコンでは、保護者が利用状況を把握している比率が比較的高くなっている。

図表 4-6 高校生の単独利用率と利用状況をあまり把握できていないとする保護者の比率



(注) 単独利用率は「一人だけでしか使わない」「一人だけで使うことが多い」と回答した青少年の比率
 利用状況を把握できていないとする保護者の比率は青少年のインターネット利用状況について「まったく知らない」「あまり知らない」と回答した比率

小学生から高校生になるに従って、「青少年の単独利用率」、「利用状況をあまり把握できていない保護者の比率」は、いずれも増加している。